

2020
講義要綱
SYLLABUS

北翔大学 生涯スポーツ学部 4 年次
HOKUSHO UNIVERSITY
School of lifelong sport

令和 2 年度 北翔大学・北翔大学短期大学 学事日程

月	火	水	木	金	土	日	備考
		4 / 1	4 / 2	4 / 3	4 / 4	4 / 5	
4 / 6	4 / 7	4 / 8	4 / 9	4 / 10	4 / 11	4 / 12	
4 / 13	4 / 14	4 / 15	4 / 16	4 / 17	4 / 18	4 / 19	
4 / 20	4 / 21	4 / 22	4 / 23	4 / 24	4 / 25	4 / 26	教育学科看護教諭コース 3 年次 看護実習：4 / 10～5 / 1
4 / 27	4 / 28	4 / 29	4 / 30	5 / 1	5 / 2	5 / 3	憲法記念日
5 / 4	5 / 5	5 / 6	5 / 7	5 / 8	5 / 9	5 / 10	こども学科 2 年次 教育実習：5 / 18～6 / 5
5 / 11	5 / 12	5 / 13	5 / 14	5 / 15	5 / 16	5 / 17	
5 / 18	5 / 19	5 / 20	5 / 21	5 / 22	5 / 23	5 / 24	
5 / 25	5 / 26	5 / 27	5 / 28	5 / 29	5 / 30	5 / 31	
6 / 1	6 / 2	6 / 3	6 / 4	6 / 5	6 / 6	6 / 7	
6 / 8	6 / 9	6 / 10	6 / 11	6 / 12	6 / 13	6 / 14	
6 / 15	6 / 16	6 / 17	6 / 18	6 / 19	6 / 20	6 / 21	健康福祉学科(介護) 4 年次 訪問介護実習：6 / 16～6 / 26
6 / 22	6 / 23	6 / 24	6 / 25	6 / 26	6 / 27	6 / 28	健康福祉学科(介護) 2 年次 介護基礎実習：6 / 24～26
6 / 29	6 / 30	7 / 1	7 / 2	7 / 3	7 / 4	7 / 5	教育学科看護教諭コース 2 年次 看護学臨床実習：7 月～9 月
7 / 6	7 / 7	7 / 8	7 / 9	7 / 10	7 / 11	7 / 12	
7 / 13	7 / 14	7 / 15	7 / 16	7 / 17	7 / 18	7 / 19	
7 / 20	7 / 21	7 / 22	7 / 23	7 / 24	7 / 25	7 / 26	
7 / 27	7 / 28	7 / 29	7 / 30	7 / 31	8 / 1	8 / 2	こども学科 2 年次 保育実習Ⅰ・Ⅱ(保育所)：8 月～9 月
8 / 3	8 / 4	8 / 5	8 / 6	8 / 7	8 / 8	8 / 9	心理カウンセリング学科 4 年次 精神保健福祉援助実習：8 月～9 月
8 / 10	8 / 11	8 / 12	8 / 13	8 / 14	8 / 15	8 / 16	心理カウンセリング学科 3 年次 心理実習：8 月～9 月
8 / 17	8 / 18	8 / 19	8 / 20	8 / 21	8 / 22	8 / 23	教育学科 4 年次 保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ ：8 / 17～8 / 29
8 / 24	8 / 25	8 / 26	8 / 27	8 / 28	8 / 29	8 / 30	教育学科 3 年次 教育実習Ⅰ(幼・小)： 幼稚園 8 / 24～9 / 11 小学校 8 月中旬～9 月中旬
8 / 31	9 / 1	9 / 2	9 / 3	9 / 4	9 / 5	9 / 6	創立記念日
9 / 7	9 / 8	9 / 9	9 / 10	9 / 11	9 / 12	9 / 13	健康福祉学科(介護) 3 年次 介護実習Ⅱ：8 / 17～9 / 25
9 / 14	9 / 15	9 / 16	9 / 17	9 / 18	9 / 19	9 / 20	健康福祉(他) 3 年次 健康福祉(介) 4 年次 相談援助実習：8 / 17～9 / 23
9 / 21	9 / 22	9 / 23	9 / 24	9 / 25	9 / 26	9 / 27	
9 / 28	9 / 29	9 / 30	10 / 1	10 / 2	10 / 3	10 / 4	
10 / 5	10 / 6	10 / 7	10 / 8	10 / 9	10 / 10	10 / 11	
10 / 12	10 / 13	10 / 14	10 / 15	10 / 16	10 / 17	10 / 18	こども学科 2 年次 保育実習Ⅰ(施設)：10 月～12 月
10 / 19	10 / 20	10 / 21	10 / 22	10 / 23	10 / 24	10 / 25	
10 / 26	10 / 27	10 / 28	10 / 29	10 / 30	10 / 31	11 / 1	
11 / 2	11 / 3	11 / 4	11 / 5	11 / 6	11 / 7	11 / 8	
11 / 9	11 / 10	11 / 11	11 / 12	11 / 13	11 / 14	11 / 15	
11 / 16	11 / 17	11 / 18	11 / 19	11 / 20	11 / 21	11 / 22	
11 / 23	11 / 24	11 / 25	11 / 26	11 / 27	11 / 28	11 / 29	
11 / 30	12 / 1	12 / 2	12 / 3	12 / 4	12 / 5	12 / 6	
12 / 7	12 / 8	12 / 9	12 / 10	12 / 11	12 / 12	12 / 13	
12 / 14	12 / 15	12 / 16	12 / 17	12 / 18	12 / 19	12 / 20	
12 / 21	12 / 22	12 / 23	12 / 24	12 / 25	12 / 26	12 / 27	
12 / 28	12 / 29	12 / 30	12 / 31	1 / 1	1 / 2	1 / 3	
1 / 4	1 / 5	1 / 6	1 / 7	1 / 8	1 / 9	1 / 10	
1 / 11	1 / 12	1 / 13	1 / 14	1 / 15	1 / 16	1 / 17	
1 / 18	1 / 19	1 / 20	1 / 21	1 / 22	1 / 23	1 / 24	
1 / 25	1 / 26	1 / 27	1 / 28	1 / 29	1 / 30	1 / 31	心理カウンセリング学科 3 年次 精神保健福祉援助実習：2 月～3 月
2 / 1	2 / 2	2 / 3	2 / 4	2 / 5	2 / 6	2 / 7	心理カウンセリング学科 2 年次 心理実習：2 月～3 月
2 / 8	2 / 9	2 / 10	2 / 11	2 / 12	2 / 13	2 / 14	教育学科 3 年次 保育実習Ⅰ(保育所)：2 / 8～2 / 20
2 / 15	2 / 16	2 / 17	2 / 18	2 / 19	2 / 20	2 / 21	健康福祉学科(介護) 2 年次 介護実習Ⅰ：2 / 15～3 / 12
2 / 22	2 / 23	2 / 24	2 / 25	2 / 26	2 / 27	2 / 28	
3 / 1	3 / 2	3 / 3	3 / 4	3 / 5	3 / 6	3 / 7	教育学科 3 年次 保育実習Ⅰ(施設)：3 / 1～3 / 13
3 / 8	3 / 9	3 / 10	3 / 11	3 / 12	3 / 13	3 / 14	
3 / 15	3 / 16	3 / 17	3 / 18	3 / 19	3 / 20	3 / 21	
3 / 22	3 / 23	3 / 24	3 / 25	3 / 26	3 / 27	3 / 28	
3 / 29	3 / 30	3 / 31					

※ 備考欄の実習日程については、変更になる場合があります。

講義要綱 SYLLABUS の利用にあたって

この冊子は、2020（令和2）年度に開講される授業科目の概要が記載されています。

授業の概要や到達目標をよく確認して授業を選択する参考にしてください。シラバスには、授業の担当教員名や、単位数等の他、次のような事項が記載されています。シラバスに記載された内容をよく理解し、授業に臨んでください。

- ・ 授業のねらい
- ・ 到達目標
- ・ 授業計画
- ・ 準備学習の内容（事前・事後の学習）
- ・ 使用するテキスト（教科書）や、参考書
- ・ 成績評価の方法（どのような基準で評価が決まるのか）
- ・ 質問への対応（連絡先など）
- ・ その他（履修に当たっての特に注意すべき事項が記載されています）

《学習形態》

「授業の計画」各回の右欄に書かれている記号は学習形態を表し、授業の進め方、指導方法を表しています。

学習形態の用語説明

記号	学習形態	概要説明
A	講義	
B	演習	
C	実験	
D	実習	
E	実技	
F	プレゼンテーション	学生が、指示されたテーマや課題について、グループもしくは単独で調査・学習・実習等を行い、そのことについて他の受講生や教員等聴衆の前で発表する学習方法である。発表形式は、パワーポイントなどの情報機器を活用したものやポスターセッションなど様々である。発表後は、聴衆からの質疑に応答する。〇〇発表会、〇〇報告会等を含む。
G	レポートライティング	与えられたテーマや課題について調査や実験等を行い、調べた事実やデータを分析して、その過程と結果・考察などを文書にまとめる。あるいは、授業で学習したことを自分の言葉でまとめたり、自分の経験したことや体験したことなどについて、感じたことを理由とともにまとめるなど、知識や経験を自分の力で文書で表現する学習方法である。
H	グループワーク	教員から与えられた課題に対して、小グループ（3人から6人程度が一般的）内で共同作業やコミュニケーションをとりながら学修を進めていく協同学習である。コミュニケーション能力、メンバーが役割を分担した上で相互に協力・協働して課題に取り組む姿勢、自分の意見を主張する力と他人の意見を受け入れる力、決められた時間内に課題を解決して答えを出す力などを養成し、学生が社会に出てから活動するために必要な力を身につける。

I	ディベート	ある公的な主題について異なる立場（肯定側と否定側）に分かれ議論することを通して、第三者を客観的な証拠に基づいて説得するコミュニケーション形態（討論をする形式）である。 ディベートを通して学生の思考が活性化され、自分の意見や問題意識を持ったり、より論理的な考え方ができるようになるといった効果が期待される。
J	事例研究	ある事例について調査・研究し、問題の所在・原因を究明し、どのように対処するか解決策を見出す学習活動である。指導者は、学生の個別または集団研究に対して、研究の場を設定し、具体的な助言をしたり、事例を紹介したり、研究をコーディネートしたりして、学生の研究を導く立場で関わる。
K	ワークシート	授業前あるいは授業中に、学習の課題や問題等を提示した用紙を用い、調べたことや理解したことを確認し、理解の深化を促す学習方法である。また、講義の内容を書き込めるように準備された用紙等で理解の確認を行ったり、ワークシートに記入された個々の考えをもとに、ペアやグループワークで話し合い、学習内容を共有することもある。
L	ふり返し	授業の途中や終了時に、理解したことや分からなかったこと等について確認を行い、理解の促進を図る学習方法である。確認の方法としては、振り返りシート等の記入、ペア・グループワークによる意見の共有などがある。
M	フィールドワーク	社会調査における情報収集技法の一つである。研究者が直接現場へ出かけ一定期間滞在し、人々の生活に密着しながら出来事を観察・記述し、その空間の社会的構造をリアルに分析しようとするものである。 アクティブ・ラーニングの視点から、本学での「フィールドワーク」とは教員が提示したテーマや課題等について、学生が直接現場へ出かけ実地調査や研究等を通して、より深く分析し課題解決に向かうことをねらいとした学習形態である。
N	ロールプレイ	現実にかかる場面を想定して、参加者がそれぞれに与えられた役割を演じ（ロールプレイ）、疑似体験（シミュレート）をする学習方法である。技術・技能の修得や、現実的なケースにおける多面的な見方、態度・姿勢の涵養、他人の立場への理解などを促進する際に効果的である。

教 育 課 程 表

生涯スポーツ学部 全学共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
就業力養成科目								
キ ャ リ ア 演 習 Ⅲ	演習	1		小 川 美 夏				1
キ ャ リ ア 演 習 Ⅳ	演習・講義		1	小 川 美 夏				2

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
社会と生活に関する科目群								
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	3
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	阿 部 豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	6
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義	2		佐々木 邦 子		教育文化学部共通科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	7

生涯スポーツ学部 健康福祉学科 発展科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
心身・健康に関する科目群								
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		水 野 信太郎		スポーツ教育学科専門科目	[ス]認定トレーニング指導者_必修	8
社会と生活に関する科目群								
社 会 教 育 計 画	講義	2		藤 川 和 信	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	3
社 会 教 育 課 題 研 究	講義	2		宗 本 和 博	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	4
社 会 教 育 課 題 演 習	演習		2	阿 部 豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修	5
社 会 教 育 施 設 論	講義	2		阿 部 豊	○		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	6
リ カ レ ン ト 教 育 論	講義	2		佐々木 邦 子		教育文化学部共通科目	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必	7

生涯スポーツ学部 学部共通科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
コミュニケーション論	講義	2		粥 川 道 子				9
就 業 力 特 別 演 習 Ⅱ	演習	1		阿 部 豊		公務員		10
				神 部 雅 子		社会福祉士		11
				小坂井 留 美		健康運動指導士		12
				佐 藤 至 英		特別支援		13
				森 靖 明		教職(保健体育)		14
				八 巻 貴 穂		介護福祉士		15
				吉 田 真		AT		16
就 業 力 特 別 演 習 Ⅲ	演習		1	井 出 幸二郎		JATI		17
				岩 本 希		社会福祉士		18
				大 宮 真 一		ジュニアスポーツ指導員	[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修	19
				佐 藤 郁 子		介護福祉士		20
				高 田 真 吾		健康運動指導士		21
				吉 田 昌 弘		AT		22
				黒 田 裕 太				
				山 本 敬 三				

スポーツ教育学科 学科専門科目 コース共通科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
ス ポ ー ツ 施 設 管 理 論	講義	2		水 野 信太郎		発展科目	[ス]認定トレーニング指導者_必修	23
運 動 処 方 演 習	演習	2		上 田 知 行		健康福祉学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修	24
				沖 田 孝 一				
				小坂井 留 美				
スポーツマーケティング	講義		2	永 谷 稔			[ス]アシスタントマネージャー_必修	25
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技		1	阿 部 達 彦		健康福祉学科同時展開	[ス][健]障がい者スポーツ指導員_必修	26
				齊 藤 雄 大				
専 門 演 習 Ⅲ	演習	②		担 当 教 員		集中講義		27
卒 業 研 究	演習		2	担 当 教 員		集中講義		28
知 的 障 害 教 育 Ⅱ	講義	2		瀧 澤 聡		教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	29
肢 体 不 自 由 教 育 Ⅱ	講義	2		石 川 大	○	教育学科同時展開	[ス][教]特支1種_必修	30
特別支援教育実習事後指導	講義		1	阿 部 達 彦	○	集中講義	[ス]特支1種_必修	31
				瀧 澤 聡				
特 別 支 援 教 育 実 習	実習	2	2	阿 部 達 彦	○	集中講義	[ス]特支1種_必修	32
				瀧 澤 聡				

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツ教育コース専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
ス ポ ー ツ 教 育 学	講義	②		竹 田 唯 史				33
ス ポ ー ツ 教 育 演 習 B	演習	2		森 靖 明				34
学 校 教 育 研 究 B	演習	2		渡 部 峻				35

スポーツ教育学科 学科専門科目 スポーツトレーナーコース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
健 康 産 業 施 設 実 習	実習	2		上 田 知 行		健康福祉学科同時展開 一部集中講義	[ス]健康運動指導士_必修	36
				高 田 真 吾				
アスレティックトレーニング指導実習	実習	← 4 →		吉 田 真		集中講義	[ス]アスレティックトレーナー_必修	37
				吉 田 昌 弘				

スポーツ教育学科 学科専門科目 競技スポーツコース専門科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
アスリートを取り巻く環境	講義	2		永 谷 稔				38
競技スポーツコーチング演習Ⅱ	演習	2		畠 中 智 志		集中講義		39
				井 上 和佳奈				
				大 宮 真 一				
				菊 地 はるひ				
				竹 内 雅 明				
				永 谷 稔				
				畠 山 孝 子				
				廣 田 修 平				
				横 山 茜 理				
		渡 部 峻						

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教職に関する科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
教 育 実 習 事 後 指 導	講義		①	森 靖 明		一部集中講義	[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	41
			阿 部 達 彦					
			瀧 澤 聡					
			西 村 貴 之					
教 育 実 習 I	実習	4	4	西 村 貴 之		集中講義	[ス]中 1 種(保健体育)_必修、高 1 種(保健体育)_選必、 ジュニアスポーツ指導員_選必	42
			森 靖 明					
教 育 実 習 II	実習	2	2	西 村 貴 之		集中講義	[ス]高 1 種(保健体育)_選必	43
			森 靖 明					
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)	講義・演習		②	西 村 貴 之			[ス]中・高 1 種(保健体育)_必修	44
			阿 部 達 彦					
			瀧 澤 聡					
			森 靖 明					

生涯スポーツ学部 スポーツ教育学科 教科又は教職に関する科目

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
学校ボランティア活動Ⅰ	実習	← 1 →		西 村 貴 之		集中講義		45
学校ボランティア活動Ⅱ	実習	← 1 →		西 村 貴 之		集中講義		46

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
生涯スポーツ(障がい者スポーツ)	実技		1	阿 部 達 彦		スポーツ教育学科	[健][ス]障がい者スポーツ指導員_必修	47
				齊 藤 雄 大		同時展開		
運 動 処 方 演 習	演習	2		上 田 知 行		スポーツ教育学科	[ス]健康運動指導士_必修	48
				沖 田 孝 一		同時展開		
				小坂井 留 美				
介 護 実 践 管 理 論	講義	2		八 巻 貴 穂				49
				干 場 有 理 子				
				前 田 顕				
現 代 社 会 と 福 祉 I	講義	2		伊 藤 新 一 郎		心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	50
現 代 社 会 と 福 祉 II	講義		2	伊 藤 新 一 郎		心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	51
社会福祉行政・福祉計画論	講義	2		志 水 幸	○	心理カウンセリング学科 同時展開	[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、 社会福祉主事_選必	52
社 会 福 祉 運 営 管 理 論	講義		2	林 恭 裕			[健]社会福祉士_必修	53
相 談 援 助 演 習 III	演習	2		古 田 修 大		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	54
				久 野 真 知 子				
相 談 援 助 演 習 IV	演習	2		久 野 真 知 子		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	55
				高 野 和 美				
相 談 援 助 演 習 V	演習		2	久 野 真 知 子		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	56
				高 野 和 美				
相 談 援 助 実 習 指 導 II	演習	← 4 →		神 部 雅 子		介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	57
				黒 澤 直 子				
				久 野 真 知 子				
相 談 援 助 実 習	実習	← 6 →		黒 澤 直 子	○	介護福祉士養成課程	[健]社会福祉士_必修	58
				神 部 雅 子		学外実習：180時間以上実施		
				久 野 真 知 子		集中講義		
健康福祉専門職演習 I	演習	2		岩 本 希		社会福祉士		59
				八 巻 貴 穂		介護福祉士		60
健康福祉専門職演習 II	演習		2	神 部 雅 子		社会福祉士		61
				梶 晴 美		介護福祉士		62
健 康 産 業 施 設 実 習	実習	2		上 田 知 行		スポーツ教育学科同時展開	[ス]健康運動指導士_必修	63
				高 田 真 吾		一部集中講義		
福 祉 実 践 実 習	実習・演習	← 2 →		黒 澤 直 子		一部集中講義		64
				尾 形 良 子				
専 門 演 習 III	演習	②		担 当 教 員		集中講義		65
卒 業 研 究	演習		2	担 当 教 員		集中講義		66

健康福祉学科 学科専門科目

○単位は必修

科目名	授業 形態	年次・単位数		教員名	実務 経験	展開他	免許・資格	ページ
		4 年次						
		前	後					
介 護 実 習 指 導 Ⅲ	演習・実習	1		本 間 美 幸		介護福祉士養成課程	[健]介護福祉士_必修	67
				梶 晴 美		訪問介護実習を含む		
				八 巻 貴 穂		一部集中講義		
医 療 的 ケ ア 演 習	演習	1		竹 内 美 幸	○	介護福祉士養成課程 集中講義	[健]介護福祉士_必修	68

全学共通科目

科 目 名	キャリア演習Ⅲ				授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名	小川 美夏							
授 業 の 目 的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で実践教育に位置づけされます。就職活動中の民間企業希望者や福祉施設希望者、面接試験を控えた教員や公務員希望者を対象に開講します。演習では、グループディスカッションや模擬面接を通して「面接力」の向上を目指します。						
	到達目標	(1)模擬面接・模擬グループディスカッションを通して柔軟性と状況把握力を養う。 (2)志望先に合格できる「面接力」を向上する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(1) 【計画内容】 与えられたテーマに沿ってグループディスカッションを行う。終了後、同グループ内で自己評価する。 【授業時間外の学修内容】 「キャリア演習Ⅱ」の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。						A、H、K
	第2回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(2) 【計画内容】 A チーム・B チームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【授業時間外の学修内容】 前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。						A、H、K
	第3回	【テーマ】 面接官ワーク(1) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【授業時間外の学修内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。						A、B、K
	第4回	【テーマ】 面接官ワーク(2) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【授業時間外の学修内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。						A、B、K
	第5回	【テーマ】 面接官ワーク(3) 【計画内容】 受験者、面接官、評価者の3役を体験し、面接官、評価者の視点を養う。 【授業時間外の学修内容】 鏡の前でイメージトレーニングをしたうえで臨むこと。						A、B、K
	第6回	【テーマ】 模擬グループディスカッション(3) 【計画内容】 A チーム・B チームに分かれて、それぞれのグループディスカッションを評価する。その後、他グループを評価する。 【授業時間外の学修内容】 前回の評価項目を整理し、自分の中で改善の努力をしたうえで参加のこと。						A、H、K
	第7回	【テーマ】 「面接力」とは何かを考える 【計画内容】 第6回までの体験を通して、面接力に必要な視点を考える。 【授業時間外の学修内容】 今までの振り返りを整理したうえで臨むこと。						A、H、K
	第8回	【テーマ】 面接官ワーク(4)/ まとめ(課題提出) 【計画内容】 まとめとして、面接官ワークを行い、面接の本質を実践的に理解する。 【授業時間外の学修内容】 前回の視点を生かしたうえで臨むこと。						A、B、K
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足			第8回		平時		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	講義終了後、必要な質問は随時受けます。							
資 格								
そ の 他								

科 目 名		キャリア演習Ⅳ			授業形態	演習・講義	単 位 数	1
教 員 名		小川 美夏						
授 業 の 目 的	ねらい	本学では将来のキャリア形成の育成を目指して全学年をとおして体系的にキャリア教育科目を開講しています。本演習は、その中で総括科目にあたります。将来の進路決定の有無に関わらず、今後一生続く自らのキャリアを見つめる社会人としての視点を習得することを目指します。さらに、社会人1年目から活躍できるように「+αの社会人力」を身につけ、応用力を養成することをねらいとします。						
	到達目標	(1)社会人の視点を習得する。 (2)物事に対する俯瞰的視点を習得する。 (3)社会のルール、社会的行動への理解を深める。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】一段上に行く社会人マナー(1) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【授業時間外の学修内容】「キャリア演習Ⅱ」でならったビジネスマナーを復習しておくこと。					A、B、K	
	第2回	【テーマ】一段上に行く社会人マナー(2) 【計画内容】できる社会人としてのビジネスマナー応用編。実践的デモンストレーションを交える。 【授業時間外の学修内容】「キャリア演習Ⅱ」でならったビジネスマナーを復習しておくこと。					A、B、K	
	第3回	【テーマ】私のキャリア観(1) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
	第4回	【テーマ】私のキャリア観(2) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
	第5回	【テーマ】働く人の法制度(1) 【計画内容】Q&A形式でわかりやすく、「こうした場合は?」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールについて考えておく。					A、K	
	第6回	【テーマ】働く人の法制度(2) 【計画内容】Q&A形式でわかりやすく、「こうした場合は?」と起こりがちなトラブルに対応できる知識を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】仕事に就くときのルール、仕事をするときのルールについて考えておく。					A、K	
	第7回	【テーマ】私のキャリア観(3) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
	第8回	【テーマ】私のキャリア観(4) 【計画内容】仕事や社会活動等で輝いている人の講演を聞くことで自分のキャリアに生かしていく。 【授業時間外の学修内容】講師の略歴を参考に事前に質問したい項目をまとめておく。					A、H、K	
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			40%		60%		
	補足			第8回		平時		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義終了後、必要な質問は随時受けます。						
資 格								
そ の 他		ニュースを見る、新聞を読むという社会人の基本は継続すること。						

発 展 科 目

科 目 名		社会教育計画			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		藤川 和信						
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習社会の構築をめざし、地域の振興策を考える上で社会教育が果たす役割は大変重要なものがあります。社会教育を進める際にその指針となるのが社会教育計画です。社会教育計画を策定するための基本的な考え方を踏まえ、様々な事例を検討しながら計画策定の方法について学びます。授業形態については「講義」を中心に行いますが、内容に応じて「グループ討議」や「演習」などを取り入れながら進めていきます。						
	到達目標	(1)社会教育計画策定の基礎原理、策定手順に関する理論的枠組みが説明できる。 (2)社会教育における「学習プログラム」を企画することができる。 (3)自らすすんで課題を発見し、解決する姿勢をもつことができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】今年度の授業計画について説明し、各自受講するにあたっての目的意識を明確にします。各自の目標をワークシートに記入してもらいます。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】社会教育の広報・広聴 【計画内容】社会教育における広報の意義と実際、広聴の意義と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A、G		
	第2回	【テーマ】社会教育計画の意義と役割 【計画内容】社会教育計画の意義と役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第10回	【テーマ】社会教育の評価 【計画内容】社会教育における評価の意義と視点、事業評価及び学習評価の内容と方法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】社会教育計画策定の視点と方法 【計画内容】社会教育計画を策定する上での視点、方法、評価などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第11回	【テーマ】社会教育事業計画の実際Ⅰ 【計画内容】社会教育事業計画の必要性と計画の構造について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A、B、H		
	第4回	【テーマ】社会教育計画策定の手順 【計画内容】社会教育計画策定の手順と各様式との関連について学びます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第12回	【テーマ】社会教育事業計画の実際Ⅱ 【計画内容】各種事業の企画、学習プログラム、展開プログラムの作成について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A、B、F、H		
	第5回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用Ⅰ 【計画内容】社会教育調査の定義と種類、意義と方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A、G	第13回	【テーマ】演習Ⅰ：青少年と社会教育計画 【計画内容】青少年を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B、H		
	第6回	【テーマ】社会教育調査とデータの活用Ⅱ 【計画内容】社会教育調査の企画、調査票の作成、データの分析、活用方法などについて学びます。 【授業時間外の学修内容】授業終了時に示す課題についてレポートを作成すること。	A、G	第14回	【テーマ】演習Ⅱ：成人と社会教育計画 【計画内容】成人を対象とした事業計画と学習プログラムについて考察します。学習プログラムを作成します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	A、B、H		
	第7回	【テーマ】学習情報提供・学習相談Ⅰ 【計画内容】学習情報とは何かについて、また学習情報提供の方法について学びます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできたことを振り返り、社会教育計画策定の意義などについて再確認します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義の内容や取り組みをまとめておくこと。	A、L		
	第8回	【テーマ】学習情報提供・学習相談Ⅱ 【計画内容】学習相談の意義について、また学習相談の内容・方法及び相談員の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】次回の授業範囲を予習し、疑問点をまとめておくこと。	A					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	30%		30%		30%	10%	
	補 足			レポート		出欠等	毎回のワークシート	
課題に関するフィードバックの方法		第15回で、これまで提出したレポートの課題について振り返りながらまとめます。						
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	社会教育主事(北海道教育委員会)					
		科目との関連	社会教育計画に関する理論及び実践					
質問への対応		講義時に受け付けます。						
資 格		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修						
そ の 他		毎時間の出席を原則とします。講義計画及び展開方法等を変更する場合があります。 第16回に最終評価のための確認テストを行います。						

科 目 名		社会教育課題研究			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		宗本 和博						
授 業 の 目 的	ねらい	近年、各自治体や学校、各種公共等機関はもちろん各団体や民間事業においても、いわゆる社会教育活動が益々盛んになっています。それに伴い社会的課題や地域課題も新たに生まれています。本講ではそれらの社会教育の諸課題をどうおさえ、どうとらえるかなどについて、幾つかの視点から考究していきます。						
	到達目標	(1)多様で広範な社会教育課題についてそれらのとらえ方、考え方等について理解する。 (2)社会教育を推進する上で、その中心的な役割を担う社会教育主事の役割について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】社会教育課題の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、授業計画、授業形態について把握します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを一読しておくこと。『生涯学習』について調べておくこと。	A	第9回	【テーマ】社会教育施設の在り方と課題 【計画内容】社会教育施設に求められる機能と課題は何か。各地域の事例等をもとにグループの意見交流をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L		
	第2回	【テーマ】現代的課題と社会的課題 【計画内容】「現代的課題」や新しい社会的課題について、その意味や時代的背景を学ぶとともに、それらが社会教育課題としてどうとらえ、どう考えたらよいのかを学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料を読んで、特に「現代的課題」について整理しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】社会教育課題としての青少年教育 【計画内容】青少年にとって自然体験、ボランティア活動などの社会体験、国際交流など、様々な体験活動が何故必要なのか。資料を見ながらグループ等の意見交流をととして学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L		
	第3回	【テーマ】社会教育の機能・役割を担う社会教育主事の資質 【計画内容】広く社会教育の機能・役割を担う人材、特に社会教育主事等の資質と能力とは何か、その役割や在り方などについて、グループ討議をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L	第11回	【テーマ】社会教育課題としての少子・高齢問題 【計画内容】資料に基づき、少子・高齢問題のその背景や現状について学びます。そららの課題解決のためにどうしたよいかなど、グループ等で意見交流をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L		
	第4回	【テーマ】社会教育現場における「危機管理」 【計画内容】社会教育現場で問われる危機管理の考え方や実際を学び、特に防災・安全等の事例に基づき、グループでその対応策をまとめます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料を参考に「危機管理」について考えておくこと。	A、L	第12回	【テーマ】社会教育課題としての男女共同参画社会 【計画内容】変化の時代にあつて、地域力を高めていくためには、女性も男性も活躍できる地域社会の形成が大切です。特に女性の力を発揮できる社会はどうあらねばならないかなどについてもグループで討議することをととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L		
	第5回	【テーマ】社会教育における「連携・協力」と「ネットワーク」 【計画内容】社会教育を推進していく上で、地域や学校、各種機関、各団体との連携、協力をどう進めていくのか。その「連携・協力」の意味や意義をおさえ、どのようにネットワーク化していくのか、グループ討議をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L	第13回	【テーマ】社会教育と家庭教育支援 【計画内容】社会教育として家庭教育支援の在り方はどうしたらよいのか、資料を見ながら、グループ等で意見交流をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L		
	第6回	【テーマ】社会教育課題としての情報社会 【計画内容】社会教育を推進するにあたり、情報化の課題（特に情報通信技術の課題等）について学び、どのように社会教育実践に結びつけていくのかを学びます。 【授業時間外の学修内容】AI時代に関する資料（事前のに配付）を読んでおくこと	A、K	第14回	【テーマ】社会教育と地域づくり 【計画内容】配付資料から地域づくりの実践と課題について学びます。家庭・学校・地域の連携、そして協働をどのように展開していくのか、グループ討議、グループ発表をととして学びます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L		
	第7回	【テーマ】社会教育課題としての環境保全問題 【計画内容】社会教育を推進する上で環境保全問題について広く学ぶことは大切です。資料を見ながら、グループで意見交流をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料をよく読んでおくこと。	A、L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできたことを振り返り、社会教育における多様な課題について整理します。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容をまとめておくこと。	A、K		
	第8回	【テーマ】社会教育課題としての健康問題 【計画内容】社会教育計画を策定する上で健康とは何か、というおさは大切です。特に「変化の激しい社会を生き抜く力と健康」という視点からグループ討論等をととして学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料（「健康と死」）をよく読んでおくこと。	A、L					
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			50%		35%	15%	
	補足			レポート等		関心意欲等	ワークシートの活用	
課題に関するフィードバックの方法	授業で取り上げた内容についてのレポートを提出してもらい、それらについて個々に講評します。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	学校教育延べ23年間。社会教育主事としての14年間は北海道教育委員会での職務に当たった。					
		科目との関連	主に青少年教育、生涯学習事業、福祉教育などに携わった。					
質問への対応	口頭の質問には口頭もしくは文書で、文書の場合は文書で回答します。							
資 格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修							
そ の 他								

科 目 名				社会教育課題演習		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		阿部 豊							
授 業 の 目 的	ねらい	社会教育における学習者である成人や青少年の学習課題を明らかにし、社会教育施設の見学や、事業の企画・立案などの演習をととして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解を深めるとともに、社会教育主事任用資格に必要なすべての科目にも着目しながら総合的に学習する。							
	到達目標	(1)社会教育の意義と歴史的展開について理解する。 (2)社会教育行政、社会教育職員について理解する。 (3)社会教育における学習課題について理解する。 (4)演習をととして、学習目標の設定や学習内容の組み立て方について理解する。							
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】「生涯学習・社会教育」とは 【計画内容】生涯学習・社会教育の理念や意義、歴史的展開について学ぶとともに、授業のねらいや到達目標、授業の計画について把握する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを一読し、授業で習得したい事項を整理しておく。	A	第9回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(2) 【計画内容】第6回授業で明らかにした青少年の学習課題を学習目標としてとらえ、目標を達成するための事業の必要性について学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、学習目標と学習内容の関連について考えておく。	A、B			
	第2回	【テーマ】生涯学習・社会教育関連法令 【計画内容】生涯学習・社会教育に関連する法令について体系的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、関連法令について考えておく。	A	第10回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際(1) 【計画内容】レクリエーションの企画について、演習をととして体験的に学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、アイスブレイクの展開方法などについて考えておく。	A、B			
	第3回	【テーマ】社会教育行政と社会教育職員 【計画内容】社会教育行政の意義と社会教育職員の職種や役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育職員について考えておく。	A	第11回	【テーマ】レクリエーションの企画と実際(2) 【計画内容】グループに分かれて、実際にレクリエーションを企画し、その企画を発表、相互に体験・交流することをととして、レクリエーションの意義などについて学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【授業時間外の学修内容】事前にグループ編制を行うので、グループごとに企画の内容について考えておく。	B、H			
	第4回	【テーマ】社会教育施設の意義と連携 【計画内容】公民館、図書館、博物館、青少年教育施設等の社会教育施設の役割・機能、各施設間の連携の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、各種社会教育施設の特色について考えておく。	A	第12回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(3) 【計画内容】第8回授業・第9回授業を基に、必要な学習内容(プログラム)を考え、青少年を対象とした事業の企画・立案を行う。(ネイバル砂川で実施) 【授業時間外の学修内容】青少年の問題点等が明らかになるデータ等、資料を準備しておく。	A、B			
	第5回	【テーマ】社会教育における学習課題(1) 【計画内容】社会の変化に伴う様々な問題点に着目し、成人や青少年の学習課題の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会の急激な変化とその対応について考えておく。	A、H	第13回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(2) 【計画内容】博物館を見学し、学芸員から博物館の課題と経営方法について学ぶ。(滝川市内の博物館で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、滝川市自然史美術館・子ども科学館の概要について把握しておく。	A、B			
	第6回	【テーマ】社会教育における学習課題(2) 【計画内容】青少年を取り巻く社会環境等の変化から生じる様々な問題点を踏まえ、青少年の学習課題を明らかにする。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、青少年の体力や学力、基本的生活習慣などについて考えておく。	A、B	第14回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(4) 【計画内容】第12回授業を基に、学習に必要な教材や講師、学習の展開方法など、より具体的な企画・立案を行う。 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料(青少年教育施設の主催事業の例)に基づき、事業の展開方法について考えておく。	B			
	第7回	【テーマ】社会教育施設における事業の実際(1) 【計画内容】公民館、図書館、民間が運営する生涯学習関連施設を見学し、社会教育主事や司書から、施設の課題や経営方法について学ぶ。(砂川市内の社会教育施設等で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、砂川市内の社会教育施設等の概要を把握しておく。	A、B	第15回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(5) 【計画内容】演習をととして、企画・立案した事業について、相互に発表・交流を行い、社会教育事業の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】事業の必要性や目的、特色などをまとめ、効率的なプレゼンテーションとなるよう準備しておく。	F			
	第8回	【テーマ】社会教育事業の企画・立案(1) 【計画内容】様々な社会教育事業の事例から、その必要性と企画・立案の視点について学ぶ。(ネイバル砂川で実施) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した資料に基づき、社会教育事業の必要性について考えておく。	A、B、J						
テキスト		プリントを使用します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			50%		50%			
補 足	足			レポート等		授業内課題等			
課題に関するフィードバックの方法		課題は、社会教育事業の企画でネイバル砂川で実施する宿泊学習後に提出してもらい、第15回授業で相互に発表・交流を行う。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	北海道教育庁社会教育主事・同生涯学習課長等を歴任						
		科目との関連	上記の経験を生かして、生涯学習・社会教育関連法令、社会教育事業の企画・立案に関する内容を教授する。						
質問への対応		講義時、講義後、その他可能な機会でご直接対応します。							
資 格		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_必修							
そ の 他		11月9日(月)から11月12日(木)に、ネイバル砂川で行う3泊4日の演習に参加すること。 (第1回授業で、宿泊を伴う演習の内容等、授業の計画について詳しく説明します。)							

科 目 名			社会教育施設論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			阿部 豊					
授 業 の 目 的	ねらい	社会教育施設とは、社会教育に関する事業をととして、市民に教育的・文化的サービスを提供することを主な目的とした公の教育施設である。まず、これらが設置された経緯、役割と機能について理解した上で、施設をめぐる課題と新たな動向を探り、これからの社会教育施設の在り方について学習する。						
	到達目標	(1)社会教育施設が設置された経緯について理解する。 (2)社会教育施設の特徴、役割と機能について理解する。 (3)社会教育施設の課題を踏まえ、これからの施設の在り方について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】社会教育施設の概要 【計画内容】社会教育施設の概要を理解するとともに、授業のねらいや到達目標、計画について把握する。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを一読し、授業で習得したい事項を整理しておく。	A	第9回	【テーマ】 青少年教育施設の法的根拠と役割・機能 【計画内容】 青少年教育施設に関連する法令、青少年教育施設の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、青少年教育施設の役割について考えておく。	A		
	第2回	【テーマ】社会教育施設の設置の経緯 【計画内容】社会教育施設が設置された経緯や社会的背景、学習者の変遷について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設が設置された経緯について考えておく。	A、H	第10回	【テーマ】 青少年期の課題と青少年教育施設の支援 【計画内容】 青少年期、特に現代の少年期の課題を理解し、事例研究から、青少年教育施設における体験活動機会の提供について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、体験活動の意義について考えておく。	A、J		
	第3回	【テーマ】公民館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】公民館に関連する法令、公民館の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、関連する法令について考えておく。	A	第11回	【テーマ】生涯学習関連施設の種類と役割 【計画内容】社会教育施設以外の学習施設について理解し、その役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、生涯学習関連施設の種類について考えておく。	A		
	第4回	【テーマ】公民館の課題と経営 【計画内容】公民館の現状と課題を理解し、公民館の経営方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、公民館の課題について考えておく。	A	第12回	【テーマ】社会教育施設職員と施設経営 【計画内容】社会教育施設職員の職種と役割について理解し、施設経営の在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設職員の職種と役割について考えておく。	A		
	第5回	【テーマ】図書館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】図書館に関連する法令、図書館の役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、関連する法令について考えておく。	A	第13回	【テーマ】施設ボランティアの活動 【計画内容】社会教育施設でのボランティア活動の事例から、施設ボランティアの在り方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設でのボランティア活動について考えておく。	A、H、J		
	第6回	【テーマ】図書館の課題と新たな動向 【計画内容】図書館の現状と課題を理解し、事例研究から、先進的な図書館活動について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、図書館の新たな動向について考えておく。	A、J	第14回	【テーマ】社会教育施設の管理運営に関する諸課題 【計画内容】施設の管理運営には、多様な形態があることを理解し、事例研究から、それぞれの課題と今後の方向性について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、施設の多様な管理運営について考えておく。	A、J		
	第7回	【テーマ】博物館の法的根拠と役割・機能 【計画内容】博物館に関連する法令、博物館の種類、それらの役割と機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、博物館の種類について考えておく。	A	第15回	【テーマ】情報化社会と社会教育施設 【計画内容】情報通信技術の発達について理解し、社会教育施設の情報化について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、社会教育施設の情報化について考えておく。	A		
	第8回	【テーマ】博物館の課題と新たな動向 【計画内容】博物館の現状と課題を理解し、事例研究から、先進的な博物館の経営について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 事前に配付した資料に基づき、博物館の新たな動向について考えておく。	A、J					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足			レポート等		授業内課題等		
課題に関するフィードバックの方法	課題(レポート)は、社会教育施設の課題と課題解決の方策等についてテーマを設定して考えてもらう。履修者全体のテーマの傾向や、優れた課題解決の方策等について、ポータルサイトでフィードバックする。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	国立青少年教育施設所長・北海道立図書館等を歴任					
		科目との関連	上記の経験を生かして、青少年教育施設の経営、図書館の経営等に関する内容を教授する					
質問への対応	講義時、講義後、その他可能な機会でご直接対応します。(質問することによって課題を解決し、社会教育施設に対する理解をさらに深めてください。)							
資 格	[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必							
そ の 他	成績評価については、社会教育に対する関心を高め、社会教育施設への理解を深めてもらうため、毎回の授業を重視します。(毎回、授業内課題を提示し、評価の上位回の授業でお返しします。)							

科 目 名				リカレント教育論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				佐々木 邦子					
授 業 の 目 的	ねらい	リカレント教育とは、成人が学習の場に戻り再び職業へ回帰することをいう。生涯学習の範疇の一つであり、成人が学習する場合の重要な要素として位置づけられている。欧米では、主に職業的な向上を目指す教育として実施されてきたが、現在では満足感、達成感など精神的な面での効果も明らかになっている。そこで、本講義では、リカレント教育の日本での状況と、先進事例として、アクティブラーニングにより、学生の主体的で、かつ動的な学習を推進する。							
	到達目標	(1)リカレント教育に対する OECD、ユネスコ、ILO など国際機関の取り扱いを理解する。 (2)学習社会が進んでも Education by education の実態があることを理解する。 (3)リカレント教育先進国の事例を学習する。 (4)日本でリカレント教育が発達しなかった理由について、日本の雇用慣行との関連を理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 講義のガイダンス、生涯学習、成人教育、継続教育、リカレント教育の基本的な考え方の説明 【計画内容】 生涯学習やリカレント教育についての基礎になる点を話し、講義の目標と進め方を説明する。また講義の進行として、アクティブラーニングを取り入れて実施することを確認する。 【授業時間外の学修内容】 生涯学習の範疇である成人教育、継続教育について予習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】 フランスにおけるリカレント教育 【計画内容】 アソシアシオンやアニマトールなど、戦後から現在までのフランスでは、生涯学習や社会教育に関する事象が社会的にも進展がみられる。このような情勢で、成人教育やリカレント教育がどのように関わるのかについて学習する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A、H			
	第2回	【テーマ】 日本における生涯学習の成り立ちについての確認 【計画内容】 「生涯学習論」を履修していたか否かで講義内容も変更をせざるを得ないため、学習した内容を復習し、本論のリカレント教育論につなげていく。 【授業時間外の学修内容】 事前配付のテキストを必ず読んでくること。	A	第10回	【テーマ】 スウェーデン社会と学校教育制度の概観 【計画内容】 スウェーデンでは、1960年代から70年代にかけての高等教育を求める人々の急激な増大が、成人教育や継続教育に関して大きな影響を及ぼした。その関連性について学習する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F			
	第3回	【テーマ】 リカレント教育が日本で進行しなかった社会的背景 【計画内容】 1960年代後半に我が国に紹介された生涯学習の一つとしてリカレント教育があるが、当時の我が国の雇用慣行とそぐわなかったことがリカレント教育が進展しなかった主な理由としてとらえられている。その詳細について、我が国特有の雇用慣行や労働市場の状況を学習する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第11回	【テーマ】 スウェーデンにおける教育政策としてのリカレント教育 【計画内容】 1970年代から20年間はスウェーデンでは、リカレント教育を教育政策として展開した。そのような国はスウェーデンのみであるため、リカレント教育に関するかつての制度と、その制度が消失した現代にどのようにつながっているかを学習する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	F			
	第4回	【テーマ】 生涯学習政策の変化によって着目度が進んだリカレント教育 【計画内容】 我が国ではリカレント教育に耳目が集まったのは1990年代になってからである。そのような社会情勢とリカレント教育進展の関連に言及する。そのうえで、生涯学習政策の転換によってリカレント教育に進展の兆しが出てきたことを確認する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第12回	【テーマ】 ドイツの社会と学校教育制度の概観 【計画内容】 ドイツでは、初等教育・中等教育に他国と異なる大きな特徴がある。10歳で大学進学の設定、ギムナジウム、デュアルシステムなど、特殊なドイツの学校教育制度を確認する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A、H			
	第5回	【テーマ】 OECD・ユネスコにおけるリカレント教育の展開 【計画内容】 ヨーロッパでは、リカレント教育は生涯学習の中でも職業的な向上を目指す学習としてとらえられることが多い。その背景には、OECD やユネスコでのリカレント教育に対する位置づけにあると考えられるため、両者の生涯学習やリカレント教育に対する概念を確認する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A	第13回	【テーマ】 ドイツにおけるリカレント教育 【計画内容】 ドイツの学校制度が特殊であり、特に中等教育と成人教育が密接に絡んでいることは、成人教育を学ぶ者としては、理解をしておかなければならない点である。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A、H			
	第6回	【テーマ】 ILO の有給教育休暇がリカレント教育の進展に与える影響の考察 【計画内容】 ILO では労働者の教育機会を目的として1974年に有給教育休暇条約を採択した。それ以降多くの加盟国は条約を批准し、国内での成人教育や継続教育の推進に取り組んでいる。日本は、その条約について未批准である。これらのことから、この条約とリカレント教育の関連性について学習する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	K	第14回	【テーマ】 リカレント教育に対する諸外国と日本の違い、その背景 【計画内容】 リカレント教育に対する諸外国と日本の違いを確認し、その背景について学習する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	H			
	第7回	【テーマ】 中間まとめとしての課題 【計画内容】 中間的なまとめとして前半に学習した内容について整理する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	G	第15回	【テーマ】 生涯学習やリカレント教育の社会的進展過程、課題を確認 【計画内容】 生涯学習とリカレント教育が進展した経緯と、さらに起こっている課題を確認し、生涯学習社会に対する理解を深める。 【授業時間外の学修内容】 これまでの復習をし、使用したプリントを持参する。	A			
	第8回	【テーマ】 フランス社会と学校教育制度の概観 【計画内容】 学校制度と成人教育は深くかかわるため、事前にフランスの制度を確認する。 【授業時間外の学修内容】 配付プリントを事前に目を通しておくこと。	A、H						
テキスト		プリントを使用します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	60%		25%		15%			
課題に関するフィードバックの方法		時々行うグループワークでは、グループの代表者から発表してもらい、それについて補足説明などをする。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[ス][健][教][芸][心]社会教育主事_選必							
そ の 他		シラバスをよく読んで、真剣に最後まで学習しようという人に履修していただきたいと思います。 提示の一国国について、各自で調べレジュメを作成、それを発表する形式をとり、アクティブ・ラーニングに対応させますので、積極的に臨んでください。							

科 目 名		スポーツ施設管理論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		水野 信太郎					
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保すべき環境面での条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面、専門家としての資格などのついて学ぶ。とくに当講義科目においては施設・建築物の平面図を理解することのできる能力を身に着けることが大きなねらいである。そのために身の回りに実在する建築物を実測して提出する。					
	到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)実際の建築物を調査して図面化することで、平面図を読み取る力をつける。 (4)「体育施設運営士」ならびに「体育施設管理士」という資格について知る。 (5)都市を中心とする将来の「まちづくり」に向けての関心を高めていく。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】都市施設の平面図を作成する。 【計画内容】教員が用意した文章を聞きながら、配付された用紙に平面図(プラン・間取り)を作成していく。入口から施設内へ入ったのち、順に各室を進んでいく。この作業によって、図面を構成する記号や約束事を身につける。完成した平面図を教室内で、互いに発表しあう。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	E、K	第9回	【テーマ】人工照明と自然採光 【計画内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取り扱い方法、そしてグレアという概念、色調などについて学習する。 【授業時間外の学修内容】照明と採光という行為の違い、照明器具の種類などを自習する。	A	
	第2回	【テーマ】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設 【計画内容】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設スポーツ施設を学生自身が列挙する。そのうえで公共施設の社会的使命を論ずる。競技スポーツと芸術表現を対比して、それらの共通点あるいは相違点を明らかにする。さらに大スパン構造に関する説明を受け、その仕組みを理解する。 【授業時間外の学修内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。	A、H	第10回	【テーマ】給排水衛生設備と給湯システム 【計画内容】上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源についてグループで話し合う。その結果を教室で話し合う。とりわけ未来のエネルギー源に関する積極的な展望を期待する。 【授業時間外の学修内容】事前に上下水道の体系、衛生陶器に関する知識を整理する。	F、H	
	第3回	【テーマ】スポーツ施設あるいは居住施設の平面図を採集 【計画内容】4月末から5月上旬の大型連休を活用して、学生が赴いた土地に実在する建築物の現状平面図を作成する。次回の授業時間に提出する。そのために必要な知識と作業手順を説明する。 【授業時間外の学修内容】4月29日(水)から5月6日(水)までの連休中に赴く地域に関する情報を収集しておくこと。	A	第11回	【テーマ】放送設備・昇降設備・防災設備 【計画内容】放送と音響環境、エレベーターとエスカレーター、スプリンクラーとドレンチャーなど消火設備を説明。生涯スポーツ施設など公共建築が担うべき使命を意識する。 【授業時間外の学修内容】防災設備、避難設備について調査する。	A	
	第4回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理・運営 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程を述べる。その際に施設管理者が果たすべき任務を明らかにする。雨漏り、水濡れ、金属部分の劣化、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えほかを学習する。 【授業時間外の学修内容】新築、増築、改築について予習しておくこと。またメンテナンスの意義についても調べる。	G、H	第12回	【テーマ】安全な施設運営と効率的な経営 【計画内容】スポーツ施設運営のソフト面を講義する。この点こそが施設管理者に強く求められる。 【授業時間外の学修内容】施設運営に関与する諸問題を調査して、授業時間で発表できるように準備する。	J、K	
	第5回	【テーマ】通風と換気 【計画内容】良好な風通しの条件、換気回数の定義などを具体的に論じていく。 【授業時間外の学修内容】換気の原則と換気回数の事を調べてくる。	A	第13回	【テーマ】体育施設運営士 【計画内容】主としてスポーツ施設における管理のソフト面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して学習・理解を深める。 【授業時間外の学修内容】日本体育施設協会について調べる。	I	
	第6回	【テーマ】温熱環境 【計画内容】温度、湿度、気流、輻射熱、着衣、運動量の差によって生じる寒暖に感じ方の相違を理解する。 【授業時間外の学修内容】暑さと寒さを健康な人体が感じる諸要素について知識を整理しておく。	F、H	第14回	【テーマ】体育施設管理士 【計画内容】スポーツ施設管理のハード面を中心に担当する、日本体育施設協会公認の体育施設管理士について理解し、教室で討論する。 【授業時間外の学修内容】日本体育施設協会ならびに体育施設管理士について調べる。	I	
	第7回	【テーマ】結露とカビ 【計画内容】結露とは、いかなる現象であり、その結果たとえばカビの発生に関わる条件などを総合的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日常生活で結露やカビに関する実体験を整理して受講すること。さらに対応策を考える。	A	第15回	【テーマ】まとめ：スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において生涯スポーツ施設が完備しているべき要素を再認識する。 【授業時間外の学修内容】15回分の全講義内容をまとめたうえでレポートとして清書する。	G、L	
	第8回	【テーマ】空気調和 【計画内容】冬季間の暖房、夏季の冷房、梅雨時の除湿ほか空調の実情を理解する。換気、温熱環境、結露防止という前週までの講義内容をレポートライティングして提出する。 【授業時間外の学修内容】4週間分の授業内容を整理しておく、レポートライティングに備える。	G				
テキスト	講義時に説明します						
参 考 書	講義時に提示します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分	30%		20%	30%	20%	
補 足							
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応	その都度、直接対応します。						
資 格	[ス]認定トレーニング指導者_必修						
そ の 他	届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が困難になります。						

学部共通科目

科 目 名			コミュニケーション論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			粥川 道子						
授 業 の 目 的	ねらい	コミュニケーションは人と人との間に共同性を打ちたてようとする働きかけです。しかし人は皆、個々に違う価値観をもっており、そのため理想的なコミュニケーションを構築するには、互いに自らの心を開いて正直な気持ちや価値観を相手にさし示し、感情や価値観の共有化を図る努力をしない限り成立しません。本講義では、コミュニケーションの概念について学習するとともにコミュニケーション・スキルのトレーニング方法を体験します。また、社会人基礎力のひとつとしてあげられるコミュニケーション力について考えます。							
	到達目標	(1)コミュニケーションの概念を理解する。 (2)コミュニケーション・スキルのトレーニング方法を知る。 (3)社会人基礎力としてのコミュニケーション力を考える。							
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】15回の講義内容と展開方法について説明します。講義終了時にレポート課題を配付します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A、G	第9回	【テーマ】アサーションとは何か 【計画内容】アサーションの歴史とアサーション権を学び、アサーションの考えに基づいたコミュニケーション・ワークを行います。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、K			
	第2回	【テーマ】コミュニケーションとは何か 【計画内容】コミュニケーションの概念について学びます。プレゼンテーションについて概説し、前回課したレポートの発表に備えます。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A	第10回	【テーマ】エリスのABC理論とアサーティブな自己表現 【計画内容】エリスのABC理論を学び、実際に受講生間でアサーティブな自己表現に挑戦し、理想とするアサーティブな自己表現についてグループで考えます。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、H			
	第3回	【テーマ】プレゼンテーションと自己理解 【計画内容】レポートで調べたラフトとインガムの対人関係における気づきの図解式モデルをグループ内で発表します。自己肯定尺度と対人緊張尺度の質問用紙によるセルフチェックを行います。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	B、F	第11回	【テーマ】ラポールとは何か 【計画内容】許容度意識調査を行い、自己の他者に対する許容度をセルフチェックします。また、ラポールについて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、B			
	第4回	【テーマ】言語コミュニケーションと自己理解 【計画内容】自己紹介について学んだ後、第3回の講義で行ったセルフチェックシートを基に自己紹介シートに自己開示と自己呈示のバランスを保った情報を記入し、2分間の自己紹介文を作成します。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、B	第12回	【テーマ】社会人基礎力としてのコミュニケーション力① 【計画内容】社会人基礎力としてのコミュニケーション力とは何かをグループディスカッションを通して考えます。グループのまとめをクラス全体に発表します。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	F、H			
	第5回	【テーマ】発信力・上手な話し方とは 【計画内容】第4回で作成した自己紹介シートを使用して受講生同士で自己紹介をします。ふりかえりシートを用いて発信力のセルフチェックを行います。その上で上手な話し方のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、H	第13回	【テーマ】グループプロセスとは何か 【計画内容】第12回のグループディスカッションを例として組織内ならびに組織間のコミュニケーションを見直し、グループプロセスについて学びます。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A			
	第6回	【テーマ】傾聴力・上手な聴き方とは 【計画内容】他己紹介ゲームを行います。受講生間でその様子を観察し、専用シートを用いて互いに傾聴力のチェックを行います。その上で上手な聴き方のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、B、H	第14回	【テーマ】社会人基礎力としてのコミュニケーション力② 【計画内容】P. ドラッカーのコミュニケーションの4原則について学びます。その上で、グループで社会人基礎力としてのコミュニケーション力を再考し次回の全体発表用の原稿を作成します。講義終了時にレポートを課します。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、G、H			
	第7回	【テーマ】非言語コミュニケーションとは何か 【計画内容】イヌバラ法体験ゲームを行い非言語コミュニケーションの大切さを体験的に学びます。その上で、非言語コミュニケーションの種類と特質を確認します。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、G、H	第15回	【テーマ】社会人基礎力としてのコミュニケーション力のまとめとレポート 【計画内容】これまでの講義のふり返りを行います。その後第14回で作成した「社会人基礎力としてのコミュニケーション力」についてグループごとに発表し、コミュニケーション・スキルの総まとめを行います。各自「社会人基礎力としてのコミュニケーションについて」レポートを提出します。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	F、G、L			
	第8回	【テーマ】社会的相互作用の循環過程とは何か 【計画内容】本講義でこれまでに実施したゲームを通して自己の発信力と傾聴力をセルフチェックします。他者とのコミュニケーションを通して生じる社会的相互作用の循環過程の仕組みを学び、自己の固着化からの脱却を目指します。 【授業時間外の学修内容】講義で示した予習課題に取り組むこと。	A、B						
テキスト		講義毎にプリントを配付します							
参 考 書		S.I. ハヤカワ、2005年、『思考と行動における言語』、岩波書店 P.F. ドラッカー、2010年、『マネジメント』、ダイヤモンド社							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			30%		10%	60%		
	補 足						プレゼンテーション・グループディスカッション・ロールプレイ		
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		ガイダンス時に具体的に説明します。							
資 格									
そ の 他		本講義では、グループワークを多く取り入れているため、履修定員を60人としています。履修定員を超えた場合、ガイダンス時に配付するレポート課題成績が61番以下の学生は履修出来ない場合があります。							

科 目 名				就業力特別演習Ⅱ		授業形態		演習		単 位 数		1	
教 員 名				阿部 豊									
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、また「就業力特別演習Ⅰ」で学習したことを踏まえ、志望する公務員（一般行政・教育行政・警察行政・警察官・消防士等）になるため、公務員試験対策として、より実践的な学習を行う。											
	到達目標	(1)志望する公務員の職務内容について理解を深める。 (2)志望する公務員の採用試験の方法、内容について理解を深める。 (3)志望する自治体等の政策課題について理解を深める。											
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 志望する職種の職務内容と採用条件 【計画内容】 一般行政・教育行政・警察行政・警察官・消防士などの職種別、北海道・市町村などの自治体や官公庁別の職務内と採用条件、採用の方法と試験の内容について学習する。 【授業時間外の学修内容】 シラバスを読み、15回の授業計画について理解しておくこと。			A		第9回	【テーマ】 集団討議(4) 【計画内容】 「安心安全なまちづくり」をテーマに集団討議を行う。(警察官・消防士志望者、市町村職員志望者共通) 【授業時間外の学修内容】 第8回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。			A、H、I		
	第2回	【テーマ】 採用試験受験申込の方法 【計画内容】 受験申込の方法は多様であり、志望する自治体や官公庁によって異なる方法や提出書類について学習する。 【授業時間外の学修内容】 第1回授業で配付する資料(試験実施予定日)を読んでおくこと。			A		第10回	【テーマ】 集団討議(5) 【計画内容】 「時事問題」(1回目)をテーマに集団討議を行う。(警察官・消防士志望者、市町村職員志望者共通) 【授業時間外の学修内容】 第9回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。			A、H、I		
	第3回	【テーマ】 小論文の作成(1) 【計画内容】 これまで北海道で起こった事故や災害などについてまとめる。(警察官・消防士志望者) 志望する市町村の人口動態、基幹産業などについて分析する。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】 第2回授業で配付する資料(政策のあらまし)を読んでおくこと。			A、B		第11回	【テーマ】 集団討議(6) 【計画内容】 「時事問題」(2回目)をテーマに集団討議を行う。(警察官・消防士志望者、市町村職員志望者共通) 【授業時間外の学修内容】 第10回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。			A、H、I		
	第4回	【テーマ】 小論文の作成(2) 【計画内容】 これまで北海道で起こった事故や災害などを踏まえて、防犯、防災、減災の観点で1000字程度の小論文を作成する。(警察官・消防士志望者)自治体の分析結果に基づき、課題とその解決策について1000字～1200字の小論文を作成する。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】 第3回授業で作成した資料を基に、小論文の構成を考えておくこと。			G		第12回	【テーマ】 個別面接(1) 【計画内容】 個別面接は人物試験であることから、態度や話し方、表現方法などに留意しながら面接を行う。(1回目) 【授業時間外の学修内容】 第11回授業で提示する資料(個別面接要領等)を読んでおくこと。			B		
	第5回	【テーマ】 小論文の作成(3) 【計画内容】 第4回授業で作成した小論文を完成する。 【授業時間外の学修内容】 第4回授業で作成した小論文を加除修正しておくこと。			G		第13回	【テーマ】 個別面接(2) 【計画内容】 個別面接は人物試験であることから、態度や話し方、表現方法などに留意しながら面接を行う。(2回目) 【授業時間外の学修内容】 第12回授業で行った面接の評価を踏まえて準備しておくこと。			B		
	第6回	【テーマ】 集団討議(1) 【計画内容】 これまで北海道で起こった事故や災害などを踏まえて集団討議を行う。(警察官・消防士志望者)北海道の市町村が抱える課題(少子高齢化や過疎化など)を踏まえて集団討議を行う。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】 第5回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。			A、H、I		第14回	【テーマ】 個別面接(3) 【計画内容】 個別面接は人物試験であることから、態度や話し方、表現方法などに留意しながら面接を行う。(3回目) 【授業時間外の学修内容】 第13回授業で行った面接の評価を踏まえて準備しておくこと。			B		
	第7回	【テーマ】 集団討議(2) 【計画内容】 北海道の積雪寒冷等の自然条件を踏まえて集団討議を行う。(警察官・消防士志望者)北海道の市町村が抱える課題(基幹産業の振興や後継者不足など)を踏まえて集団討議を行う。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】 第6回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。			A、H、I		第15回	【テーマ】 演習のまとめ 【計画内容】 第1回から第14回までの学習をふりかえり、すでに受験した自治体や機関の可否を踏まえ、これから臨む採用試験に向けた対策について考える。ただし、これ以降の採用試験は、北海道職員採用試験(第2回)、北海道警察警察官採用試験(第2回)、町村職員試験などに限られる。 【授業時間外の学修内容】 これまで受験した試験の結果踏まえ、今後の方向性について考えておくこと。			A、B		
	第8回	【テーマ】 集団討議(3) 【計画内容】 北海道の高齢化、過疎化を踏まえて集団討議を行う。(警察官・消防士志望者)北海道の市町村が抱える課題(インバウンドの誘致や観光振興)を踏まえて集団討議を行う。(市町村職員志望者) 【授業時間外の学修内容】 第6回授業で提示する集団討議のテーマについて、発言内容をまとめておくこと。			A、H、I								
テキスト		プリントを使用します											
参 考 書		講義時に説明します											
成績評価の方法		筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他	
	配分			25%		25%				50%			
	補足			集団討議等		小論文等							
課題に関するフィードバックの方法													
実務経験と授業の関連		経 験 内 容											
		科目との関連											
質問への対応		講義時、講義後、その他可能な機会 で直接対応します。											
資 格													
そ の 他		5月中旬から道内の採用試験が行われることから、本演習だけでなく、要請に応じて随時個別に対応します。											

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		神部 雅子						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、介護福祉士として働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を、「健康福祉専門職演習Ⅰ」と連動しながらさらに広げ、深める。						
	到達目標	(1)毎日少しずつでも学習に取り組み、学習習慣を修得する。 (2)基本的な知識を確実にするため、学習ノートを作成し活用する。 (3)全国模擬試験を受験し、自己の課題を知る。 (4)参考文献等を活用し、自己学習ができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】ガイダンス、模擬試験 【計画内容】授業のガイダンスを行う。模擬試験を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読してこること。模擬試験の準備をしてくること。	A、B	第9回	【テーマ】社会の理解① 【計画内容】受験対策講座と連動して、テーマの科目の模擬問題を解きつつ、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	B		
	第2回	【テーマ】模擬試験解説 【計画内容】模擬試験問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の問題を見直し、テキストや参考書等で正答を確認しておくこと。	A、B	第10回	【テーマ】社会の理解② 【計画内容】受験対策講座と連動して、テーマの科目の模擬問題を解きつつ、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	B		
	第3回	【テーマ】人間関係とコミュニケーション、認知症の理解 【計画内容】テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A、B	第11回	【テーマ】こころとからだのしくみ① 【計画内容】受験対策講座と連動して、テーマの科目の模擬問題を解きつつ、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	B		
	第4回	【テーマ】人間の尊厳と自立、コミュニケーション技術 【計画内容】テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A、B	第12回	【テーマ】こころとからだのしくみ② 【計画内容】受験対策講座と連動して、テーマの科目の模擬問題を解きつつ、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	B		
	第5回	【テーマ】介護の基本 【計画内容】テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A、B	第13回	【テーマ】障害の理解 【計画内容】受験対策講座と連動して、テーマの科目の模擬問題を解きつつ、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	B		
	第6回	【テーマ】生活支援技術① 【計画内容】テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A、B	第14回	【テーマ】発達と老化の理解 【計画内容】受験対策講座と連動して、テーマの科目の模擬問題を解きつつ、重要事項を各自ノートにまとめ知識を深める。 【授業時間外の学修内容】受験対策講座で知識不足の項目をノートに整理する。	B		
	第7回	【テーマ】生活支援技術② 【計画内容】テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A、B	第15回	【テーマ】復習と確認 【計画内容】前半に学習した科目に関する知識の定着状況を確認するため、模擬試験を行う。 【授業時間外の学修内容】前半の科目を総復習してこる。	B		
	第8回	【テーマ】医療ケア、介護過程 【計画内容】テーマの科目について、模擬問題の解答・解説を行う。 【授業時間外の学修内容】テキスト、参考書等で該当科目について自己学習し、ノートづくりをする。	A、B					
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		『介護福祉士国家試験合格テキスト2021』、中央法規 『介護福祉士国家試験過去問解説集2021』、中央法規						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足					30%	70%	
課題に関するフィードバックの方法		全国模試の結果は個人成績として返却される。全国での順位および科目ごとに今後の学習ポイントが示される。学内模試を合わせてすべての模試の結果を個人成績表にして配付する。得点の推移、苦手科目がわかる。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		介護福祉士の資格取得を第一目標とする学生が履修登録してください。 全国模試の受験費用は一部自己負担があります。						

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		小坂井 留美						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。本講義の具体的な免許・資格は、「健康運動指導士」である。						
	到達目標	(1)健康運動指導士の役割や活躍の場について理解する。 (2)健康運動指導士に必要な知識を修得する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動障害と予防の基礎と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B		
	第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康運動に関わる指導者の役割について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第10回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】体力測定と評価の基礎と活用について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B		
	第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康管理の基礎と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第11回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】救急処置の基礎と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる	A、B		
	第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり施策の基礎と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B	第12回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動行動変容の理論と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B		
	第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】生活習慣病の基礎と運動指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B	第13回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】こころの健康増進の基礎と運動指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B		
	第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】運動生理学の基礎と指導実践について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B	第14回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】栄養摂取の基礎と運動指導について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B		
	第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】機能解剖とバイオメカニクスの基礎と指導実践について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておく。	L		
	第8回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】健康づくり運動の理論と実際について学びます。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A、B					
テキスト		健康・体力づくり事業財団、『健康運動指導士養成講習会テキスト』						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分					30%	70%	
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		佐藤 至英						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、志望する職業と関連する免許・資格について学び、当該分野で働くことを実現するため、「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。具体的な免許・資格は、特別支援学校教諭である。						
	到達目標	(1)特別支援教育の意義と制度を理解する。 (2)障害のある子どもの生理・心理を理解する。 (3)障害のある子どもに必要な教育的対応を理解し、基本的な対応を実践できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読してくる。	A	第9回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】知的障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L		
	第2回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】学習指導要領の改訂の方向性・特別支援教育の新たな展開 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第10回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】肢体不自由の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L		
	第3回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】海外の特別支援教育 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第11回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】病弱・身体虚弱の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる	B、J、L		
	第4回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特別支援教育と教員の専門性 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、H	第12回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】軽度発達障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L		
	第5回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特別支援教育と教育課程 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、H	第13回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】ASDの特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L		
	第6回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】特別支援教育の関係領域 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、H	第14回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】LD/ADHDの特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L		
	第7回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】視覚障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておく。	L		
	第8回	【テーマ】資格の基礎的内容の修得と実践的内容の理解 【計画内容】聴覚障害の特性と対応 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B、J、L					
テキスト		時事通信出版局、2017年、『特別支援教育の完全攻略(2019年度版 専門教養 Build Up シリーズ)』、時事通信社、4788715627						
参 考 書		協同教育研究会、2017年、『北海道・札幌市の特別支援学校教諭過去問 2019年度版』、協同出版、4319277740						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補 足					30%	70%	
課題に関するフィードバックの方法		ポータルにて、行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名				就業力特別演習Ⅱ		授業形態		演習		単 位 数		1	
教 員 名				森 靖明									
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて保健体育科教員に関連する知識や考え方について学ぶ。「就業力特別演習Ⅰ」で培った基礎知識を確実なものとし、さらに知識を広げ深める。											
	到達目標	(1)保健体育科教員として必要な知識を習得している。 (2)教師として必要な資質や能力の向上を図る姿勢が身に付いている。											
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス、教員採用検査の出題形式の説明 【計画内容】講義のねらいと到達目標、全15回の講義展開及び受講のルール等について説明。また、教員採用選考検査に向けての心構えについて。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A		第9回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(武道、ダンス)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H						
	第2回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】学習指導要領の改訂のポイントについて。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H		第10回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(体育理論)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H						
	第3回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】新学習指導要領(総則等)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H		第11回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校の「保健分野」について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H						
	第4回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】新学習指導要領(特別活動等)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H		第12回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】高等学校の科目「保健」について 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H						
	第5回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】保健体育科及び体育・保健の目標について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H		第13回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高等学校保健体育科の内容の取扱いについて。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H						
	第6回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(体づくり運動、器械運動)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H		第14回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】中学校及び高等学校保健体育科の指導計画の作成について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H						
	第7回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(陸上競技、水泳)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H		第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義の振り返り。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習すること。	A、L						
	第8回	【テーマ】保健体育科教員に関しての基礎的内容の習得と実践的内容の理解 【計画内容】体育の各領域(球技)について。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説保健体育編」を熟読してくること。	A、B、H										
テキスト		プリント等を使用します											
参 考 書		文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房、9784827815580 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房、97-4827815672											
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他						
	配 分 補 足					30% 学習に主体的に取り組む姿勢	70% グループワーク等						
課題に関するフィードバックの方法													
実務経験と授業の関連	経 験 内 容												
	科目との関連												
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。											
資 格													
そ の 他		保健体育科教員を志望する学生は必ず受講すること。											

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		八巻 貴穂						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。						
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】1年間の学習スケジュールや学習方法について説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読すること。	A	第9回	【テーマ】過去問を学習する⑧ 障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第2回	【テーマ】過去問を学習する① 人体の構造と機能および疾病 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】過去問を学習する⑨ 低所得者に対する支援と生活保護制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第3回	【テーマ】過去問を学習する② 心理学理論と心理的支援 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】過去問を学習する⑩ 保健医療サービス 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第4回	【テーマ】過去問を学習する③ 社会理論と社会システム 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】過去問を学習する⑪ 権利擁護と成年後見制度 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第5回	【テーマ】過去問を学習する④ 現代社会と福祉 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】過去問を学習する⑫ 社会調査の基礎 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第6回	【テーマ】過去問を学習する⑤ 地域福祉の理論と方法 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】過去問を学習する⑬ 相談援助の基盤と専門職 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第7回	【テーマ】過去問を学習する⑥ 福祉行政と福祉計画 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】過去問を学習する⑭ 相談援助の理論と方法 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A		
	第8回	【テーマ】過去問を学習する⑦ 社会保障 【計画内容】過去2年間、社会福祉士国家試験に出題された問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】参考書を熟読し、過去2年分の問題を事前に学習しておくこと。	A					
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			30%		70%		
課題に関するフィードバックの方法		課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に説明する。						
資 格								
そ の 他		社会福祉士国家試験を受験する者は、必ず履修すること。						

科 目 名		就業力特別演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		吉田 真						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、体系的に開講される本学キャリア教育の中で実践教育に位置する。自己の進路を見据えて、アスレティックトレーナーの免許・資格について学び、資格取得に向けた実践力を養成する。						
	到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な知識を修得する。 (2)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得に必要な技術を修得する。 (3)アスレティックトレーナー(AT)の資格・取得後に必要な実践力・応用力を修得する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】AT 理論試験の過去問を通読してくること。	A	第9回	【テーマ】ATに必要な救急処置の知識 【計画内容】ATに必要な救急処置について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト8巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H		
	第2回	【テーマ】ATの役割 【計画内容】ATの役割、資格取得の意義について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト1巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H	第10回	【テーマ】ATに必要なスポーツ栄養の知識 【計画内容】ATに必要なスポーツ栄養について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト9巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H		
	第3回	【テーマ】ATに必要な解剖の知識 【計画内容】ATに必要な機能解剖学について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト2巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H	第11回	【テーマ】ATに必要なスポーツバイオメカニクスの知識 【計画内容】ATに必要なスポーツバイオメカニクスについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび参考書の関連するページを精読してくること。	A、F、H		
	第4回	【テーマ】ATに必要なスポーツ外傷・障害の知識 【計画内容】ATに必要なスポーツ外傷・障害について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト3巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H	第12回	【テーマ】プレゼンテーション1 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【授業時間外の学修内容】第11回までの内容を復習すること。	H、I、K		
	第5回	【テーマ】ATに必要なスポーツ内科の知識 【計画内容】ATに必要なスポーツ内科について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト4巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H	第13回	【テーマ】プレゼンテーション2 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションの資料作成を行う。 【授業時間外の学修内容】第11回までの内容を復習すること。	H、I、K		
	第6回	【テーマ】ATに必要な評価・測定の知識 【計画内容】ATに必要な評価・測定について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト5巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H	第14回	【テーマ】プレゼンテーション3 【計画内容】講義で学んだ内容に関するプレゼンテーションを行う。 【授業時間外の学修内容】作成したプレゼンテーション資料を熟読すること。	F		
	第7回	【テーマ】ATに必要なコンディショニングの知識 【計画内容】ATに必要なコンディショニングについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト6巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L		
	第8回	【テーマ】ATに必要なアスレティックリハビリテーションの知識 【計画内容】ATに必要なアスレティックリハビリテーションについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】ATテキスト7巻の関連するページを精読してくること。	A、F、H					
テキスト	講義時に説明します							
参 考 書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分	30%		30%		40%		
	補足							
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。							
資 格								
そ の 他	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナーの資格取得を志望することが望ましい。							

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		井出 幸二郎						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。具体的な免許・資格は、日本トレーニング指導者協会認定トレーニング指導者資格である。						
	到達目標	(1)トレーニング指導者に必要な基礎的な知識を身につける。 (2)トレーニング指導者に必要な専門的な知識を身につけ、実践場面での応用力を身につける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読してこ	A	第9回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B		
	第2回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第10回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B		
	第3回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第11回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B		
	第4回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第12回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B		
	第5回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第13回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B		
	第6回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第14回	【テーマ】各資格に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B		
	第7回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L		
	第8回	【テーマ】トレーニング指導者に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B					
テキスト		NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2017年、『トレーニング指導者テキスト 理論編・改訂版』、大修館 NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2014年、『トレーニング指導者テキスト 実践編・改訂版』、大修館 NPO 法人日本トレーニング指導者協会、2017年、『JATI 認定トレーニング指導者 認定試験（一般・専門）模擬問題集 改訂版』、トレーニング指導者協会						
参 考 書		プリントを使用します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			70%		30%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容	トレーニング指導者					
		科目との関連	トレーニング指導					
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他								

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名		岩本 希						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目に当たる。模擬問題集への取り組みを中心として社会福祉士国家資格取得のために必要な知識の修得、定着を図り、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。						
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を定着させる。 (2)模擬試験や問題集に取り組み、社会福祉士国家試験に合格できるよう準備する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、今後の学習方法について 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。今後の学習方法について説明し、国家試験合格に向けた学習計画を立てます。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】障害者に対する支援と障害者自立支援 【計画内容】障害者に対する支援と障害者自立支援についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B		
	第2回	【テーマ】人体の構造と機能及び疾病 【計画内容】人体の構造と機能及び疾病についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第10回	【テーマ】模擬試験の復習 【計画内容】模擬試験問題を振り返り苦手科目を確認、受験勉強学習計画を作成します。 【授業時間外の学修内容】模擬試験問題の解説を精読してくる。	A、B		
	第3回	【テーマ】心理学理論と心理的支援 【計画内容】心理学理論と心理的支援についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第11回	【テーマ】社会福祉士国家試験直前対策 【計画内容】受験の心構えや問題を解くテクニックについて説明します。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した内容、学習計画を確認しておく。	A、B		
	第4回	【テーマ】社会理論と社会システム 【計画内容】社会理論と社会システムについての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第12回	【テーマ】学習計画に沿った学習① 【計画内容】苦手科目克服に向け、計画に沿って学習します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書、模擬問題集等の解説を精読してくる。	A、B		
	第5回	【テーマ】現代社会と福祉 【計画内容】現代社会と福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第13回	【テーマ】学習計画に沿った学習② 【計画内容】苦手科目克服に向け、計画に沿って学習します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書、模擬問題集等の解説を精読してくる。	A、B		
	第6回	【テーマ】地域福祉の理論と方法 【計画内容】地域福祉の理論と方法についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第14回	【テーマ】国家試験直前の学習方法 【計画内容】国家試験当日までの学習方法を確認します。 【授業時間外の学修内容】これまで学習した内容、学習計画を確認しておく。	A、B		
	第7回	【テーマ】福祉行政と福祉計画 【計画内容】福祉行政と福祉計画についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの学習を振り返り、国家試験当日に向けた学習計画を確認します。 【授業時間外の学修内容】学習計画、社会福祉士国家試験受験の手引きを再確認しておく。	A、B		
	第8回	【テーマ】社会保障 【計画内容】社会保障についての理解を深め、国家試験に必要な知識の定着を図ります。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B					
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			30%		70%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法	学習方法や取り組み内容へのフィードバックは適宜講義内及び個別指導にて行います。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。							
資 格								
そ の 他	社会福祉士国家試験を受験する学生は、必ず履修すること。							

科 目 名			就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			大宮 真一						
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。具体的な免許・資格は、ジュニアスポーツ指導員である。							
	到達目標	(1)ジュニアスポーツ指導員に必要な知識を理解する。 (2)ジュニアスポーツ指導員に必要な実践場面での応用力を身につける。 (3)スポーツクラブでの指導補助ができる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読してくる。	A	第9回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			
	第2回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第10回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			
	第3回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第11回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			
	第4回	【テーマ】ジュニアスポーツ指導員に必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ジュニアスポーツ指導の課題に取り組み、実践力を磨く。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	B	第12回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			
	第5回	【テーマ】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導① 【計画内容】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導上の留意事項を学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第13回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			
	第6回	【テーマ】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導② 【計画内容】スポーツクラブにおけるジュニアスポーツ指導上の留意事項を学習する。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	A	第14回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D			
	第7回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L			
	第8回	【テーマ】スポーツクラブでの指導補助 【計画内容】スポーツクラブでのジュニアスポーツ指導の補助を行うことで指導力を高める。 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してくる。	D						
テキスト		日本スポーツ協会、2017年、『公認ジュニアスポーツ指導員養成テキスト』							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分			70%		30%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。							
資 格		[ス]ジュニアスポーツ指導員_選必 [健]ジュニアスポーツ指導員_必修							
そ の 他									

科 目 名			就業力特別演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			佐藤 郁子						
授 業 の 目 的	ねらい	「健康福祉専門職演習Ⅰ・Ⅱ」での学習をさらに深め、テーマを決めて介護福祉士に必要な知識を集中的に学びます。模擬試験や過去問題の解答や自己学習を繰り返し行い、介護福祉士国家試験合格を目指します。							
	到達目標	(1)模擬試験や過去問題を行い、介護福祉士国家試験合格を目指す。 (2)介護福祉士国家試験科目に必要な知識を繰り返し復習し、身につけることができる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、模擬試験の受験① 【計画内容】授業の進め方、国家試験のための準備について説明し、現在の学習状況を確認します。また、範囲科目の模擬試験(午前)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】介護福祉士関連の辞典、ワークブックなどを持参すること。	A、B	第9回	【テーマ】模擬試験の受験③ 【計画内容】範囲科目の模擬試験(午前)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をすること。	A、B			
	第2回	【テーマ】模擬試験の受験② 【計画内容】範囲科目の模擬試験(午後)を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】試験範囲科目の予習をすること。	A、B	第10回	【テーマ】模擬試験の解説－人間の尊厳と自立、認知症の理解、介護過程 【計画内容】テーマ科目の模擬試験の解説、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をすること。	A、B			
	第3回	【テーマ】社会の理解① 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】社会の理解の予習をすること。	A、B	第11回	【テーマ】模擬試験の解説－人間関係とコミュニケーション、介護の基本、コミュニケーション技術 【計画内容】テーマ科目の模擬試験の解説、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をすること。	A、B			
	第4回	【テーマ】社会の理解② 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】社会の理解の予習をすること。	A、B	第12回	【テーマ】模擬試験の解説－生活支援技術 【計画内容】テーマ科目の模擬試験の解説、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】指定範囲科目の予習・復習をすること。	A、B			
	第5回	【テーマ】発達と老化の理解 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】発達と老化の理解の予習をすること。	A、B	第13回	【テーマ】苦手科目の重点学習 【計画内容】苦手科目の模擬試験等を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】苦手科目の予習・復習をすること。	A、B			
	第6回	【テーマ】こころとからだのしくみ① 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】こころとからだのしくみの予習をすること。	A、B	第14回	【テーマ】苦手科目の重点学習 【計画内容】苦手科目の模擬試験等を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】苦手科目の予習・復習をすること。	A、B			
	第7回	【テーマ】こころとからだのしくみ② 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】こころとからだのしくみの予習をすること。	A、B	第15回	【テーマ】総復習 【計画内容】国家試験直前の総復習と準備を行います。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習の復習をすること。	A、B			
	第8回	【テーマ】障害の理解 【計画内容】テーマ科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】障害の理解の予習をすること。	A、B						
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		『介護福祉士国家試験合格テキスト』、中央法規 『介護福祉士国家試験過去問解説集』、中央法規							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足					30%	70%		
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連	経 験 内 容								
	科目との関連								
質問への対応		初回講義時に説明します。							
資 格									
そ の 他		介護福祉士国家試験準備のための科目です。予習・復習などに積極的に取り組む姿勢を求めます。							

科 目 名		就業力特別演習Ⅲ		授業形態		演習		単 位 数		1			
教 員 名		高田 真吾											
授 業 の 目 的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した分野について、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。この授業では、健康運動指導士の資格を対象とする。											
	到達目標	(1)健康運動指導士の資格取得に必要な知識を身につけ、他者に伝えられるようにする。 (2)健康運動指導士として活躍するための実践力を身につける。											
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(1) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第9回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(2) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B							
	第2回	【テーマ】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(2) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第10回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(3) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B							
	第3回	【テーマ】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病(3) 【計画内容】健康管理概論、健康づくり施策概論、生活習慣病に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第11回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(4) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B							
	第4回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(1) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第12回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(1) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B							
	第5回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(2) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第13回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(2) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B							
	第6回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(3) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第14回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(3) 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B							
	第7回	【テーマ】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防(4) 【計画内容】運動生理学、機能解剖とバイオメカニクス、健康づくり運動の理論、運動障害と予防に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(上巻)の該当部分を予習してくる。	B	第15回	【テーマ】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動(4)、まとめと振り返り 【計画内容】運動負荷試験、運動行動変容、運動と心の健康増進、栄養摂取と運動に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。さらにこれまでの講義のまとめと振り返りを行う。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B、L							
	第8回	【テーマ】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際(1) 【計画内容】体力測定と評価、健康づくり運動の実際、救急処置、運動プログラムの実際に関する必要な知識を身につけ、現場での活用について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】健康運動指導士テキスト(下巻)の該当部分を予習してくる。	B										
テキスト		健康・体力づくり事業財団、2018年、『健康運動指導士養成講習会テキスト』、南江堂											
参 考 書		講義時に説明します											
成績評価の方法		筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他	
	配分					70%				30%			
補 足													
課題に関するフィードバックの方法													
実務経験と授業の関連		経 験 内 容											
		科目との関連											
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。											
資 格													
そ の 他													

科目名		就業形態		演習	単位数	1
就業力特別演習Ⅲ		吉田 昌弘、黒田 裕太、山本 敬三				
授業の目的	ねらい	本演習は、本学のキャリア教育の中で実践的総括科目にあたる。将来の進路決定のために自らが志望した日本体育協会公認アスレティックトレーナーについて、より一層の理解を深め、実践的応用力を身につけることを目指す。				
	到達目標	(1)アスレティックトレーナー(AT)の専門性を説明できる。 (2)ATに必要なスポーツ医科学の知識をもとに、実践場面での応用方法を理解し説明できる。				
授業の計画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと資格概要の説明 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明する。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読してこ	A	第9回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題に取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B
	第2回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてアスレティックトレーナーの役割について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第10回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてスポーツと心理について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B
	第3回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてスポーツ科学について取り組むことで、実践力を磨く。(山本敬三) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第11回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題として検査・測定と評価について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B
	第4回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題として運動器の解剖と機能について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第12回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題として予防とコンディショニングについて取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B
	第5回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてスポーツ外傷・障害の基礎知識について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第13回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてアスレティックリハビリテーションについて取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B
	第6回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題として健康管理とスポーツ医学について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第14回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題として救急処置について取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B
	第7回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてスポーツと栄養について取り組むことで、実践力を磨く。(黒田裕太) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行う。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】これまでの授業内容を復習しておくこと。	L
	第8回	【テーマ】ATに必要な実践力、応用力の修得 【計画内容】ATに求められる応用的な課題としてについて取り組むことで、実践力を磨く。(吉田昌弘) 【授業時間外の学修内容】テキストの関連するページを精読してこ	B			
テキスト		AT 専門科目テキスト1～9巻				
参考書		講義時に説明します				
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度
	配分			70%		30%
	補足					
課題に関するフィードバックの方法	課題に対するフィードバックは、口頭試問による質疑応答やコメント等を通して行います。					
実務経験と授業の関連	経験内容					
	科目との関連					
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します。					
資格						
その他						

スポーツ教育学科 学 科 専 門 科 目

科 目 名		スポーツ施設管理論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		水野 信太郎					
授 業 の 目 的	ねらい	生涯学習・生涯スポーツ社会を迎えた今日のわが国で、健全な社会生活を支えている各種の学習施設やスポーツ施設が担保すべき環境面での条件を理解する。具体的には各種の施設、設備、器具、屋内環境、運営面、専門家としての資格などのついて学ぶ。とくに当講義科目においては施設・建築物の平面図を理解することのできる能力を身に着けることが大きなねらいである。そのために身の回りに実在する建築物を実測して提出する。					
	到達目標	(1)生涯スポーツ施設の管理・運営に関する用語を理解する。 (2)生涯学習施設と生涯スポーツ施設管理者の業務内容を学習する。 (3)実際の建築物を調査して図面化することで、平面図を読み取る力をつける。 (4)「体育施設運営士」ならびに「体育施設管理士」という資格について知る。 (5)都市を中心とする将来の「まちづくり」に向けての関心を高めていく。					
授 業 の 画	第1回	【テーマ】都市施設の平面図を作成する。 【計画内容】教員が用意した文章を聞きながら、配付された用紙に平面図(プラン・間取り)を作成していく。入口から施設内へ入ったのち、順に各室を進んでいく。この作業によって、図面を構成する記号や約束事を身につける。完成した平面図を教室内で、互いに発表しあう。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	E、K	第9回	【テーマ】人工照明と自然採光 【計画内容】採光と照明の違い、照明器具の種類と取り扱い方法、そしてグレアという概念、色調などについて学習する。 【授業時間外の学修内容】照明と採光という行為の違い、照明器具の種類などを自習する。	A	
	第2回	【テーマ】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設 【計画内容】さまざまな生涯スポーツ施設と生涯学習施設スポーツ施設を学生自身が列挙する。そのうえで公共施設の社会的使命を論ずる。競技スポーツと芸術表現を対比して、それらの共通点あるいは相違点を明らかにする。さらに大スパン構造に関する説明を受け、その仕組みを理解する。 【授業時間外の学修内容】北海道内各地のスポーツ施設について資料を収集する。	A、H	第10回	【テーマ】給排水衛生設備と給湯システム 【計画内容】上下水道の体系、トラップ、衛生陶器、効率的な熱源についてグループで話し合う。その結果を教室で話し合う。とりわけ未来のエネルギー源に関する積極的な展望を期待する。 【授業時間外の学修内容】事前に上下水道の体系、衛生陶器に関する知識を整理する。	F、H	
	第3回	【テーマ】スポーツ施設あるいは居住施設の平面図を採集 【計画内容】4月末から5月上旬の大型連休を活用して、学生が赴いた土地に実在する建築物の現状平面図を作成する。次回の授業時間に提出する。そのために必要な知識と作業手順を説明する。 【授業時間外の学修内容】4月29日(水)から5月6日(水)までの連休中に赴く地域に関する情報を収集しておくこと。	A	第11回	【テーマ】放送設備・昇降設備・防災設備 【計画内容】放送と音響環境、エレベーターとエスカレーター、スプリンクラーとドレンチャーなど消火設備を説明。生涯スポーツ施設など公共建築が担うべき使命を意識する。 【授業時間外の学修内容】防災設備、避難設備について調査する。	A	
	第4回	【テーマ】スポーツ施設の企画・計画・設計・施工・保守・管理・修理・運営 【計画内容】新しくスポーツ施設がつくられるまでの過程を述べる。その際に施設管理者が果たすべき任務を明らかにする。雨漏り、水濡れ、金属部分の劣化、配管の寿命などに応じた補修・塗装・取り換えほかを学習する。 【授業時間外の学修内容】新築、増築、改築について予習しておくこと。またメンテナンスの意義についても調べる。	G、H	第12回	【テーマ】安全な施設運営と効率的な経営 【計画内容】スポーツ施設運営のソフト面を講義する。この点こそが施設管理者に強く求められる。 【授業時間外の学修内容】施設運営に関する諸問題を調査して、授業時間で発表できるように準備する。	J、K	
	第5回	【テーマ】通風と換気 【計画内容】良好な風通しの条件、換気回数の定義などを具体的に論じていく。 【授業時間外の学修内容】換気の原則と換気回数の事を調べてくる。	A	第13回	【テーマ】体育施設運営士 【計画内容】主としてスポーツ施設における管理のソフト面を担当する、日本体育施設協会公認の体育施設運営士に関して学習・理解を深める。 【授業時間外の学修内容】日本体育施設協会について調べる。	I	
	第6回	【テーマ】温熱環境 【計画内容】温度、湿度、気流、輻射熱、着衣、運動量の差によって生じる寒暖に感じ方の相違を理解する。 【授業時間外の学修内容】暑さと寒さを健康な人体が感じる諸要素について知識を整理しておく。	F、H	第14回	【テーマ】体育施設管理士 【計画内容】スポーツ施設管理のハード面を中心に担当する、日本体育施設協会公認の体育施設管理士について理解し、教室で討論する。 【授業時間外の学修内容】日本体育施設協会ならびに体育施設管理士について調べる。	I	
	第7回	【テーマ】結露とカビ 【計画内容】結露とは、いかなる現象であり、その結果たとえばカビの発生に関わる条件などを総合的に学ぶ。 【授業時間外の学修内容】日常生活で結露やカビに関する実体験を整理して受講すること。さらに対応策を考える。	A	第15回	【テーマ】まとめ：スポーツ施設の近未来 【計画内容】生涯スポーツ社会において生涯スポーツ施設が完備しているべき要素を再認識する。 【授業時間外の学修内容】15回分の全講義内容をまとめたうえでレポートとして清書する。	G、L	
	第8回	【テーマ】空調調和 【計画内容】冬季間の暖房、夏季の冷房、梅雨時の除湿ほか空調の実情を理解する。換気、温熱環境、結露防止という前週までの講義内容をレポートライティングして提出する。 【授業時間外の学修内容】4週間分の授業内容を整理しておく、レポートライティングに備える。	G				
テキスト		講義時に説明します					
参 考 書		講義時に提示します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配分	30%		20%	30%	20%	
補 足	足						
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		その都度、直接対応します。					
資 格		[ス]認定トレーニング指導者_必修					
そ の 他		届け出のない欠席が複数回ある場合には、単位取得が困難になります。					

科 目 名		運動処方演習			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行、沖田 孝一、小坂井 留美						
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動を指導するのに必要な実践力を磨くには、①安全で効果的な運動処方作成のために必要な運動負荷試験の実際や、②生活習慣病の予防や改善に関わる集団と個別に対応する運動処方の方法を実践形式で学び、それぞれの集団および個人に適した運動プログラムを処方する能力を身につける。						
	到達目標	(1)運動負荷試験の方法を学ぶ。 (2)生活習慣病の予防や改善に関わる運動処方作成の方法を身につける。 (3)介護予防に関わる運動処方作成の方法を身につける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・運動処方作成のために必要な行動目標 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」の内容について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅲ(糖尿病) 【計画内容】 生活習慣病のうち糖尿病に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 糖尿病について理解を深めておくこと。	B		
	第2回	【テーマ】 身体活動量の把握と運動処方 【計画内容】 身体活動量を把握する方法と運動処方の作成方法について学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 運動処方の基本的知識について復習しておくこと。	B	第10回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅳ(虚血性心疾患) 【計画内容】 生活習慣病のうち虚血性心疾患に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 虚血性疾患について理解を深めておくこと。	B		
	第3回	【テーマ】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方 【計画内容】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 転倒予防に必要な体力要素について復習しておくこと。	B	第11回	【テーマ】 運動負荷試験の実際 【計画内容】 健診結果・安静時心電図の読み方・運動負荷試験の方法について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	B		
	第4回	【テーマ】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方 【計画内容】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方のプログラミングについて学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 行動変容理論の基本的知識について復習しておくこと。	B	第12回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅰ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行い、健診結果・安静時心電図の読み方・運動負荷試験の方法について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第5回	【テーマ】 変形性関節症のための運動処方 【計画内容】 変形性関節症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(下肢)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第13回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅱ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第6回	【テーマ】 腰痛症のための運動処方 【計画内容】 腰痛症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(腰部)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第14回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅲ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第7回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅰ(肥満症) 【計画内容】 生活習慣病のうち肥満症に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 肥満症について理解を深めておくこと。	B	第15回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅳ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第8回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅱ(高血圧症) 【計画内容】 生活習慣病のうち高血圧症に対する運動処方の方法を学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 高血圧症について理解を深めておくこと。	B					
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		『健康運動指導士テキスト』 上田知行、2019年、『認知症予防介護予防のための運動教室指導案集』、ソーシャルビジネス推進センター、97-4991103308						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	30%		40%		30%		
	補 足							
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義時に説明します。						
資 格		[ス]健康運動指導士_必修						
そ の 他		「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」を履修していること。 本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科 目 名			スポーツマーケティング		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			永谷 稔					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、マーケティングの基礎を学び、スポーツにおけるマーケティングの基礎的な考え方と重要性を考える。スポーツのマーケティングは現在、プロスポーツから民間スポーツや公共スポーツ、地域スポーツや学校体育など多岐にわたる場面で必要となっている。有形商品のほか無形商品であるサービスなどのマーケティングについて、スポーツマーケットの実態や戦略方法を学び、最終的にはスポーツマーケティングの実践者になるべく、知識や能力を蓄えたい。						
	到達目標	(1)マーケティングの基本を理解する。 (2)スポーツにおけるマーケティングを理解する。 (3)スポーツマーケットの実態や戦略方法を理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の内容を紹介し、15回の講義展開を説明する。 【授業時間外の学修内容】スポーツのマーケティングについて理解を深めておくこと。	A	第9回	【テーマ】スポーツにおけるマーケティング・ミックス 【計画内容】スポーツにおけるマーケティング・ミックス戦略について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K		
	第2回	【テーマ】スポーツマーケティングとは 【計画内容】スポーツの産業規模や成長の概要について。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K	第10回	【テーマ】商品としてのスポーツ 【計画内容】スポーツを商品としてとらえることについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K		
	第3回	【テーマ】スポーツマーケティングの歴史 【計画内容】スポーツマーケティングの歴史について、起源―発展―洗練と追っていく。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K	第11回	【テーマ】スポーツ産業における製品 【計画内容】スポーツ産業における製品の定義、分類などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K		
	第4回	【テーマ】スポーツ産業のグローバルマーケット 【計画内容】スポーツ産業のグローバルマーケットについて、グローバルビジネスの構造、経済と金融、グローバルスポーツの観点から学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K	第12回	【テーマ】スポーツ産業における価格戦略 【計画内容】スポーツ産業における価格および価格の決定、4Cについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K		
	第5回	【テーマ】スポーツマーケティングの理論 【計画内容】スポーツマーケティングの理論として、基本的な考え方や捉え方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K	第13回	【テーマ】スポーツ産業におけるマーケティング・チャネル 【計画内容】スポーツ産業におけるマーケティング・チャネルおよび流通について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K		
	第6回	【テーマ】スポーツマーケットの実態 【計画内容】スポーツビジネスの場となるマーケットの実態について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K	第14回	【テーマ】スポーツビジネスの将来 【計画内容】スポーツビジネスの将来像および展望について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K		
	第7回	【テーマ】スポーツビジネス産業 【計画内容】スポーツビジネス産業の規模や成長発展について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K	第15回	【テーマ】講義のまとめ 【計画内容】講義のまとめ、ふりかえりを実施する。 【授業時間外の学修内容】本講義をふりかえり、講義プリントなどから重要ポイントを理解しておくこと。	A、G、K		
	第8回	【テーマ】スポーツビジネスにおけるセグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング 【計画内容】セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニングの目的や意味について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】配付プリントを読み、内容を把握しておくこと。	A、J、K					
テキスト		プリントや資料を配付します						
参 考 書		木内明ほか、2004年、『体育学への探求』、ティプロ、4990167503 B.G. ピッツ、D.K. ストットラー編著、2006年、『スポーツ・マーケティングの基礎』、白桃書房、4561641580 原田宗彦編著、2018年、『スポーツマーケティング改訂版』、大修館書店、9784469268430						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		オフィスアワー:952研究室						
資 格		[ス]アシスタントマネージャー_必修						
そ の 他		スポーツのマーケットやビジネスに興味・関心があり、将来こうした進路を目指す学生の履修を望みます。 変革や改革がめまぐるしい現状に対して、よりよくするためのレポートを完成させるため、より実践的な能力やモチベーションを発揮することを期待します。						

科 目 名		生涯スポーツ(障がい者スポーツ)			授業形態		実技		単 位 数		1	
教 員 名		阿部 達彦、齊藤 雄大										
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツの取り組みは、我々の生活を支えるものであり、特に余暇活動の充実においても重要な役割を果たしている。本講義では、実際に障がいのある人たちが取り組んでいる様々な障がい者スポーツを実技体験することで、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在及び将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行う上での配慮事項について理解することをねらいとする。障がい者スポーツ団体と交流したり、ボランティア活動も行い障がい者スポーツ指導員(初級)取得のための理解を深める。										
	到達目標	(1)視覚障がい者や肢体不自由者の街中での疑似体験活動を通して、障がいのある人に対する必要な支援の方策や課題について理解する。 (2)障がい者スポーツの実技体験を通して、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて理解する。 (3)障がい者スポーツ団体のボランティア等を行いながら、障がい者スポーツへの理解と啓発を行う。 (4)障がい者スポーツ指導員(初級)への知識と理解を深める。										
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義全体の授業展開を説明します。受講学生数によっては、全体での活動やグループ別の活動も想定されることから、計画や概要について十分に理解を図る。障がい者スポーツ指導員(初級)の取得手続きの説明を行い、正確な情報の周知を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】車椅子バスケットボール② 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E						
	第2回	【テーマ】世界の障がい者スポーツの現状を映像等で理解し、日本の現状を考えます。 【計画内容】米国の障がい者スポーツの様子(車椅子ソフトボールや車椅子バスケットボール等)を映像で視聴しこれからの障がい者スポーツのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】車椅子バスケットボール③ 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E						
	第3回	【テーマ】視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施 【計画内容】車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がい者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第11回	【テーマ】障がい者スポーツ団体との交流や障がい者スポーツのレポートの作成 【計画内容】障がい者スポーツ団体の支援や交流活動、ボランティア活動を通して、障がい者スポーツへの理解を深め、レポートにまとめる。また、障がい者スポーツの中から興味関心を持ったスポーツについて図書館等で調べる。 【授業時間外の学修内容】パラリンピック種目やスペシャルオリンピックス種目等の興味関心があるものを選び予習しておく。	G						
	第4回	【テーマ】車椅子走(ショートレース) 【計画内容】大学構内で実際に車椅子走のショートレース(タイムトライアル)を行います。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第12回	【テーマ】車椅子ソフトボール① 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの基礎(キャッチボール・バッティング・ルール等)を体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E						
	第5回	【テーマ】視覚障がい者走の体験 【計画内容】2人一組になり、1人がアイマスクを着用し、実際に大学構内で視覚障がい者の中距離走タイムトライアルを行います。 【授業時間外の学修内容】視覚障がい者の特徴を理解し把握しておくこと。	E	第13回	【テーマ】車椅子ソフトボール② 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E						
	第6回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ポッチャ① 【計画内容】パラリンピック種目のポッチャのルールを知り、実際にコートづくりをしたり、レクリエーションポッチャを体験します。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、理解し把握しておくこと。	A、E	第14回	【テーマ】車椅子ソフトボール③ 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E						
	第7回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ポッチャ② 【計画内容】車椅子等を使用して実際に介助者の支援を受け、ランブ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目のポッチャを体験します。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、復習しておくこと。	E	第15回	【テーマ】障がい者スポーツやアダプテッド・スポーツ等の振り返りとまとめ、障がい者スポーツの未来について 【計画内容】これまでの講義や障がい者スポーツ実技を振り返り、アダプテッド・スポーツの考え方やまとめを行い、2020年のパラリンピック等障がい者スポーツの発展や将来について考えます。課題ワークや定着度の確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまで実施した実技内容と「障がい者スポーツ」の該当箇所を復習しておくこと。	A、L						
	第8回	【テーマ】車椅子バスケットボール① 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの基礎(車椅子操作・ボール操作・パス・シュート)を体験します。 【授業時間外の学修内容】車椅子に乗った状態でゴール型スポーツの基礎を体験します。	E									
テキスト		プリントを使用します										
参 考 書		講義時に説明します										
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他					
	配分			40%		60%						
補 足												
課題に関するフィードバックの方法												
実務経験と授業の関連		経 験 内 容										
		科目との関連										
質問への対応		初回講義時に授業内容等について具体的に説明します。										
資 格		[ス][健]障がい者スポーツ指導員_必修										
そ の 他		原則、前年度に「障がい者スポーツ論」の単位を修得している学生を対象とする。また、運動指導に関する進路を考えている学生、及び特別支援学校の教員を目指している学生、「障がい者スポーツ指導員(初級)」の資格を取得する予定の学生の受講が望ましい。										

科 目 名	専門演習Ⅲ				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	担当教員							
授 業 の 目 的	ねらい	「専門演習Ⅰ・Ⅱ」で学んだ生涯スポーツならびにスポーツ教育に関連する専門分野において個人またはグループで問題提起した課題について取り上げ、その課題解決に向けてその研究室等においてゼミナール形式によって授業を展開していきます。そして、後期の「卒業研究」へとつなげていきます。						
	到達目標	(1)専門の学問領域での課題を設定し、解決することができる。 (2)「卒業研究」へと発展させることができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第 1 回 前学期オリエンテーション 第2-14回 個別ゼミによる研究活動 第 15 回 ふりかえりおよび卒業研究に向けての準備 【授業時間外の学修内容】 (授業の振り返り)各自のレポート作成・発表資料作成 (その他)個別ゼミにおいて説明							A A、C、G、 H、J、K、 M、N A、G、L
テキスト	ゼミの時に指示をします							
参 考 書	ゼミの時に指示をします							
成績評価 の 方 法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足			レポート・発表 資料		平時		
課題に関する フィードバック の方法								
実務経験と 授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	ゼミごとで初回講義時に具体的に説明します。							
資 格								
そ の 他								

科 目 名	卒業研究				授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名	担当教員							
授 業 の 目 的	ねらい	本科目の目的は、生涯スポーツおよびスポーツ教育に関する学問分野の専門性を高めることを目的として、研究活動に取り組みます。同時に、テーマの設定、そのテーマに関する先行資料の調査、課題の洗い出し、そしてそれらの解決策の探求を通じて、実践的な課題解決能力を養います。						
	到達目標	(1)各自で取り組んだ研究を論文形式またはそれと同レベルの形にまとめる。 (2)研究結果を発表する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】							
	第 1 回 担当教員によるオリエンテーション(全教員)							A
	第 2 回 以降、展開方法は、担当教員が指示する(全教員)							A
	第 3 回 卒業研究の進め方1: テーマ、研究方法、結果処理、考察、まとめについて(全教員)							A
	第 4 回 卒業研究の進め方2: テーマ、研究方法、統計処理法(全教員)							A
	第 5 回 調査および測定の方法について(全教員)							A、B、C、H
	第 6 回 調査および測定の方法について(全教員)							A、B、C、H
	第 7 回 調査および測定の方法について(全教員)							A、B、C、H
	第 8 回 結果処理、考察について(全教員)							A、G、J
	第 9 回 結果処理、考察について(全教員)							A、G、J
	第10回 卒業研究のまとめ方(全教員)							A、G、J
	第11回 卒業研究のまとめ方(全教員)							A、G、J
	第12回 プレゼンテーションの方法(全教員)							A、F
	第13回 プレゼンテーションの方法(全教員)							A、F
	第14回 卒業研究の発表練習会(全教員)							A、F、L
	第15回 卒業研究発表会(全教員)							F
【授業時間外の学修内容】 研究に関わる講義の復習をしておくこと。								
テキスト	ゼミの時に指示をします							
参 考 書	ゼミの時に指示をします							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			30%		30%	40%	
	補 足			卒業論文提出		平時	卒業研究発表会	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	ゼミごとで初回講義時に説明します。							
資 格								
そ の 他								

科 目 名		知的障害教育Ⅱ		授業形態		講義		単 位 数		2			
教 員 名		瀧澤 聡											
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援教育では、実態把握と学習指導要領(自立活動を含む)をふまえながら、「個別的教育支援計画」「個別の指導計画」が立案され、授業が展開されている。本講義では、実態把握の方法と学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深めながら、特別支援学校(知的障がい)で指導されている授業指導案の立案、演習を行う。											
	到達目標	(1)実態把握のための心理検査の実施方法を習得する。 (2)特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解を深める。 (3)「個別の指導計画」の内容の理解を目指す。 (4)指導の形態に応じた、指導案の作成を目指す。											
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】心理検査1:S-M 社会生活能力検査 【計画内容】「S-M 社会生活能力検査」などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 ソーシャルスキルとの関連を予習すること。	A、J、L	第9回	【テーマ】「生活単元学習」2: 指導略案の作成 【計画内容】「生活単元学習」の指導略案を作成する。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」について略案を作成しておくこと。	A、J、L							
	第2回	【テーマ】心理検査2: 絵画語い発達検査 【計画内容】「絵画語い発達検査」などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「絵画語い発達検査」について予習すること。	A、J、L	第10回	【テーマ】「作業学習」1: 展開 【計画内容】「作業学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「作業学習」について予習すること。	A、L							
	第3回	【テーマ】心理検査3: 視知覚検査 【計画内容】「視知覚検査」などについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「視知覚検査」を予習すること。	A、J、L	第11回	【テーマ】「作業学習」2: 指導略案の作成 【計画内容】「作業学習」の指導略案を作成する。 【授業時間外の学修内容】「作業学習」について略案を作成しておくこと。	A、J、L							
	第4回	【テーマ】 特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の理解の深化 【計画内容】 特別支援学校学習指導要領(自立活動を含む)の内容の理解を深める。 【授業時間外の学修内容】 他の発達検査についても学習しておくこと。	A、L	第12回	【テーマ】「遊びの指導」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A、J、L							
	第5回	【テーマ】「教科教育」1: 展開 【計画内容】「教科教育」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「教科教育」について予習すること。	A、L	第13回	【テーマ】「作業学習」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A、J、L							
	第6回	【テーマ】「教科教育」2: 指導略案の作成 【計画内容】「教科教育」の指導略案を作成する。 【授業時間外の学修内容】 指導案の略案を作成しておくこと。	A、J、L	第14回	【テーマ】「生活単元学習」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A、J、L							
	第7回	【テーマ】「教科教育」の指導案の検討 【計画内容】「個別の目標」を中心に展開と教材研究のあり方について学び、学習指導案を作成して模擬授業を行う。 【授業時間外の学修内容】「指導案」を熟読しておくこと。	A、L、N	第15回	【テーマ】「個別の指導計画」の理解 【計画内容】「個別の指導計画」の案を完成する。 【授業時間外の学修内容】「個別的教育支援計画」との関連を予習すること。	A、J、L							
	第8回	【テーマ】「生活単元学習」1: 展開 【計画内容】「生活単元学習」の学習指導案に基づいた展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】「生活単元学習」について予習すること。	A、L										
テキスト	文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編(幼稚園・小学部・中学部)』、開隆堂出版、4304042297												
参 考 書	講義時に説明します												
成績評価の方法		筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他	
	配分	85%								15%			
補 足													
課題に関するフィードバックの方法													
実務経験と授業の関連			経 験 内 容										
			科目との関連										
質問への対応	講義の最初に説明する。												
資 格	[ス][教]特支1種_必修												
そ の 他													

科 目 名		肢体不自由教育Ⅱ		授業形態		講義		単 位 数		2	
教 員 名		石川 大									
授 業 の 目 的	ねらい	日本の肢体不自由教育史について理解し、肢体不自由のある幼児・児童生徒に対する教育について、指導内容・方法の基礎的・応用的な理論と先駆的な指導実践の中から理解を深める。また、特別支援学校(肢体不自由)の教育課程と特に自立活動の指導における6区分の内容と指導について学ぶ。更に、摂食指導や医療的ケアといった日常の健康維持・向上や生命の維持に不可欠な内容について理解を深める。									
	到達目標	(1)日本の肢体不自由教育史について、その歴史的発展と展望、現状と課題について学ぶ。 (2)特別支援学校(肢体不自由)における教育課程の編成・内容について理解する。 (3)肢体不自由教育における自立活動の具体的な指導内容・方法について理解を深める。 (4)肢体不自由教育における摂食指導や医療的ケアについて理解する。 (5)肢体不自由教育における感覚運動アセスメントとその実際の指導について学ぶ。									
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンスについて 【計画内容】15回の講義内容について説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A、F	第9回	【テーマ】肢体不自由に伴う疾患の理解に関して1 【計画内容】肢体不自由に伴う疾患に関してグループワークを通して理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、F、H、I、K					
	第2回	【テーマ】日本の肢体不自由教育史について 【計画内容】我が国及び北海道の肢体不自由教育史について、その歴史と展望、現状と課題について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、F	第10回	【テーマ】肢体不自由に伴う疾患の理解に関して2 【計画内容】肢体不自由に伴う疾患に関してグループワークの成果を発表し、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、F、H、I、K					
	第3回	【テーマ】肢体不自由のある児童生徒の障害認識とアセスメント 【計画内容】肢体不自由教育における児童生徒の障害について、ICFの理念に基づく障害者観を理解するとともに、各種のアセスメントに関する方法・内容について学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K	第11回	【テーマ】肢体不自由教育における教科の学習について 【計画内容】肢体不自由教育における障害特性と教科の学習について理解し、どのような指導方法・内容が必要かを学びます。特に、発達障害における学習障害(LD)との関連と指導方法・内容について理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K					
	第4回	【テーマ】肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について 【計画内容】肢体不自由特別支援学校における個別的教育支援計画の内容と作成について理解します。特に、ICF(国際生活機能分類)の活用について、その実践成果も学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K	第12回	【テーマ】摂食機能の障害と摂食指導の実践について 【計画内容】摂食機能の障害と摂食指導の実践について学びます。特に、障害の重度・重複化に伴う摂食障害について、本道の実態と取り組みについて理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K					
	第5回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導1～「健康の保持」「心理的な安定」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「健康の保持」「心理的な安定」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K	第13回	【テーマ】学校で行う医療的ケアの意義と内容について 【計画内容】学校で行う医療的ケアの意義と内容について、訪問教育における医療的ケアの事例などから、実施のための基礎的知識を学びます。また、医療機関や医療専門職員との連携・協力についても理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、F					
	第6回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導2～「人間関係の形成」「環境の把握」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「人間関係の形成」「環境の把握」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K	第14回	【テーマ】特別支援学校(肢体不自由)における医療的ケアの必要な幼児・児童生徒への対応の実践 【計画内容】医療的ケアの必要な幼児・児童生徒への対応の実践について学びます。具体的な指導事例などから指導方法・内容の応用的な理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、F					
	第7回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導3～「身体の動き」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「身体の動き」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K	第15回	【テーマ】ICFの理念に基づく特別支援教育のセンター的役割 【計画内容】ICFの理念に基づく障害者の理解を深め、肢体不自由特別支援学校のセンター的機能の役割について理解します。また、本道における地域支援ネットワークとその機能・役割、連携のあり方についても学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、F、K					
	第8回	【テーマ】肢体不自由教育における自立活動の指導4～「コミュニケーション」に関して～ 【計画内容】肢体不自由教育における自立活動の指導の中で「コミュニケーション」に関して深く学びます。 【授業時間外の学修内容】講義内容について予習しておくこと。	A、B、F、K								
テキスト		プリントを使用します									
参 考 書		安藤隆男・藤田継道、2015年、『よくわかる肢体不自由教育』、ミネルヴァ書房、4623072507 全国肢体不自由養護学校長会、2005年、『新たな肢体不自由教育実践講座』、ジアース教育新社、4921124474 飯野順子、2017年、『肢体不自由教育における子ども主体の子どもが輝く授業づくり』、ジアース教育新社、4863714410									
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他				
	配分	30%		50%		20%					
	補足										
課題に関するフィードバックの方法	課題について学んだ内容を発表し、理解を深める。 指導案の作成を通して障害の配慮、工夫点を理解する。 課題やテーマに応じたグループワーク及び成果報告を行う。										
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	特別支援学校教諭・教頭・校長								
		科目との関連	特別支援学校教諭・教頭・校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。								
質問への対応	講義時や研究室で随時対応します。										
資 格	[ス][教]特支1種_必修										
そ の 他	初回の講義で説明します。										

科 目 名		特別支援教育実習事後指導			授業形態	講義	単 位 数	1	
教 員 名		阿部 達彦、瀧澤 聡							
授 業 の 目 的	ね ら い	特別支援学校における教育実習を終えて、実習報告会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。 教師としての資質向上に向けて、教育実習の自己評価をするとともに、より意欲的に取り組む態度を身につける。							
	到達目標	(1)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。 (2)特別支援学校での教育実習を振り返り、自己評価することができる。 (3)特別支援学校の教師としての資質や能力を身につけることができる。							
授 業 の 計 画	【計画内容】 1 オリエンテーション (1) 特別支援学校で行った教育実習の成果や課題を整理する。 (2) 教育実習で学んだことについてのまとめや自己評価を行う。 2 教育実習報告会の実施 (1) 教育実習報告会を開催する。 (2) 教育実習報告会へ参加する。 (3) 報告会に参加し、感想等のレポートを提出する。 (4) 報告会での報告内容を聞き、自分の実習内容と比較しながら自己評価する。 3 教育実習終了後のまとめ (1) 教育実習で学んだことについてグループに分けて振り返りを行う。 (2) 振り返りの内容に関してグループごとに発表し合う。 (3) 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題を整理する。 (4) 実習校へお礼状を送付する。 【授業時間外の学修内容】 教育実習を終えての具体的な自己課題を持ち、実習や授業で習得したいことを整理・確認をしておく。							A	
								D	
									H
テキスト		プリントを配付します							
参 考 書		文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚園部教育要領小学部・中学部学習指導要領』、海文堂 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編』、開隆堂 文部科学省、2009年、『特別支援学校高等部学習指導要領』、海文堂							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			50%		30%	20%		
	補 足			レポート、グループワーク		実習への意欲	実習校の評価		
課題に関するフィードバックの方法	特別支援学校で行った教育実習の成果や課題について整理する。 研究授業の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題について整理する。 今後、教職に進むにあたり課題を解決するための見通しを持てるようにする。								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	特別支援学校教諭、教頭、校長						
		科目との関連	阿部達彦 / 特別支援学校教諭、教頭、校長としての業務経験をもとに、実務に則した指導を行う。						
質問への対応		オリエンテーション等で具体的に説明します。							
資 格		[ス]特支1種_必修							
そ の 他		特別支援学校で行った教育実習の報告会に必ず参加し、教育実習の成果や課題について整理する。 研究授業等の反省会で明確になった指導方法、指導技術等の課題について整理する。 今後、教職に進むにあたり課題を解決するための見通しを持てるようにする。							

科 目 名		特別支援教育実習		授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		阿部 達彦、瀧澤 聡					
授 業 の 目 的	ねらい	特別支援学校において、学校経営の方法、学校評価の方法、保護者との連携、児童生徒の安全、地域における特別支援教育のセンター的機能の実際等を理解する。 次に、各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の観察を行い、その後に学習指導案を作成し、実際の授業を行う。また、学級経営の基礎や生徒指導についても理解を深める。 実習終了後、反省会を開催し、教職に対する意欲を喚起する。					
	到達目標	(1)実習校の教育活動を理解することができる。 (2)生徒理解を通じた学級活動の指導ができる。 (3)教科指導等の授業を指導することができる。 (4)実習前に実習先についての学びを深めるとともに、実習の心得を養う。 (5)実習後の実習報告会に参加し、報告レポートを作成する。					
授 業 の 計 画	【計画内容】 法令や実習学校により定められた期間中は、実習校の教職員に準じた勤務をし、次のような内容の理解と実際の指導を行う。 1 実習校の教育活動の理解 (1)実習校の教育目標、教育計画など教育課程について (2)実習校の組織・運営及び教員の勤務内容について (3)各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な学習の時間の指導内容・方法について (4)学級経営及び生徒指導・進路指導・教育相談について 2 観察、参加、授業実習等の実践 (1)教科指導、特別活動、道徳、総合的な学習の時間の観察、参加、授業実習 (2)生徒理解を通じた学級活動の実習 3 教職の理解 (1)教職への自己の適性判断 (2)教職の使命感・責任感の醸成 4 実習後のまとめ (1)実習後の実習校へお礼状を送る (2)実習報告レポートを作成する (3)実習報告会へ参加する 【授業時間外の学修内容】 『教育実習の手引き』を熟読すること。						A
							D
							D
							B
テキスト		プリントを配付します					
参 考 書		文部科学省、2018年、『特別支援学校幼稚園部教育要領 小学部・中学部学習指導要領』、海文堂 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 総則編』、開隆堂 文部科学省、2018年、『特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編』、開隆堂					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			10%		20%	70%
	補 足			実習日誌		実習への意欲	実習校における評価
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	阿部達彦 / 特別支援学校教諭、教頭、校長				
		科目との関連	阿部達彦 / 特別支援学校教諭、教頭、校長としての業務経験をもとに実務に即した指導を行う。				
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。					
資 格		[ス]特支1種_必修					
そ の 他		前年度までに定められている科目を修得している必要があること。教職センター主催の教育実習の事前オリエンテーションには、必ず出席するとともに、教育実習校の事前打ち合わせにも必ず出席すること。また、『教育実習の手引き』の「実習生の心得」と「注意事項」は、厳守すること。					

科 目 名		スポーツ教育学			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		竹田 唯史						
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツ指導者の役割や心構えを理解し、各種のスポーツを指導するための具体的な指導方法論を学習します。スポーツを指導する際の留意点や、運動観察・評価の方法を理解し、スポーツ指導計画の立案、評価や安全管理の方法について学びます。						
	到達目標	(1)スポーツの技術指導の流れと留意点を理解できる。 (2)運動の質的分析の観点を理解できる。 (3)スポーツの指導方法を作成するための理論を理解し、指導計画を立案できる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の目標と各講義の内容について理解する。スポーツ指導の意義について理解する。これまでに指導を受けた指導者の指導について振り返る。 【授業時間外の学修内容】シラバスを精読してくる。	A	第9回	【テーマ】運動の習熟過程と指導過程① 【計画内容】運動の習熟過程である粗形態、精形態、安定段階の3段階を理解し、それぞれの段階における指導の留意点を理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A		
	第2回	【テーマ】スポーツ指導の目的 【計画内容】対象者の年齢、性別、体力、目的に対応した指導を行うということを理解し、指導者の役割は実施者のための支援にあることを理解する。 【授業時間外の学修内容】これまで自分が受けたスポーツ指導についてふり返りを行ってくる。	A、H	第10回	【テーマ】運動の習熟過程と指導過程② 【計画内容】技術・戦術論：スポーツ運動における技術・戦術の概念を理解する。技術と戦術の関係、合理的な主要構成要素、個人的な様式について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A、H		
	第3回	【テーマ】指導者の役割① 【計画内容】指導者の必要性と役割、指導者に求められる能力や知識について学ぶ。スポーツ医学に関する知識の必要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】スポーツ指導者の役割について考えてくる。	A、H	第11回	【テーマ】指導計画の立て方① 【計画内容】対象者に応じた指導計画の立案・実施・評価方法を理解する。集団への指導、個人への指導の特長を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A、H		
	第4回	【テーマ】指導者の役割② 【計画内容】指導者の心構えについて学ぶ。コミュニケーション能力や医学スタッフとの連携の重要性について理解する。 【授業時間外の学修内容】スポーツ指導者に必要な知識、能力は何かを考えてくる。	A、H	第12回	【テーマ】指導計画の立て方② 【計画内容】年齢・発達段階といった各期における指導計画方法を理解する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A、H		
	第5回	【テーマ】指導者の役割③ 【計画内容】競技者育成プログラムの理念、ジュニア期からの一貫指導の重要性や指導者間の連携、ネットワークの重要性を理解する。 【授業時間外の学修内容】ジュニア期からの効果的な指導や課題は何かを考えてくる。	A、H	第13回	【テーマ】スポーツ活動と安全管理 【計画内容】スポーツ活動における安全管理について学習する。個人的要因、環境的要因、競技特性による違いを理解する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A、H		
	第6回	【テーマ】運動観察・分析の方法① 【計画内容】スポーツ運動学に基づく、運動分析・観察の方法と視点を学習する。運動構造(局面構造、運動リズム)について理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A、H	第14回	【テーマ】指導計画の作成の実際① 【計画内容】各自で指導計画を作成し、指導プログラムを作成する。取り上げるスポーツの歴史的発展、技術構造、指導目標、内容などについて論述する。 【授業時間外の学修内容】前回のプリント内容を精読してくる。	A、H		
	第7回	【テーマ】運動観察・分析の方法② 【計画内容】運動における緊張と解緊を表す運動リズムについて理解する。スポーツにおけるリラックスの意義を理解し、循環運動、非循環運動における力の変動について理解する。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A、H	第15回	【テーマ】指導計画の作成の実際② 【計画内容】各自で指導計画を作成し、指導プログラムを作成する。取り上げるスポーツの歴史的発展、技術構造、指導目標、内容などについて発表する。 【授業時間外の学修内容】各自の興味のあるスポーツについて調べてくる。	A、F、G		
	第8回	【テーマ】運動観察・分析の方法③ 【計画内容】運動の流動、伝導、正確性、先取り、調和といったカテゴリーの内容についての認識を深める。 【授業時間外の学修内容】参考図書を精読してくる。	A、H、G					
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	クルト・マイネル著、金子明友訳、1981年、『マイネルスポーツ運動学』、大修館書店、9784469260663 高村泰雄、1987年、『物理教授法の研究』、北海道大学図書刊行会、9784832953017							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	40%		60%				
	補 足			レポート				
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	E-Mail :take@hokusho-u.ac.jp 研究室：7号棟5F							
資 格								
そ の 他								

科 目 名		スポーツ教育演習 B			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		森 靖明						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、学校体育の各種運動領域におけるルールや技術等の基礎的知識及び指導方法論について理論的に学び、学習成果を指導実践に活かすことができることをねらいとする。また、体育理論及び保健分野に関する知識についても理解を深める学習を行う。本講義を通じて、保健体育科教諭として必要な資質・能力を養う。						
	到達目標	(1)保健体育科教諭に求められる資質・能力について理解している。 (2)各運動領域における基礎的知識を習得している。 (3)各運動領域の指導方法論について理解している。 (4)体育理論及び保健に関する知識を習得している。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】講義のガイダンス 【計画内容】講義のねらいと到達目標、全15回の講義展開及び受講のルール等について説明。スポーツ教育の意義を学びます。 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容を熟読しておくこと。	A	第9回	【テーマ】G ダンス 冬季スポーツ 【計画内容】ダンス及び冬季スポーツ(スキー、スケート)に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」G ダンス、「ステップアップ中学体育」「スキー及びスケート」を熟読しておくこと。	A、B、H		
	第2回	【テーマ】A 体づくり運動 【計画内容】体ほぐし運動と体の動きを高める運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」A 体づくり運動を熟読しておくこと。	A、B、H	第10回	【テーマ】H 体育理論 【計画内容】体育理論に関する基礎的知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」H 体育理論を熟読しておくこと。	A、B、H		
	第3回	【テーマ】B 器械運動 【計画内容】マット運動・鉄棒運動・跳び箱運動・平均台運動の基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」B 器械運動を熟読しておくこと。	A、B、H	第11回	【テーマ】保健 【計画内容】中学校「保健分野」、高等学校科目「保健」に関する基礎知識を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」中学校「保健分野」、高等学校科目「保健」を熟読しておくこと。	A、B、H		
	第4回	【テーマ】C 陸上競技 【計画内容】陸上競技の各種目に関する基礎的知識及び指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」C 陸上競技を熟読しておくこと。	A、B、H	第12回	【テーマ】体育実技①(球技・マット運動) 【計画内容】バレーボール・バスケットボールの基礎的技術、マット運動の連続技に関する実技学習を行います。 【授業時間外の学修内容】「ステップアップ中学体育」「バレーボール」「バスケットボール」「マット運動」を熟読しておくこと。	E		
	第5回	【テーマ】D 水泳 【計画内容】各泳法に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」D 水泳を熟読しておくこと。	A、B、H	第13回	【テーマ】体育実技②(球技・マット運動) 【計画内容】バレーボール・バスケットボールの基礎的技術、マット運動の連続技に関する実技学習を行います。 【授業時間外の学修内容】「ステップアップ中学体育」「バレーボール」「バスケットボール」「マット運動」を熟読しておくこと。	E		
	第6回	【テーマ】E 球技「ネット型」 【計画内容】ネット型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」E 球技「ネット型」を熟読しておくこと。	A、B、H	第14回	【テーマ】体育実技③(水泳) 【計画内容】各泳法の技術に関する実技学習を行います。 【授業時間外の学修内容】「ステップアップ中学体育」「水泳」を熟読しておくこと。	E		
	第7回	【テーマ】E 球技「ゴール型」 【計画内容】ゴール型球技に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」E 球技「ゴール型」を熟読しておくこと。	A、B、H	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまで学んできた体育分野及び保健分野に関する基礎的知識について振り返り、理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】これまでの講義内容を復習すること。	A、B、H		
	第8回	【テーマ】E 球技「ベースボール型」F 武道 【計画内容】ベースボール型球技及び武道(柔道、剣道)に関する基礎的知識及び実技指導方法を学びます。 【授業時間外の学修内容】「学習指導要領解説」E 球技「ベースボール型」、F 武道を熟読しておくこと。	A、B、H					
テキスト		プリント等を使用します。						
参 考 書		文部科学省、2017年、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房、9784827815580 文部科学省、2018年、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房、9784827815672 高橋健夫、品田龍吉、2019年、『ステップアップ中学体育』、大修館書店、9784469365221						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分		30%			30%	40%	
	補 足		教員採用試験2次試験と同様			学習に主体的に取り組む姿勢	グループワーク等	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。						
資 格								
そ の 他		保健体育科教員を志望する学生は必ず受講すること。						

科 目 名		学校教育研究Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		渡部 峻						
授 業 の 目 的	ねらい	本授業は、学校体育における諸問題や指導方法についての認識を深め、学校教育現場において、児童・生徒に健康やスポーツに関する基礎的・基本的な知識・技術を習得させ、「生きる力」を育成することのできる保健体育教員に必要とされる知識と資質を習得すること。						
	到達目標	(1)学校体育における諸問題についての認識を深めることができる。 (2)「体育」についての基礎的・基本的な知識・技術を再構築し、指導の在り方について認識を深めることができる。 (3)「保健」についての基礎的・基本的な知識・技術を再構築し、指導の在り方について認識を深めることができる。 (4)「保健体育」における「生きる力」をはぐくむ指導の在り方について、認識を深めることができる。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンスと学習指導要領「保健体育」の目的 【計画内容】授業のねらいと到達目標を含め、15回の授業展開及び受講の心得を説明。学習指導要領「保健体育」の改訂の主旨、学校体育の諸問題について 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容と中学校と高等学校の『学習指導要領解説保健体育編』の改訂の主旨を熟読してくる	A	第9回	【テーマ】球技「ベースボール型」の指導方法 【計画内容】野球、ソフトボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「球技（ベースボール型）」を熟読してくる。	B		
	第2回	【テーマ】体づくり運動の指導方法 【計画内容】体ほぐし運動、体力を高める運動の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「体づくり運動」を熟読してくる。	B、E、L	第10回	【テーマ】武道の指導方法 【計画内容】柔道、剣道、相撲の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「武道」を熟読してくる。	B		
	第3回	【テーマ】体育理論の指導方法 【計画内容】体育理論の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「体育理論」を熟読してくる。	B、L	第11回	【テーマ】ダンスの指導方法 【計画内容】創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「ダンス」を熟読してくる。	B		
	第4回	【テーマ】器械運動の指導方法 【計画内容】マット、鉄棒、跳び箱、平均台の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「器械運動」を熟読してくる。	B、E、L	第12回	【テーマ】冬季スポーツの指導方法 【計画内容】スキー、スケートの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「冬季スポーツ」を熟読してくる。	B、L		
	第5回	【テーマ】陸上競技の指導方法 【計画内容】短距離走、長距離走、投てき種目、跳躍種目、リレー種目の実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「陸上競技」を熟読してくる。	B	第13回	【テーマ】「保健」の指導方法(1) 【計画内容】中学校「保健」の健康・安全指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「保健」を熟読してくる。	B、L		
	第6回	【テーマ】水泳の指導方法 【計画内容】クロール、平泳ぎ、バタフライ、背泳ぎの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「水泳」を熟読してくる。	B	第14回	【テーマ】「保健」の指導方法(2) 【計画内容】高等学校「保健」の健康・安全指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「保健」を熟読してくる。	B、L		
	第7回	【テーマ】球技「ネット型」の指導方法 【計画内容】バレーボール、バドミントン、卓球、テニスの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「水泳」を熟読してくる。	B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの授業のまとめと振り返り 【授業時間外の学修内容】学校体育の諸問題と指導方法について、復習してくる。	B、L		
	第8回	【テーマ】球技「ゴール型」の指導方法 【計画内容】バスケットボール、サッカー、ハンドボールの実技指導における諸問題とそれに対応した指導方法について 【授業時間外の学修内容】中学校・高等学校『学習指導要領解説保健体育編』の「球技（ゴール型）」を熟読してくる。	B					
テキスト		各回ごとにプリントを配付する。						
参 考 書		文部科学省、『中学校学習指導要領解説 保健体育編』、文科省（東山書房） 文部科学省、『高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、文科省（東山書房）						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			60%		40%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容	中学校教諭専修免許状「保健体育」・高等学校教諭専修免許状「保健体育」保有					
		科目との関連	専修免許と1次採用試験合格経験を活かし、採用試験突破のための学習方法を教授する。					
質問への対応		初回の講義で具体的に説明します。E-Mail:watashun@hokusho-u.ac.jp						
資 格								
そ の 他		保健体育教員を志望する学生は必ず受講すること。学科の対策講座など他の保健体育科関連の講義と組み合わせて受講するとさらに効果的です。						

科 目 名		健康産業施設実習			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行、高田 真吾						
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動や身体活動の増強を提供・支援する現場でのさまざまなケース(性、年齢、身体状況、嗜好など)に対応できる実践応力を身につけることを目的とする。健康産業施設での実習により、健康産業に携わる専門職の役割について実践を通して理解し、さまざまなケースを体験するなかで、前向きに対応する力、応用する力、考える力を養う。						
	到達目標	(1)運動指導者としてふさわしい接遇能力を身につける。 (2)施設の安全管理、利用者の管理、各種トレーニング機器の使用方法を身につける。 (3)体力測定、集団プログラム、個別プログラムの実践力を身につける。						
授 業 の 計 画		【計画内容】 (1)ガイダンス、運動指導者のために必要な行動目標の確認 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。(上田知行・高田真吾) (2)実習計画の作成 具体的な実習計画を作成する。(上田知行・高田真吾) (3)～(5)接遇実習 顧客満足度を得られる接遇についての実習と、接遇に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。 (上田知行・高田真吾) (6)～(9)施設管理業務に関わる実習 施設の安全管理・リスクマネジメント、顧客管理に関する実習と、施設管理業務に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・高田真吾) (10)～(14)健康運動実習 実際の運動指導、体力測定、個別プログラムの作成と指導に関する実習と、健康運動の指導に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・高田真吾) (15)実習見極め・フィードバック 実習日誌と実習報告書を作成し、これまでの実習を総括した実習報告会を行う。(上田知行・高田真吾)						A
		【授業時間外の学修内容】 テキストの該当部分に関わる項目を熟読しておくこと。 【授業時間外の学修内容】 実習日誌を作成すること						B D D D F、H、L
テキスト		『健康運動指導士養成講習会テキスト』、健康・体力づくり事業財団						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50%		50%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義時に説明します						
資 格		[ス]健康運動指導士_必修						
そ の 他		健康運動指導士受験資格を得るためのすべての科目を履修していること。						

科 目 名		アスレティックトレーニング指導実習			授業形態	実習	単 位 数	4
教 員 名		吉田 真、吉田 昌弘						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目はアスレティックトレーナー専門科目カリキュラムにおける現場実習に相当することから、機能評価に基づくアスレティックリハビリテーションおよびコンディショニングの目標設定とプログラムの立案を実践する。担当したケースにおける、医学的情報の収集、機能評価と問題点の抽出、プログラム立案までの一連の流れについてプレゼンテーションを行いカンファレンス形式で展開する。加えて、配属先のチームにおけるアスレティックトレーナーとしての役割を把握し、医科学スタッフとの連携・協力、アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理について経験を積むことを目的とする。						
	到達目標	(1)機能評価に基づくアスレティックリハビリテーションおよびコンディショニングの目標設定とプログラムの立案ができる。 (2)配属先チームにおいてアスレティックトレーナーとしての役割を把握できる。 (3)医科学スタッフとの連携・協力の意義を理解し実践できる。 (4)アスレティックトレーナーチームとしての組織の運営と管理を経験する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1. オリエンテーション(吉田真・吉田昌弘) (1)アスレティックトレーニング指導実習の展開方法について説明します (2)実習参加における心構えおよび事前準備などについて指導します 2. 事前活動(吉田真・吉田昌弘) (1)情報収集活動計画の立案 (2)配属先競技種目・団体の情報収集(選手・スタッフ構成、練習・試合計画、練習環境など) (3)スポーツ外傷・障害に関する医学的情報の収集 (4)競技者のコンディショニングに関する情報収集 (5)現場活動計画の立案 3. 評価測定活動(吉田真・吉田昌弘) (1)検査測定と評価の実践 (2)問題点の抽出と統合解釈 4. プログラム立案(吉田真・吉田昌弘) (1)アスレティックリハビリテーションのプログラム立案 (2)コンディショニングのプログラム立案 5. プログラム実践活動(吉田真・吉田昌弘) (1)プログラムの実施 (2)検査測定と評価(プログラム実施の効果検証) (3)救急処置 (4)テーピング 6. 発表会(吉田真・吉田昌弘) (1)ケースカンファレンス (2)測定評価のフィードバック 【授業時間外の学修内容】 アスレティックトレーナー関連科目の内容を復習すること。							A、B
								M
								H
								H
								M
								F
テキスト	広瀬統一・泉 重樹・上松大輔・笠原政志、2019年、『アスレティックトレーニング学』、文光堂、9784830651915 Tudor O. Bompa(原著)、尾縣貢、青山清英(訳)、2006年、『競技力向上のトレーニング戦略』、大修館書店、9784469266153 陶山哲夫監修、赤坂清和編、2018年、『スポーツ理学療法学 動作に基づく外傷・障害の理解と評価・治療の進め方 改訂第2版』、メジカルビュー社、9784758319331							
参 考 書	『AT 専門科目テキスト1～9巻』							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足		20%	20%		50%	10%	
課題に関するフィードバックの方法	プレゼンテーションおよび口頭試問による質疑応答やコメント等を通して行います。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	随時対応します。							
資 格	[ス]アスレティックトレーナー_必修							
そ の 他								

科 目 名		アスリートを取り巻く環境			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名		永谷 稔						
授 業 の 目 的	ねらい	本講義では、現在アスリートを取り巻く環境として、トップアスリートからプロや実業団、大学や高校中学、それぞれにおける現状や課題・問題点を理解する。アスリートや指導者として、どのような環境が望ましいことなのか、また限られた環境のなかでいかに成果をあげていくのか、理解を深めたい。さらに、今後の自らの競技環境の変化や指導者として後進の育成につなげられることを期待したい。						
	到達目標	(1)トップアスリートからプロや実業団などを取り巻く環境の現状を理解する。 (2)トップアスリートからプロや実業団などを取り巻く環境の問題や課題を理解する。 (3)アスリートや指導者として取り巻く環境のなかでの実行力を身につける。						
授 業 の 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の内容についてガイダンスする。 【授業時間外の学修内容】アスリートを取り巻く環境について考えを深めておくこと。	A	第9回	【テーマ】新たな取り組みや先進事例 【計画内容】日本をはじめ世界における、アスリートを取り巻く環境の新たな取り組みや先進事例について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】自らの競技に関する環境について理解しておく。	A、H、J、K		
	第2回	【テーマ】トップアスリートを取り巻く環境 【計画内容】オリンピック出場や全日本トップレベルのアスリートを取り巻く環境について、競技種目ごとに整理する。 【授業時間外の学修内容】自らの競技に関する環境について理解しておく。	A	第10回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望① 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F、J、K		
	第3回	【テーマ】プロスポーツを取り巻く環境 【計画内容】プロ野球、Jリーグに代表されるプロスポーツアスリートを取り巻く環境について、所属リーグ・団体・組織状況について理解する。 【授業時間外の学修内容】自らの競技に関する環境について理解しておく。	A、H、J、K	第11回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望② 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F、J、K		
	第4回	【テーマ】実業団スポーツを取り巻く環境 【計画内容】実業団スポーツを取り巻く環境について、所属企業・組織状況について理解する。 【授業時間外の学修内容】自らの競技に関する環境について理解しておく。	A、H、J、K	第12回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望③ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F、J、K		
	第5回	【テーマ】大学・高校・中学におけるスポーツを取り巻く環境 【計画内容】大学・高校・中学におけるスポーツを取り巻く環境について、公立と私立、強豪校と一般校などの事例から理解する。 【授業時間外の学修内容】自らの競技に関する環境について理解しておく。	A、H、J、K	第13回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望④ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F、J、K		
	第6回	【テーマ】日本のスポーツ環境の変遷 【計画内容】これまでの日本のスポーツ環境の変遷について、主に明治期以降、戦前と戦後から理解を深める。 【授業時間外の学修内容】問題・課題について意見をもつ。	A、H、J、K	第14回	【テーマ】競技や種目ごとのこれからの展望⑤ 【計画内容】競技や種目ごとによる現状の分析と、それに対する考えや方策についてプレゼンテーションおよびディスカッション。 【授業時間外の学修内容】プレゼンテーションの準備とディスカッションのためのこれまでの学習の復習。	F、J、K		
	第7回	【テーマ】世界のスポーツ環境の変遷 【計画内容】世界のスポーツ環境の変遷について、主にアメリカ、イギリス、ドイツ、中国の事例から理解を深める。 【授業時間外の学修内容】問題・課題について意見をもつ。	A、H、J、K	第15回	【テーマ】これまでのふりかえり 【計画内容】これまでの学習内容のふりかえりを行う。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習内容の復習をしておく。	A、G、K		
	第8回	【テーマ】トップアスリートとキャリア 【計画内容】トップアスリートとキャリアについて、これまでの状況と現在そして今後の展開事例について理解を深める。 【授業時間外の学修内容】問題・課題について意見をもつ。	A、H、J、K					
テキスト	講義時に説明します							
参 考 書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			60%		40%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	経 験 内 容							
	科目との関連							
質問への対応	オフィスアワー：952研究室まで							
資 格								
そ の 他	アスリート・競技者・指導者として、どのような環境におかれているか再認識し、これまでの競技生活の振り返りと、卒業後、アスリートの取り巻く環境をよい方向へ持って行けるような、ポジティブな考え方を求めます。							

科 目 名				競技スポーツコーチング演習Ⅱ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				畠中 智志、井上 和佳奈、大宮 真一、菊地 はるひ、竹内 雅明、永谷 稔、畠山 孝子、廣田 修平、横山 茜理、渡部 峻					
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツのコーチングは、個々の力を最大限に伸ばすところが目標となる。そのための正しい理論を理解し、専門的な理解を深め、質の高い指導者になるための指導方法を身につけることを目標とする。							
	到達目標	(1)技術指導を行うための基礎理論を理解し、専門知識を身に付ける。 (2)コーチングに必要な観察力、伝達力を身に付ける。 (3)段階的な指導方法を身に付ける。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】競技スポーツの指導とは 【計画内容】競技スポーツの指導の基礎理論を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】シラバスを熟読しておく。	B、K	第9回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(5) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、G、K、N			
	第2回	【テーマ】競技スポーツ指導の実践(1) 【計画内容】技術指導の観察と視点について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、K	第10回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(6) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N			
	第3回	【テーマ】競技スポーツ指導の実践(2) 【計画内容】運動の修正とフィードバックについて学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、K	第11回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(7) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N			
	第4回	【テーマ】競技スポーツ指導の実践(3) 【計画内容】師範と表現方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K	第12回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(8) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N			
	第5回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(1) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K	第13回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(9) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N			
	第6回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(2) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N	第14回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(10) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N			
	第7回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(3) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】競技スポーツのコーチングのまとめと指導実践の確認を行う。 【授業時間外の学修内容】前回までの授業内容を十分に復習し、指導内容について確認をしておくこと。	B、F、G、L			
	第8回	【テーマ】個人競技・集団競技の指導の実践(4) 【計画内容】個人種目もしくは集団種目を選択し、種目特性を理解するとともに指導方法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】前回の授業内容に係る理解の確認をするので復習をしておくこと。	B、H、K、N						
テキスト		初回講義時に説明します							
参 考 書		プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足			60%		40%			
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に説明します。							
資 格									
そ の 他		本学において、野球・陸上競技・エアロビクス・バドミントン・バレーボール・ソフトテニス・体操競技・バスケットボールを専門種目として日々意欲的に取り組んでいる学生を対象とする。							

教職に関する科目

科 目 名	教育実習事後指導				授業形態	講義	単 位 数	1
教 員 名	森 靖明、阿部 達彦、瀧澤 聡、西村 貴之							
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習で得られた成果や反省点を確認し、今後の教職生活を送る上での課題を明確にすることで、教師としての資質や能力を向上させることや、より意欲的に研修に取り組む態度を身に付けます。						
	到達目標	(1)教育実習における教科指導や生徒指導等の重要性を理解している。 (2)教師としての在り方や使命感・責任感が身に付いている。 (3)教師として研修の意義を理解している。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1. オリエンテーション(全教員) 教育実習を終え、その体験内容を今後の教職にどう活かすかについて学びます。 2. グループワーク(全教員) (1)教育実習の成果や反省点についてグループ毎に討議します。 (2)討議内容に基づき、教育実習で学んだことをレポートにまとめます。 3. 教育実習報告会(全教員) グループワークによるまとめのプレゼンテーションを行い、教育実習で学んだ成果を共有するとともに、今後の教師としての資質や能力を向上させるための課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】 教育実習を振り返り、その成果と反省点を踏まえて自己の課題を明確にしておくこと。							A
								G、H
								G、H
テキスト	北翔大学・北翔大学短期大学部『教育実習の手引き』							
参 考 書	文部科学省、2017年・2018年、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房、9784827815580,9784827815672 文部科学省、2017・2018年、『中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房、9784827815764,9784827815689							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			60%		40%		
	補 足			レポート等		学習に主体的に取り組む姿勢		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回の講義時に説明します。							
資 格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修							
そ の 他	教育実習の単位を取得する学生が対象となります。実習を辞退した場合、履修登録をしても履修できません。							

科 目 名		教育実習Ⅰ			授業形態	実習	単 位 数	4
教 員 名		西村 貴之、森 靖明						
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習校において、その学校の教職員の指導のもとに教育指導の実習を行い、学校運営、教職員の職務内容、教科や特別活動等の指導技術、生徒理解・生徒指導および保護者や地域との連携のあり方等々を具体的に学びます。 教師としての使命感・責任感を養い、かつ実践的指導力の基礎・基本の習得を図り、現在の学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指すために自己の資質能力を高めることを学びます。						
	到達目標	(1)教師としての使命感・責任感を養い、実践的な指導力を身に付ける。 (2)教職の基礎・基本の習得を図り、教師の課題を把握し資質能力の向上を図る。						
授 業 の 計 画		【計画内容】 1. オリエンテーション：教育実習の心得と準備について学びます。 2. 事前準備：学校の目標、教員の職務内容、学級（ホームルーム）、生徒指導について学びます。 [事前指導]では (1)教育実習の意義・・・教育実習で学んでほしいこと。 (2)授業づくり・・・教科授業の設計と授業の展開と評価について。 (3)教育実習の実際・・・実習校の指導教諭の立場から考える。 3. 教育実習を終えて事例検討を行い今後のあり方について学びます。 [事後指導]では (1)教育実習で学んだことについて実習生から報告を受け幅広い検討を行います。 (2)教育実習後にレポート作成し、その提出を行います。 【授業時間外の学修内容】 教職関連教科・科目の復習、『教育実習の手引き』により事前準備の確認をしておくこと。 これまでの教科ならびに教職に関する科目で学んできた内容を復習しておくこと。					A	
							A、D <	

科 目 名		教育実習Ⅱ				授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		西村 貴之、森 靖明							
授 業 の 目 的	ねらい	教育実習校において、その学校の教職員の指導のもとに教育指導の実習を行い、学校運営、教職員の職務内容、教科や特別活動等の指導技術、生徒理解・生徒指導および保護者や地域との連携のあり方等々を具体的に学びます。 教師としての使命感・責任感を養い、かつ実践的指導力の基礎・基本の習得を図り、現在の学校・教師の問題・課題を見つめ、教師を目指すために自己の資質能力を高めることを学びます。							
	到達目標	(1)教師としての使命感・責任感を養い、実践的な指導力を身に付ける。 (2)教職の基礎・基本の習得を図り、教師の課題を把握し資質能力の向上を図る。							
授 業 の 計 画		【計画内容】 1. オリエンテーション：教育実習の心得と準備について学びます。 2. 事前準備：学校の目標、教員の職務内容、学級（ホームルーム）、生徒指導について学びます。 【事前指導】 (1)教育実習の意義・・・教育実習で学んでほしいこと。 (2)授業づくり・・・教科授業の設計と授業の展開と評価について。 (3)教育実習の実際・・・実習校の指導教諭の立場から考える。 3. 教育実習を終えて事例検討を行い今後のあり方について学びます。 【事後指導】 (1)教育実習で学んだことについて実習生から報告を受け幅広い検討を行います。 (2)教育実習後にレポート作成し、その提出を行います。 【授業時間外の学修内容】 教職関連教科・科目の復習、『教育実習の手引き』により事前準備の確認をしておくこと。 これまでの教科ならびに教職に関する科目で学んできた内容を復習しておくこと。							D
									D
テキスト		北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』							
参 考 書		文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分					30%	70%		
	補足					オリエンテーション等	実習校における評価		
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		オリエンテーション等で具体的に説明します。							
資 格		[ス]高1種(保健体育)_選必							
そ の 他		教職課程を履修し、教育実習前に定められた科目を修得した学生が受講対象となります。 ※法令や実習校の定めた期間中は実習校の教職員に準じた勤務内容で実施します。							

科目名	教職実践演習(中・高)				授業形態	講義・演習	単位数	2
教員名	西村 貴之、阿部 達彦、瀧澤 聡、森 靖明							
授業の目的	ねらい	4年間の教職課程の振り返りと課題の発見を通して、中学校ならびに高等学校の保健体育教諭・特別支援教諭として身につけておかねばならない資質や能力の確認とともにさらなる知識や教育技術の補充を図ることを目指します。						
	到達目標	(1)使命感や責任感、教育的愛情等が身についている。 (2)社会性や対人関係能力が身についている。 (3)生徒理解や学級経営等が理解できている。 (4)教科内容の指導力が身についている。						
授業の計画	【計画内容】 第1回 【テーマ】 授業のガイダンス 【計画内容】 15回の授業展開を説明します。教員となるための自己課題の設定。(全教員) 【準備内容】 履修カルテの作成を通して自己の課題を明確にする。							A
	第2回～第9回 【テーマ】 分野別演習 【計画内容】 4つの分野の演習を少人数グループローテーションで行います。 「保健体育科教育指導分野」(森靖明) 「特別支援教育分野」(瀧澤聡) 「学校経営分野」(阿部達彦) 「教育学分野」(西村貴之) 【準備内容】 分野別演習で求められる予習を行って演習に参加すること。							B、F、H、N
	第10回～第12回 【テーマ】 学校教育の営みを理解する 【計画内容】 学校を訪れ、教育実習の経験を経て培った視点をもとに授業等の観察を通して、現場の教員の教育的営為を理解します。(森靖明) 【準備内容】 大学における教職課程の学びを復習しておく。							D
	第13回～第14回 【テーマ】 現代的教育課題を理解し、その解決方法について考える 【計画内容】 SSW や SC 等の専門職をゲストスピーカーに迎えて学生たちと現代的教育課題について議論をするかたちで進めます。(西村貴之) 【準備内容】 現代的教育課題に関する資料を入手し調べておく。							D
	第15回 【テーマ】 振り返り 【計画内容】 4年間の教職課程で学んだことの振り返りを行います。そのうえで、今後の教員生活を送るうえでの自己の課題や目標を定めます。(全教員) 【準備内容】 これまでの履修内容について復習しておく。 【授業時間外の学修内容】 シラバスの内容を熟読しておくこと。履修カルテから自己の課題を明確にする。							A、L
テキスト	文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『中学校・高等学校学習指導要領解説 保健体育編』、東山書房 北翔大学・北翔大学短期大学部、『教育実習の手引き』							
参考書	適宜プリントを配付します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分 補足			90% レポート等		10%		
課題に関するフィードバックの方法	適宜講義中に行う							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回講義時に説明します。							
資 格	[ス]中・高1種(保健体育)_必修							
そ の 他	教職課程を履修する者のうち、「教科に関する科目」及び「教職に関する科目」のすべてを修得済み、あるいは修得見込みである者が履修を許可されます。「教職課程の総括」を行う科目内容の特性上、他の科目の履修方法とは異なります。履修および評価方法について初回の講義時に説明します。							

科 目 名		学校ボランティア活動Ⅰ			授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		西村 貴之						
授 業 の 目 的	ねらい	教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の教育活動を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、学校ボランティア活動を通して、学校現場ではどのような教育活動が営まれているのか、また学校に通う子どもの生き方への理解を深めます。さらには、教師を目指す者として、自身の教育観を確立できるよう学びを深めます。						
	到達目標	(1)学校現場においてどのように教育活動が営まれているのかを理解する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、子どもの生き方を考え、理解を深める。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1 学校における教育活動とは(90分) 【計画内容】学校における、教科指導や生徒指導などの教育活動についての基礎基本を学び学校ボランティア活動の意義を理解する。 【準備学習の内容】 シラバスを熟読すること。							A
	2 実際の学校現場でのボランティア活動 (1日3時間を基本として8回実施 :24時間) 【計画内容】学校ボランティア活動を実践することで、生徒の行動や生活の様子を理解する。 また、個別に配慮が必要な子どもの教育支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・部活動等の授業外の支援等を行う。必ず各自で課題を設定し、目標を持って取り組み、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。 【準備学習の内容】 ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。							D
	3 授業参観(90分) 【計画内容】参観した授業の内容について交流し、教師の生徒への望ましいかわり方について深める。 【準備学習の内容】 訪問する学校の経営計画等事前に調べる。ボランティア活動を通して得られたより深めたい問いを整理しておく。							M
	4 学校ボランティアの交流(90分) 【計画内容】活動をまとめ交流することで、新たな目標を設定する。 【準備学習の内容】 活動内容ならびに今後の課題等を A4・1枚にまとめておく。							F
	【授業時間外の学修内容】 子どもの対応について、これまでに受講した教職に関する科目の講義のノートを読み返しておくこと。							
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『高等学校学習指導要領』、東山書房						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			40%		60%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時ならびに教職担当者へ適宜相談(事前に予約して)に来ること。						
資 格								
そ の 他		この科目を履修する学生は、北海道教育委員会をはじめ教育委員会から教職センターに依頼されたボランティア活動に従事することになります。単位取得条件として、規定の時間のボランティア活動に加えて、①教育委員会が開催する学校ボランティア説明会への参加、②講義(事前・事後)および参観研究授業への出席、③レポート等の提出が義務付けられています。なお、この科目の単位は教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

科 目 名		学校ボランティア活動Ⅱ			授業形態	実習	単 位 数	1
教 員 名		西村 貴之						
授 業 の 目 的	ねらい	教員の資質として、学習指導のみならず、生徒指導や学校行事等の教育活動を実際に経験することは、教員を目指す者にとって大変重要なことです。本講義では、前年度の学校ボランティア活動を通して見出された課題意識をもって新たに学校ボランティア活動に従事することで、生徒理解や教師を目指す者として、発展的に自己の教育観を確立できるよう学びを深めます。						
	到達目標	(1)学校現場においてどのように教育活動が営まれているのかを理解する。 (2)学校ボランティア活動を実践することで、子どもの生き方を考え、理解を深める。 (3)様々な実践を交流することで、学校教育の全体像を理解することができる。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 1 学校ボランティア活動2年目の課題とは(90分) 【計画内容】 継続して学校ボランティア活動に従事するにあたっての新たな目標を各自どのように立てているのかを語りあいながら、履修する学生に共通の課題を見出す。 【準備学習の内容】 各自どのように取り組むのか課題意識を明確にしてくる。						F	
	2 実際の学校現場でのボランティア活動 (1日3時間を基本として8回実施 :24時間) 【計画内容】 学校ボランティア活動を実践することで、生徒の行動や生活の様子を理解する。また、個別に配慮が必要な子どもの教育支援や学校行事、体験活動の補助、休み時間・部活動等の授業外の支援等を行う。必ず各自で課題を設定し、目標を持って取り組み、毎回、ボランティア活動記録を記載すること。 【準備学習の内容】 ボランティア活動を行う学校について事前に調べ、担当の先生と事前の打合せを行っておくこと。						D	
	3 授業参与観察(90分) 【計画内容】 参観した授業の内容について交流し、教師の生徒への望ましいかかわり方について深める。 【準備学習の内容】 訪問する学校の経営計画等事前に調べる。ボランティア活動を通して得られたより深めたい問いを整理しておく。						M	
	4 学校ボランティアの交流(90分) 【計画内容】 活動をまとめ交流することで、新たな目標を設定する。 【準備学習の内容】 活動内容ならびに今後の課題等をA4・1枚にまとめておく。						F	
	【授業時間外の学修内容】 子どもの対応について、これまでの受講した教職に関する科目の講義のノートを読み返しておくこと。							
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		適宜配付します 文部科学省、『中学校学習指導要領』、東山書房 文部科学省、『高等学校学習指導要領』、東山書房						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分補足			40%		60%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時ならびに教職担当者へ適宜相談(事前に予約して)に来ること。						
資 格								
そ の 他		この科目を履修する学生は、前年度に「学校ボランティア活動Ⅰ」の単位を取得済みの者を対象とします。北海道教育委員会をはじめ教育委員会から教職センターに依頼されたボランティア活動に従事することになります。単位取得条件として、規定の時間のボランティア活動に加えて、①教育委員会が開催する学校ボランティア説明会への参加、②講義(事前・事後)および参観研究授業への出席、③レポート等の提出が義務付けられています。なお、この科目の単位は、教育職員免許状取得に必要な「教科又は教職に関する科目」の単位として算入されません。						

健康福祉学科
学科専門科目

科 目 名		生涯スポーツ(障がい者スポーツ)		授業形態	実技	単 位 数	1
教 員 名		阿部 達彦、齊藤 雄大					
授 業 の 目 的	ねらい	スポーツの取り組みは、我々の生活を支えるものであり、特に余暇活動の充実においても重要な役割を果たしている。本講義では、実際に障がいのある人たちが取り組んでいる様々な障がい者スポーツを実技体験することで、障がい者スポーツの楽しさを知り、障がいのある人の現在及び将来の生活の充実のためにスポーツが果たす役割や、競技を行う上での配慮事項について理解することをねらいとする。障がい者スポーツ団体と交流したり、ボランティア活動も行い障がい者スポーツ指導員(初級)取得のための理解を深める。					
	到達目標	(1)視覚障がい者や肢体不自由者の街中での疑似体験活動を通して、障がいのある人に対する必要な支援の方策や課題について理解する。 (2)障がい者スポーツの実技体験を通して、様々な障がい者スポーツの種目やルールについて理解する。 (3)障がい者スポーツ団体のボランティア等を行いながら、障がい者スポーツへの理解と啓発を行う。 (4)障がい者スポーツ指導員(初級)への知識と理解を深める。					
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】講義全体の授業展開を説明します。受講学生数によっては、全体での活動やグループ別の活動も想定されることから、計画や概要について十分に理解を図る。障がい者スポーツ指導員(初級)の取得手続きの説明を行い、正確な情報の周知を行う。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】車椅子バスケットボール② 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E	
	第2回	【テーマ】世界の障がい者スポーツの現状を映像等で理解し、日本の現状を考えます。 【計画内容】米国の障がい者スポーツの様子(車椅子ソフトボールや車椅子バスケットボール等)を映像で視聴しこれからの障がい者スポーツのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	A、K	第10回	【テーマ】車椅子バスケットボール③ 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの試合をチームに分かれて体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E	
	第3回	【テーマ】視覚障がいや肢体不自由者の疑似体験とボランティア活動の実施 【計画内容】車椅子での移動やアイマスクを着用し白杖を持って歩行することで、肢体不自由者や視覚障がい者の疑似体験をします。また、スポーツボランティアを行いながら、障がい者スポーツの理解啓発を図ります。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第11回	【テーマ】障がい者スポーツ団体との交流や障がい者スポーツのレポートの作成 【計画内容】障がい者スポーツ団体の支援や交流活動、ボランティア活動を通して、障がい者スポーツへの理解を深め、レポートにまとめる。また、障がい者スポーツの中から興味関心を持ったスポーツについて図書館等で調べる。 【授業時間外の学修内容】パラリンピック種目やスペシャルオリンピックス種目等の興味関心があるものを選び予習しておく。	G	
	第4回	【テーマ】車椅子走(ショートレース) 【計画内容】大学構内で実際に車椅子走のショートレース(タイムトライアル)を行います。 【授業時間外の学修内容】「障がい者スポーツ論」の該当箇所の内容を復習しておくこと。	E	第12回	【テーマ】車椅子ソフトボール① 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの基礎(キャッチボール・バッティング・ルール等)を体験します。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E	
	第5回	【テーマ】視覚障がい者走の体験 【計画内容】2人1組になり、1人がアイマスクを着用し、実際に大学構内で視覚障がい者の中距離走タイムトライアルを行います。 【授業時間外の学修内容】視覚障がい者の特徴を理解し把握しておくこと。	E	第13回	【テーマ】車椅子ソフトボール② 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E	
	第6回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ポッチャ① 【計画内容】パラリンピック種目のポッチャのルールを知り、実際にコートづくりをしたり、レクリエーションポッチャを体験します。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、理解し把握しておくこと。	A、E	第14回	【テーマ】車椅子ソフトボール③ 【計画内容】車椅子に乗った状態でベースボール型スポーツの試合をチームに分かれて行います。 【授業時間外の学修内容】前回の実技の課題について、反省点を整理し復習しておくこと。	E	
	第7回	【テーマ】重度障がい者のスポーツ ポッチャ② 【計画内容】車椅子等を使用して実際に介助者の支援を受け、ランプ(補助具)等を用いながらパラリンピック種目のポッチャを体験します。 【授業時間外の学修内容】重度の肢体不自由者の特徴について、復習しておくこと。	E	第15回	【テーマ】障がい者スポーツやアダプテッド・スポーツ等の振り返りとまとめ、障がい者スポーツの未来について 【計画内容】これまでの講義や障がい者スポーツ実技を振り返り、アダプテッド・スポーツの考え方やまとめを行い、2020年のパラリンピック等障がい者スポーツの発展や将来について考えます。課題ワークや定着度の確認を行います。 【授業時間外の学修内容】これまで実施した実技内容と「障がい者スポーツ」の該当箇所を復習しておくこと。	A、L	
	第8回	【テーマ】車椅子バスケットボール① 【計画内容】パラリンピック種目である車椅子バスケットボールの基礎(車椅子操作・ボール操作・パス・シュート)を体験します。 【授業時間外の学修内容】車椅子に乗った状態でゴール型スポーツの基礎を体験します。	E				
テキスト		プリントを使用します					
参 考 書		講義時に説明します					
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他
	配 分			40%		60%	
課題に関するフィードバックの方法							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容					
		科目との関連					
質問への対応		初回講義時に授業内容等について具体的に説明します。					
資 格		[健][ス]障がい者スポーツ指導員_必修					
そ の 他		原則、前年度に「障がい者スポーツ論」の単位を修得している学生を対象とする。また、運動指導に関する進路を考えている学生、及び特別支援学校の教員を目指している学生、「障がい者スポーツ指導員(初級)」の資格を取得する予定の学生の受講が望ましい。					

科 目 名		運動処方演習			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行、沖田 孝一、小坂井 留美						
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動を指導するのに必要な実践力を磨くには、①安全で効果的な運動処方作成のために必要な運動負荷試験の実際や、②生活習慣病の予防や改善に関わる集団と個別に対応する運動処方の方法を実践形式で学び、それぞれの集団および個人に適した運動プログラムを処方する能力を身につける。						
	到達目標	(1)運動負荷試験の方法を学ぶ。 (2)生活習慣病の予防や改善に関わる運動処方作成の方法を身につける。 (3)介護予防に関わる運動処方作成の方法を身につける。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】 ガイダンス・運動処方作成のために必要な行動目標 【計画内容】 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明します。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」の内容について復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅲ(糖尿病) 【計画内容】 生活習慣病のうち糖尿病に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 糖尿病について理解を深めておくこと。	B		
	第2回	【テーマ】 身体活動量の把握と運動処方 【計画内容】 身体活動量を把握する方法と運動処方の作成方法について学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 運動処方の基本的知識について復習しておくこと。	B	第10回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅳ(虚血性心疾患) 【計画内容】 生活習慣病のうち虚血性心疾患に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 虚血性疾患について理解を深めておくこと。	B		
	第3回	【テーマ】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方 【計画内容】 介護予防・転倒予防のための虚弱者に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 転倒予防に必要な体力要素について復習しておくこと。	B	第11回	【テーマ】 運動負荷試験の実際 【計画内容】 健診結果・安静時心電図の読み方・運動負荷試験の方法について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	B		
	第4回	【テーマ】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方 【計画内容】 行動変容理論に基づいた動機づけのための運動処方のプログラミングについて学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 行動変容理論の基本的知識について復習しておくこと。	B	第12回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅰ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行い、健診結果・安静時心電図の読み方・運動負荷試験の方法について学びます。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第5回	【テーマ】 変形性関節症のための運動処方 【計画内容】 変形性関節症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(下肢)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第13回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅱ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第6回	【テーマ】 腰痛症のための運動処方 【計画内容】 腰痛症に対する運動処方のプログラミングについて学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 解剖学および一般的な整形外科疾患(腰部)の基本的知識について復習しておくこと。	B	第14回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅲ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第7回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅰ(肥満症) 【計画内容】 生活習慣病のうち肥満症に対する運動処方の方法を学びます。(上田知行) 【授業時間外の学修内容】 肥満症について理解を深めておくこと。	B	第15回	【テーマ】 運動負荷試験実習Ⅳ 【計画内容】 運動負荷試験の実習を行います。(沖田孝一) 【授業時間外の学修内容】 メディカルチェックについて理解を深めておくこと。	D		
	第8回	【テーマ】 生活習慣病に対する運動処方Ⅱ(高血圧症) 【計画内容】 生活習慣病のうち高血圧症に対する運動処方の方法を学びます。(小坂井留美) 【授業時間外の学修内容】 高血圧症について理解を深めておくこと。	B					
テキスト		プリントを配付します						
参 考 書		『健康運動指導士テキスト』 上田知行、2019年、『認知症予防介護予防のための運動教室指導案集』、ソーシャルビジネス推進センター、97-4991103308						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足	30%		40%		30%		
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		講義時に説明します。						
資 格		[ス]健康運動指導士_必修						
そ の 他		「運動生理学」「運動処方」「中高年スポーツ論」を履修していること。 本講義は、北方圏生涯スポーツ研究センターの被験講義です。						

科 目 名			介護実践管理論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			八巻 貴穂、干場 有理子、前田 顕					
授 業 の 目 的	ねらい	介護は戦後、特に1980年代以降急速に発展してきた分野である。その実践の場は施設、病院、在宅に加え、近年グループホーム等の新たな形態が増加している。これに加えて介護の重度化、ニーズの多様化も進み、要介護者の生活支援のマンパワーは質・量の両面が必要とされている。同時に介護職員が連携しながら働くことのできる組織化、システム化が不可欠となっている。本講義では、最善の介護を提供するためにどのような組織を編成し、運営していけば良いかという介護管理について、現在の介護の社会的、実践的課題と合わせて学び、実践の場で一人ひとりが考えられるようになることがねらいである。						
	到達目標	(1)介護実践について管理的・統括的な視点で考察することができる。 (2)介護福祉サービスにおける組織運営について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】本講義の進め方、管理論とは何かについて説明します。(八巻貴穂) 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】福祉施設サービスを考える 【計画内容】高齢者の多様化する居住形態・ライフスタイルの中における福祉施設の内容・役割を比較しながら理解します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L		
	第2回	【テーマ】在宅サービスの役割 【計画内容】利用者の視点に立って在宅サービスの役割について考えます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L	第10回	【テーマ】福祉施設の組織運営を知る 【計画内容】社会福祉法人の組織構造・概念を学びます。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L		
	第3回	【テーマ】リスクマネジメント 【計画内容】利用者、事業所それぞれの観点からリスクについて考えます。リスクマネジメントの目的と効果について学びます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L	第11回	【テーマ】多職種協働(チームケア)の意義を学ぶ 【計画内容】福祉施設では多くの職種が連携して利用者を支えていることを理解します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L		
	第4回	【テーマ】ケアマネジメント 【計画内容】チームケアの在り方について考えます。介護マニュアルの必要性について学び、マニュアルに必要な項目などを考えます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L、K	第12回	【テーマ】介護実践におけるケアの構築について考える 【計画内容】良い介護実践には、直接介護だけではないケアサービスの種類や委員会等があることを確認します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L		
	第5回	【テーマ】チームマネジメント 【計画内容】チームの質の向上の方法を学びます。介護福祉士としての自己研鑽の必要性と方法について理解します。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L	第13回	【テーマ】福祉施設でのリスクマネジメントを知る 【計画内容】介護現場にはさまざまなリスクがあり、回避対策も検討されています。具体的に検証しながら考えます。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L		
	第6回	【テーマ】通所介護事業所の理解 【計画内容】通所介護のさまざまなサービスと「通所介護自己評価表」を活用した運営方法について学びます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L	第14回	【テーマ】テーマを持って施設見学する 【計画内容】講義で学んだことを踏まえ、各自課題を持ちながら通所系、入所系の施設見学を行います。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	M		
	第7回	【テーマ】通所介護事業所のサービスを考える1 【計画内容】グループワークで、利用者の視点に立った、かつ地域の特性に応じた通所介護事業所のサービス内容を考えます。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	A、L、K	第15回	【テーマ】介護実践管理論から学んだこと 【計画内容】今までの学びや施設見学での気づきを課題に沿って各自発表します。(前田顕) 【授業時間外の学修内容】発表の準備を行うこと。	F		
	第8回	【テーマ】通所介護事業所のサービスを考える2 【計画内容】グループごとに考えた通所介護事業所のサービス内容の発表と意見交換を行います。(干場有理子) 【授業時間外の学修内容】前回の授業を復習し、内容をよく理解しておくこと。	F					
テキスト	プリントを使用します							
参 考 書	講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			50%		50%		
課題に関するフィードバックの方法	授業中の課題については、その都度担当教員から講評を行います。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	初回講義時に具体的に説明します。							
資 格								
そ の 他	グループ討議の形式を多用し、自ら考え学びを深めることを目指します。 卒業後の進路として介護福祉職を目指す学生は、積極的に授業に参加することを期待します。							

科 目 名			現代社会と福祉Ⅰ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			伊藤 新一郎					
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となってきた。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない／まだはじまったばかりの支援もある。 以上より、本科目では、社会福祉の理念・原理・哲学に加え、現代社会の変化・動向と福祉政策の関係、そしてそれに関わる主体(アクター)間の役割分担、社会福祉や福祉政策の課題などについて理解することを目指す。						
	到達目標	(1)現代社会における福祉制度の意義や理念、福祉政策との関係について理解する。 (2)福祉の原理をめぐる理論と哲学について理解する。 (3)福祉政策の構成要素(政府、市場、家族、個人等)について理解する。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】社会の変化と福祉① 【計画内容】 伝統社会から近代社会への移行、福祉国家の成立について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 近代社会・福祉国家について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第9回	【テーマ】福祉政策の発展過程② 【計画内容】 戦後から高度経済成長期における福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 戦後復興と高度経済成長期における日本の社会経済について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A		
	第2回	【テーマ】社会の変化と福祉② 【計画内容】 福祉国家の変容、現代社会の変化と福祉、福祉政策の課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 福祉政策における今日の課題とされる事項について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第10回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策① 【計画内容】 1970年代～1980年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 オイルショック・行政改革について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A		
	第3回	【テーマ】福祉と福祉政策① 【計画内容】 社会福祉の概念と範囲について歴史的展開と今日的動向について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 社会福祉の概念・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第11回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策② 【計画内容】 1990年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 バブル経済の崩壊、失われた10年について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A		
	第4回	【テーマ】福祉と福祉政策② 【計画内容】 福祉政策の特徴と社会福祉士の役割・機能について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 社会福祉士及び介護福祉士法の内容について確認しておく。	A	第12回	【テーマ】少子高齢化・人口減少時代における福祉政策③ 【計画内容】 2000年代における福祉政策の展開と特徴について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 社会福祉基礎構造改革、社会福祉法の成立、契約制度について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A		
	第5回	【テーマ】福祉の思想と哲学① 【計画内容】 福祉の思想・哲学、市場の論理と倫理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 福祉の思想に関わる人権について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第13回	【テーマ】福祉政策と政治 【計画内容】 福祉政策と政治・社会の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 日本の政治制度や地域・家族・社会変化の動向について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A		
	第6回	【テーマ】福祉の思想と哲学② 【計画内容】 福祉の理論的基礎としてのロールズの正義論とセンの潜在能力論について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 ロールズとセンの主張について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第14回	【テーマ】福祉政策と経済 【計画内容】 福祉政策と経済の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 今日の政府による経済政策(アベノミクス等)について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A		
	第7回	【テーマ】社会政策と福祉政策 【計画内容】 社会政策と福祉政策の概念・範囲と両者の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 社会政策と福祉政策の範囲・用法について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】 本科目のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】 14回までの内容を復習しておく。	A		
	第8回	【テーマ】福祉政策の発展過程① 【計画内容】 近代化と福祉政策の関係・展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】 近代化・産業化の特徴について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A					
テキスト		毎回、講義資料を配付します。						
参 考 書		必要に応じて紹介します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分	70%				30%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		E-Mail:ito@hokusei.ac.jp						
資 格		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必						
そ の 他		・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・社会経済情勢や福祉政策・社会保障の動向に関するマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。						

科 目 名				現代社会と福祉Ⅱ		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				伊藤 新一郎					
授 業 の 目 的	ねらい	少子高齢化と人口減少が進む日本では、社会的解決を必要とする多くの課題が存在している。例えば、介護問題、貧困・経済的格差の広まり、社会的孤立の増加、地域の疲弊、そしてこれらに起因する将来不安と閉塞感の深刻化である。このような状況を踏まえると、現代において社会福祉が果たす役割はますます重要となってきた。一方で、既存の支援枠組みでは十分に対応できない／まだはじまったばかりの支援もある。 以上より、本科目では、福祉政策における必要（ニーズ）や関連領域との関係や動向、実際の相談援助における原理・原則、先進諸国の福祉政策の展開、現在の日本における福祉政策理念のポイントと今後の課題などについて理解することを目指す。							
	到達目標	(1)福祉政策におけるニーズと資源について理解する。 (2)福祉政策と関連政策(教育政策、住宅政策、労働政策を含む)の関係について理解する。 (3)相談援助活動と福祉政策との関係について理解する。 (4)福祉政策の国際的動向と課題について理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】福祉政策における必要と資源 【計画内容】必要（ニーズ）概念と資源について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】必要（ニーズ）概念について他科目で学習した内容を復習しておく。	A	第9回	【テーマ】福祉サービスと相談援助① 【計画内容】相談援助の原理・原則・方法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A			
	第2回	【テーマ】福祉政策の理念・主体・手法 【計画内容】福祉政策の理念、資源配分システム、政策決定と評価について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】福祉政策の理念の基礎となる社会福祉における価値について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A	第10回	【テーマ】福祉サービスと相談援助② 【計画内容】相談援助と地域福祉の関係と今日的展開について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A			
	第3回	【テーマ】福祉政策と関連領域① 【計画内容】福祉政策と権利擁護、保健医療、所得保障の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第11回	【テーマ】福祉政策の国際比較① 【計画内容】北米と西欧・北欧の福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】アメリカ・イギリス・スウェーデンなどの先進諸国の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第4回	【テーマ】福祉政策と関連領域② 【計画内容】福祉政策と雇用、教育、住宅、災害支援の関係について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第12回	【テーマ】福祉政策の国際比較② 【計画内容】東アジア諸国の福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】韓国・中国・台湾の福祉について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第5回	【テーマ】社会福祉制度の体系① 【計画内容】社会福祉制度の仕組みと構造について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第13回	【テーマ】福祉政策の課題と展望① 【計画内容】新たな社会的リスクへ対応する福祉政策のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】人間のライフサイクル・ライフコースと典型的な生活課題について可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第6回	【テーマ】社会福祉制度の体系② 【計画内容】社会福祉制度と福祉サービスの関係・現状・課題について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関連する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第14回	【テーマ】福祉政策の課題と展望② 【計画内容】福祉政策の今日的理念である地域共生社会、地域包括ケアや包摂型福祉政策について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】地域共生社会、地域包括ケアについて可能な範囲で調べ学習をしておく。	A			
	第7回	【テーマ】福祉サービスの提供① 【計画内容】福祉サービスの提供・利用方式(措置・高齢・障害・保育など)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A	第15回	【テーマ】まとめ 【計画内容】本科目のまとめを行う。 【授業時間外の学修内容】14回目までの内容を復習しておく。	A			
	第8回	【テーマ】福祉サービスの提供② 【計画内容】福祉サービスの提供における運営管理部門の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】関係する社会福祉士指定科目の内容を復習しておく。	A						
テキスト		毎回、講義資料を配付します。							
参 考 書		必要に応じて紹介します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	70%				30%			
補 足									
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		E-Mail: ito@hokusei.ac.jp							
資 格		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必							
そ の 他		・本科目は社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目である。 ・福祉政策・社会保障などに関係する新聞・TVなどのマスコミ報道に関心を持つことが推奨される。							

科 目 名				社会福祉行政・福祉計画論		授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名				志水 幸					
授 業 の 目 的	ねらい	この授業では、地域共生社会の構築に資するべく、社会福祉行政における国及び地方公共団体、民間の役割について概説します。また、社会福祉計画の意義、目的および方法について実践的に概説します。							
	到達目標	(1)社会福祉行政の実施体制について説明できる。 (2)社会保障財政について説明できる。 (3)社会福祉計画について説明できる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】・講義の概要と学修方法について・社会福祉の基本問題(本質論問題、補充性問題、補充性の今日的理解) 【計画内容】・授業概要を紹介し、準備学修方法について説明します。 ・社会福祉行政および福祉計画に係る前提として、公私問題の今日的意味について説明します。 【授業時間外の学修内容】これまでに履修した、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士指定科目の内容(特に、制度・政策に関する事項)を振り返ってみてください。	A	第9回	【テーマ】社会保障財政の動向 【計画内容】社会保障関係費や社会保障給付費の定義および概要について説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A			
	第2回	【テーマ】社会福祉行政の形成過程(第1段階) 【計画内容】近代国家における社会福祉行政の第1段階として、恤救規則から感化法に至る過程を概観し、公私関係の転換を跡づけます。 【授業時間外の学修内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。	A	第10回	【テーマ】・地方公共団体の財政の動向・民間財源の動向 【計画内容】・民生費を中心に地方公共団体の財政の動向について説明します。 ・SIB等の新たな財源の動向について説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A			
	第3回	【テーマ】社会福祉行政の形成過程(第2段階、第3段階) 【計画内容】第2段階として感化法から救護法に至る過程を、第3段階として戦後の社会福祉基礎構造の形成過程を概観し、公私関係の固定化について跡づけます。 【授業時間外の学修内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。	A	第11回	【テーマ】社会福祉計画の概要(構造・機能) 【計画内容】社会福祉計画の構造と機能および歴史について説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A			
	第4回	【テーマ】社会福祉行政事務の変遷過程(第1段階) 【計画内容】地方自治法制定からシャウプ勧告に至る過程を通して、機関委任事務・団体委任事務について説明します。 【授業時間外の学修内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。	A	第12回	【テーマ】社会福祉計画の概要(分野・方法) 【計画内容】社会福祉計画の分野と方法について説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A			
	第5回	【テーマ】社会福祉行政事務の変遷過程(第2段階、第3段階) 【計画内容】地方公共団体の執行機関が国の機関として行う事務の整理及び合理化に関する法律から地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律に至る過程を通して、社会福祉行政事務の変更について説明します。 【授業時間外の学修内容】既に履修した関連科目における社会福祉の歴史について、再度確認してください。	A	第13回	【テーマ】社会福祉計画の策定方法の実際 【計画内容】市町村地域福祉計画及び都道府県地域福祉支援計画策定指針の在り方について(一人ひとりの地域住民への訴え)をもとに、計画策定のプロセスについて説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A			
	第6回	【テーマ】社会福祉行政事務における国の関与の類型 【計画内容】関与の原則の明定として、国の関与の一般原則、基本類型、手続きルールについて説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A	第14回	【テーマ】地域共生社会の実現に向けて 【計画内容】地域力強化検討会最終とりまとめや地域共生社会推進検討会最終とりまとめをもとに、地域共生社会の構築に資する公私関係の新たな地平と、社会福祉計画の策定・実施における住民主体の意義について説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A			
	第7回	【テーマ】法令の基本構造 【計画内容】法体系と各法令の位置づけを通して、議会立法や行政立法について説明します。あわせて、法令の条文構造等についても説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A	第15回	【テーマ】授業の振り返りとまとめ 【計画内容】これまでの授業を振り返り、体系的に要点を整理します。 【授業時間外の学修内容】テキストや配付資料の要点を整理してください。	A、L			
	第8回	【テーマ】・社会福祉行政組織・専門職の役割 【計画内容】・国および地方公共団体における社会福祉行政の実施体制について説明します。 ・各種相談機関等における専門職の役割について説明します。 【授業時間外の学修内容】事前にテキストや配付資料を確認してください。	A						
テキスト		社会福祉士養成講座編集委員会、2017年、『福祉行政と福祉計画』、中央法規、9784805854303							
参 考 書		厚生統計協会編、2019年、『国民の福祉と介護の動向』、厚生統計協会 福祉六法編集委員会編、2020年、『社会福祉小六法』、ミネルヴァ書房							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分	90%		10%					
	補 足			ワークシート					
課題に関するフィードバックの方法		ワークシートをもとに講評します。							
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	厚生労働省等の各種検討会委員等を歴任						
		科目との関連	経験をもとに、政策策定過程や実施過程における行政の意義や役割に触れつつ講義を展開する。						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[健]社会福祉士_必修、社会福祉主事_選必 [心]精神保健福祉士_必修、福祉心理士_選必、社会福祉主事_選必							
そ の 他		この講義を受講する際には、以下の事項を遵守してください。 ・この講義は、国家試験受験資格取得に係るものであり、講義を1/3以上欠席した場合は定期試験の受験を認めません。 ・出席確認は、講義の初めに行います。出席確認後の入室は認めますが、出欠処理では欠席とします。また、講義中の教室への出入りを禁止します(但し、特別な事情がある場合には、予め申し出てください)。 ・受講に際し、必ず教科書を購入し、毎回持参してください。							

科 目 名			社会福祉運営管理論			授業形態	講義	単 位 数	2
教 員 名			林 恭裕						
授 業 の 目 的	ねらい	社会福祉基礎構造改革以後、福祉サービスの供給主体は多元化が進行しており、準市場においてサービスを調達することになった。さらに、社会福祉法によりわが国の福祉は、「地域福祉」が中心となり、地域生活支援が福祉の主要なテーマとなった。その結果、福祉の動向を踏まえ多様な供給主体が競合したなかで、安定した質の高いサービスをどのように提供していくか、ということが供給主体にとって重要になった。そこで、本授業では福祉サービスに関わる供給主体の実態について学ぶとともに、適切にかつ効果的な福祉サービスを提供するための理論や福祉サービス管理に必要な経営と運営管理について学ぶ。							
	到達目標	(1)社会福祉法人等の非営利法人の組織・活動を理解する。 (2)福祉サービスに関するマネジメントの狙いと手法を理解する。 (3)社会福祉基礎構造改革以後の福祉システムの特徴を理解する。 (4)社会福祉における経営の理念と哲学を理解する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】福祉サービスの基礎的理解 【計画内容】社会福祉基礎構造改革以後の新しい福祉サービスの提供と管理についての概要を理解する。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第9回	【テーマ】福祉サービスの運営管理1 【計画内容】福祉サービスを提供するためのサービスマネジメントの考え方と手法を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第2回	【テーマ】福祉サービス提供組織・団体1 【計画内容】福祉サービス提供組織としての法人の性格と仕組みについて理解する。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第10回	【テーマ】福祉サービスの運営管理2 【計画内容】福祉サービス提供組織における苦情対応・リスクマネジメント・第三者評価について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第3回	【テーマ】福祉サービス提供組織・団体2 【計画内容】2017年度から始まる社会福祉法人制度改革をもとに社会福祉法人の役割について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第11回	【テーマ】福祉サービスの運営管理3 【計画内容】福祉サービス提供の方向性と福祉職場における人事管理の手法について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第4回	【テーマ】福祉サービスに係る組織・団体1 【計画内容】市民活動の中心となる特定非営利活動法人(NPO 法人)の設立経過と実態を学び、福祉サービス担い手としての役割について理解する。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第12回	【テーマ】福祉サービスの運営管理4 【計画内容】福祉サービス提供組織における賃金、人事考課のあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第5回	【テーマ】福祉サービスに係る組織・団体2 【計画内容】福祉サービスに係る公益法人(公益法人、医療法人等)について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第13回	【テーマ】福祉サービスの運営管理5 【計画内容】福祉サービス提供組織における人材育成の方法とあり方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第6回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論1 【計画内容】社会市場において、住民のニーズに対応する事業展開をどのようにすすめるか、について経営戦略の基本的な考え方を学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第14回	【テーマ】福祉サービス提供組織の財務 【計画内容】福祉サービス提供組織の財務と会計について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第7回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論2 【計画内容】福祉サービス提供組織における事業計画・組織・管理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A	第15回	【テーマ】福祉サービス提供組織と情報管理 【計画内容】改正個人情報保護法を踏まえて、福祉サービス提供組織の情報管理について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A			
	第8回	【テーマ】福祉サービスの組織と経営に係る基礎理論3 【計画内容】組織経営における集団力学とリーダーシップのあり方について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】教科書の該当箇所を予習しておくこと。	A						
テキスト		社会福祉士養成講座編集委員会、2018年、『福祉サービスの組織と経営』、中央法規出版、9784805837610							
参 考 書		ドラッカー、1995年、『非営利組織の自己評価手法』、ダイヤモンド社、4478371652 浦野正男編、2018年、『社会福祉施設経営管理論』、全国社会福祉協議会							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分 補足	80%				20%			
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		以下のメールアドレスに質問してください。 E-Mail:snd29262@nifty.com							
資 格		[健]社会福祉士_必修							
そ の 他		事前学習を必ずすること。成績評価については、筆記試験と受講態度で行い、追試験等を行わないので留意すること。							

科 目 名		相談援助演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		吉田 修大、久野 真知子						
授 業 の 目 的	ねらい	地域福祉を実際に地域で実施していくために必要な知識、技術、理念などを学びます。地域アセスメント、地域組織化の展開過程および地域福祉計画と地域福祉活動計画等を理解する機会となります。また、実践に必要な記録の技法を含めて学習していきます。						
	到達目標	(1)地域福祉を実施するために必要な知識、技術、理念を実践的に理解できる。 (2)コミュニティワークの技法を身につける。 (3)記録の技法を使って学習することができる。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 【計画内容】この授業の内容や流れ、到達目標について解説します。 【授業時間外の学修内容】シラバスを読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習して下さい。	A	第9回	【テーマ】地域アセスメントの作成 【計画内容】地域アセスメントの項目を確認し、アセスメントの記録が書けるように学習します。 【授業時間外の学修内容】地域アセスメント項目について調べてきて下さい。	H、J、K		
	第2回	【テーマ】ある高齢者家族のケースから 【計画内容】日中独居の高齢者家族のケースではどのようなアセスメントの視点で分析し地域の資源を活用していくのか、またマッピング技法の確認も含めて学習します。 【授業時間外の学修内容】マッピング技法の復習をしておいて下さい。	H、J	第10回	【テーマ】コミュニティワーク事例①事例のはじまり 【計画内容】「事例」としてアプローチをしていくのは、さまざまなきっかけがあります。一つの出来事からコミュニティワークを実践することになる経緯を含めて学びます。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークのプロセスを学習してきて下さい。	H、J		
	第3回	【テーマ】日中独居の高齢者家族へのコミュニティワーク 【計画内容】このケースではどのような地域の支援を実施できるか検討します。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの基礎知識を確認してきて下さい。	H、J	第11回	【テーマ】コミュニティワーク事例②アセスメント 【計画内容】地域アセスメントについて事例をベースに学習します。 【授業時間外の学修内容】地域アセスメントの記録を見直してきて下さい。	H、J		
	第4回	【テーマ】同じ課題を抱える地域住民を対象としたアプローチ 【計画内容】これまで取り上げてきた家族のように、地域で悩んでいる他の住民を対象として、どのような活動を計画すると効果があがるのか学習します。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの事例を1つ読んできて下さい。	H、J	第12回	【テーマ】コミュニティワーク事例③計画作成 【計画内容】この事例ではどのような計画を作成して実施すると課題が解消されるのでしょうか。計画づくりを経験します。 【授業時間外の学修内容】実際の「計画」を見直してきて下さい。	H、J		
	第5回	【テーマ】ある老人デイサービスが抱える課題の解決 【計画内容】老人デイサービスがその地域の特性による問題を抱えています。どのような解決が考えられるか検討します。 【授業時間外の学修内容】老人デイサービスについて確認してきて下さい。	H、J、K	第13回	【テーマ】コミュニティワーク事例④実施～評価 【計画内容】計画を実施し、その評価を行うプロセスを学びます。 【授業時間外の学修内容】コミュニティワークの評価方法を確認してきて下さい。	H、J		
	第6回	【テーマ】ひとり親家庭への支援 【計画内容】他からの協力を得られづらく、孤軍奮闘しがちなひとり親家庭への支援を考えます。 【授業時間外の学修内容】ひとり親家庭の課題について調べておいてください。	H、J、K	第14回	【テーマ】コミュニティワーク事例⑤コミュニティワークから次のアプローチへ 【計画内容】コミュニティワークの実施によって解消された課題を確認し、残された課題に取り組む方法を学習します。 【授業時間外の学修内容】ソーシャルアクションについて確認してきて下さい。	H、J		
	第7回	【テーマ】社会資源の活用 【計画内容】活用が可能な社会資源はどの程度存在し、利用しやすいのか身近な地域を例に検討します。 【授業時間外の学修内容】どのような社会資源があるのかを確認しておいてください。	H、J、K	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】コミュニティワークの基礎知識と技術を再確認する機会とします。 【授業時間外の学修内容】本演習の資料を読んできて下さい。	H、J、K		
	第8回	【テーマ】地域福祉活動計画の策定 【計画内容】ある地域の地域福祉活動計画を改善するとしたら、どの要素に注目し、どのようなプロセスで実施することができるのかを考えます。 【授業時間外の学修内容】地域福祉活動計画について調べておいてください。	H、J、K					
テキスト		プリントを使用します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分			60%		40%		
補 足								
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		授業時にお伝えします						
資 格		[健]社会福祉士_必修						
そ の 他		「相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。 ※なお、本演習は4回以上の遅刻(15分以内)および欠席をした学生には単位を認定しません。						

科 目 名				相談援助演習Ⅳ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				久野 真知子、高野 和美					
授 業 の 目 的	ねらい	相談援助の対象は、多岐にわたるとともにその内容も様々である。ソーシャルワーカーとしての援助も個々のケースに即して柔軟に対応するとともに様々な専門職と連携して総合的かつ包括的に展開することが求められる。ここでは、具体的な事例をもとにしてそうした総合的かつ包括的な援助のあり方について実践的に習得する。							
	到達目標	(1)様々な事例に応じたニーズを把握できる。 (2)ソーシャルワーカーとしての対応や援助を理解できる。 (3)社会資源やネットワークの活用の仕方を習得する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】相談援助を行うためのポイント 【計画内容】講義の目的と展開について説明します。相談援助を実践的に習得するためのポイントを紹介しします。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】低所得者事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】自立支援をどのように行うか考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第2回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(1)～高齢者・事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、虐待への対応や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第10回	【テーマ】社会的排除事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第3回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(2)～高齢者・対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】高齢者虐待における被虐待者・虐待者それぞれへの対応やかかわりについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第11回	【テーマ】社会的排除事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】差別問題への対応の仕方を考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第4回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(3)～児童・事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、虐待への対応や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第12回	【テーマ】ホームレス事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第5回	【テーマ】虐待事例へのかかわり(4)～児童・対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】児童虐待における被虐待者・虐待者それぞれへの対応やかかわりについて考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第13回	【テーマ】ホームレス事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】就労支援等の援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第6回	【テーマ】家庭内暴力事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第14回	【テーマ】権利擁護事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第7回	【テーマ】家庭内暴力事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】被害者への対応や関係機関との連携について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第15回	【テーマ】権利擁護事例へのかかわり(2)～対応の振り返りと社会資源・ネットワーク 【計画内容】成年後見制度などの具体的な活用について考えます。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J			
	第8回	【テーマ】低所得者事例へのかかわり(1)～事例研究 【計画内容】事例を用いて、そのニーズを把握し、対応の仕方や援助について検討します。 【授業時間外の学修内容】講義時に提示する予習課題に取り組むこと。	B、H、J						
テキスト		必要に応じてプリントを配付します							
参 考 書		プリントを使用します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			60%		40%			
課題に関するフィードバックの方法		課題については講義のなかで内容の検討を行います。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。							
資 格		[健]社会福祉士_必修							
そ の 他		「相談援助演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」は、社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する学生が対象となります。 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ」を同時に履修してください。 ※なお、本講義は4回以上の遅刻(15分以内)および欠席をした学生には、単位を認定しません。							

科 目 名		相談援助演習Ⅴ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		久野 真知子、高野 和美					
授 業 の 目 的	ねらい	相談援助実習で得た個別的体験を一般化し、実践的な知識・技術を習得します。そのためには、自分自身の実習体験の振り返りや事例研究を行うことで、面接技術や利用者理解の重要性を再認識し、自己決定・エンパワメントに基づくソーシャルワーク実践について考えることができます。また、各学生の個別的体験を素材としたグループ学習を行うことで、より広い視点や視野から相談援助の方法をとらえ、価値観や倫理観と向き合う専門職としてのあり方を深く学びます。					
	到達目標	(1)実習体験の振り返りを通して、相談援助職として必要な知識・技術を理解できる。 (2)相談援助職としての価値観・倫理観を再確認し、その専門性を表現できる。 (3)他の学生の経験を追体験としてとらえ、ソーシャルワークの視点や視野を広げて理解することができる。					
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業のガイダンス 【計画内容】15回の授業展開を説明します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	B	第9回	【テーマ】事例研究1 組織・機関の理解と連携の必要性 【計画内容】事例を通して、地域における組織・機関の役割・機能について、関係機関等の連携も含めて理解し、課題について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	
	第2回	【テーマ】実習体験からの学び1 【計画内容】各自の相談援助実習において経験したソーシャルワークの支援内容について振り返ります。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第10回	【テーマ】事例研究2 他職種・他職域の理解 【計画内容】事例を通して、連携する他職種・他職域について理解し、ソーシャルワーク職種・職域の広さを理解します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	
	第3回	【テーマ】実習体験からの学び2 【計画内容】利用者との関係形成にかかる援助技術やコミュニケーション技法を理解します。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第11回	【テーマ】事例研究3 ソーシャルワークの専門性について 【計画内容】事例を通して、人と環境の接点・相互作用に着目し、ソーシャルワークの専門性について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	
	第4回	【テーマ】実習体験からの学び3 【計画内容】利用者との関わりから、相談援助の対象となる人びとへの理解を深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第12回	【テーマ】事例研究4 ソーシャルワークのプロセス 【計画内容】個人に関わる家族・組織・地域の相互関係に着目し、ソーシャルワークの支援プロセスについて考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	
	第5回	【テーマ】実習体験からの学び4 【計画内容】相談援助の過程における権利擁護・自己決定について学びます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第13回	【テーマ】事例研究5 グループ活動の支援 【計画内容】グループワークの展開過程グループダイナミクスを活用したメンバーの支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	
	第6回	【テーマ】実習体験からの学び5 【計画内容】ディレンマ体験を通して、自己決定・エンパワメント・人間の尊重等ソーシャルワーカーとしての価値観・倫理観の学びを深めます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第14回	【テーマ】事例研究6 地域福祉活動の支援 【計画内容】地域の特性を踏まえた地域課題に対して、組織・機関と地域住民の主体性に基づく支援について考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	
	第7回	【テーマ】実習体験からの学び6 【計画内容】カンファレンス・会議等による関係機関・地域住民との連携の実際から、チームアプローチのあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J	第15回	【テーマ】ソーシャルワークの専門職として求められるもの 【計画内容】ソーシャルワークの専門職として求められる知識・技術・能力について考え、自分自身の課題についても明らかにします。 【授業時間外の学修内容】テーマについて、レポートを作成しておくこと。	B、H、J	
	第8回	【テーマ】実習体験からの学び7 【計画内容】地域における社会資源の存在とその活用の実際から、調整・開発を含めた社会資源のあり方を考えます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す予習課題に取り組むこと。	B、H、J				
テキスト	プリントを使用します						
参 考 書	社会福祉士養成講座編集委員会、『新社会福祉士養成講座7 相談援助の理論と方法Ⅰ 第3版』、中央法規 社会福祉士養成講座編集委員会、『新社会福祉士養成講座8 相談援助の理論と方法Ⅱ 第3版』、中央法規						
成績評価の方法	筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分		60%		40%		
補 足	足						
課題に関するフィードバックの方法	課題については講義のなかで内容の検討を行います。						
実務経験と授業の関連	経 験 内 容						
	科目との関連						
質問への対応	各演習担当教員に確認してください。						
資 格	[健]社会福祉士_必修						
そ の 他	履修における注意「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は互いに密接に関連しているため、相談援助実習を履修する同一年次に5科目すべてを履修してください。 ※なお、本講義は4回以上の遅刻(15分以内)および欠席をした学生には、単位を認定しません。						

科目名			相談援助実習指導Ⅱ		授業形態		演習		単位数		4	
教員名			神部 雅子、黒澤 直子、久野 真知子									
授業の目的			相談援助実習の目的を理解し必要な知識と技術を得て、相談援助実習に効果的に取り組むことができるようにするとともに、実習後の振り返り等を通し社会福祉士として求められる資質、技能、倫理等についての定着を図る。									
			(1)相談援助に関わる知識と技術について具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。									
			(2)社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得する。									
			(3)具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を養成する。									
授業の画	第1回	【テーマ】前期オリエンテーション 【計画内容】授業のオリエンテーションとして1年間の実習指導の授業のうち、主に前学期の流れと内容や提出物、注意事項等を確認します。また相談援助実習に向けて実習の意義や目的を確認する機会とします。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A、K	第16回	【テーマ】後学期オリエンテーション 【計画内容】実習を振り返る意義について説明し、後学期の授業の進め方、実習報告会について、実習報告書の作成について説明を行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「実習経験の共有と分かち合い」を読んでおくこと。	A						
	第2回	【テーマ】相談援助実習とは 【計画内容】相談援助実習の概要について再度確認し、また、各自にとっての相談援助実習の意義や課題を確認します。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび実習マニュアルの該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	B、H	第17回	【テーマ】実習の振り返り 【計画内容】実習評価表の自己確認やトピックスごとの話し合い等を通して、実習の振り返りを進めていきます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「実習経験を振り返る」を読んでおくこと。	B、F、H						
	第3回	【テーマ】事前実習について 【計画内容】事前実習に向けた準備として、事前実習の内容や意義について説明します。また、事前実習の前に明確にしておくべき要素について確認を行います。そして電話を掛ける準備も行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「実習先へ電話をかける」「オリエンテーションの意義・内容」「実習指導者に思いを伝える」を読んでおくこと。	A、H、N	第18回	【テーマ】実習後の領域別学習 【計画内容】児童、障害、高齢の3領域ごとのクラスで集合し、同領域ごとの実習内容や利用者の理解、課題の成果を共有し指導を受けます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H、K、L						
	第4回	【テーマ】日誌の書き方(事前実習用) 【計画内容】事前実習における日誌の書き方と取り扱いの説明を行い、実際の日誌を書くことを念頭に置いて実践的に学びます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「実習日誌の意義・書き方」を読んでおくこと。	H	第19回	【テーマ】評価表の活用とS.V.報告書の作成 【計画内容】実習指導者による実習評価表から自らの評価と比較しながら達成できていたこと、残された課題を受けとめ、理解する機会を持ちます。また実習報告書の作成方法とスケジュールを確認します。 【授業時間外の学修内容】評価表の自己評価分を確認しておいて下さい。	A、B、H						
	第5回	【テーマ】事前学習について 【計画内容】事前学習すべき要素や学習方法について説明します。また、各クラスでの事前学習の確認方法(レポートやノート作成)についても伝えます。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	A、H	第20回	【テーマ】クラス内報告会1 【計画内容】実習の集大成である報告書をまとめるために、実習種別や実習の概要、個別課題や実習で確認された課題などについて毎時1～2人ずつクラスで報告会を持ちます。クラス内報告会のための資料作成は、学生同士の質疑応答による明確化を経て後の報告書の原稿になっていきます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第6回	【テーマ】個別課題とは何か 【計画内容】相談援助実習中に取り組む個別課題とは何か、どのような流れで作成していくかについて説明します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第1章「実習計画書の概要」「実習テーマ・達成課題を深める」を読んでおくこと。	A、H	第21回	【テーマ】クラス内報告会2 【計画内容】実習の集大成である報告書をまとめるために、実習種別や実習の概要、個別課題や実習で確認された課題などについて毎時1～2人ずつクラスで報告会を持ちます。クラス内報告会のための資料作成は、学生同士の質疑応答による明確化を経て後の報告書の原稿になっていきます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第7回	【テーマ】事前実習の振り返りと実習日誌の指導 【計画内容】3日間の事前実習での経験を言語化し、他の学生と共有します。夏の本来実習に向けて理解できたことと分からないことなどを明確にして、事前学習等の準備につなげていきます。また事前実習で書いてきた実習日誌の指導も行います。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「オリエンテーションを振り返る」を読んでおくこと。	B、H	第22回	【テーマ】クラス内報告会3 【計画内容】実習の集大成である報告書をまとめるために、実習種別や実習の概要、個別課題や実習で確認された課題などについて毎時1～2人ずつクラスで報告会を持ちます。クラス内報告会のための資料作成は、学生同士の質疑応答による明確化を経て後の報告書の原稿になっていきます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第8回	【テーマ】事前実習の振り返りと個別課題の作成 【計画内容】まず事前実習の体験を共有化し、実習までに解決すべき課題を整理します。また、そして各自が実習で達成したいことを個別課題として整理し、本実習に目的意識を持って取り組めるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	A、H	第23回	【テーマ】クラス内報告会4 【計画内容】実習の集大成である報告書をまとめるために、実習種別や実習の概要、個別課題や実習で確認された課題などについて毎時1～2人ずつクラスで報告会を持ちます。クラス内報告会のための資料作成は、学生同士の質疑応答による明確化を経て後の報告書の原稿になっていきます。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第9回	【テーマ】実習前の領域別学習～事前実習の振り返りと本実習に向けて～ 【計画内容】事前実習の経験を領域ごとに振り返り、学習課題と実習生としての課題を確認します。そして各自が実習で達成したいことを個別課題として作成する基盤を作り、本実習に目的意識を持って取り組めるようにします。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	A、B、H	第24回	【テーマ】指定課題の報告1 【計画内容】指定課題(主にいわゆるケース研究)の結果を毎時1～2人ずつ報告していきます。その中でケース研究の方法を確認し、分野を超えた実際のケースのリアリティから学び合います。併せて教員による指導も行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第10回	【テーマ】個別課題の作成 【計画内容】個別課題の取り組みの進捗状況や疑問点などを確認しながら、個別課題の完成に向けた指導を行います。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	B、H	第25回	【テーマ】指定課題の報告2 【計画内容】指定課題(主にいわゆるケース研究)の結果を毎時1～2人ずつ報告していきます。その中でケース研究の方法を確認し、分野を超えた実際のケースのリアリティから学び合います。併せて教員による指導も行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第11回	【テーマ】事前打ち合わせ会等オリエンテーション 【計画内容】事前打ち合わせ会において個別課題についてスーパーバイザーから指導を受ける機会を持ちます。また実習に関する様々な事項の打ち合わせを行います。打ち合わせ会に向けて必要な準備や打ち合わせの流れについて説明します。また、事前訪問が必要な学生のケースについての説明も行います。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	A、H	第26回	【テーマ】指定課題の報告3 【計画内容】指定課題(主にいわゆるケース研究)の結果を毎時1～2人ずつ報告していきます。その中でケース研究の方法を確認し、分野を超えた実際のケースのリアリティから学び合います。併せて教員による指導も行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第12回	【テーマ】事前打ち合わせ会の準備、個別課題の完成 【計画内容】事前打ち合わせ会で確認すべき項目は何か、個別課題の相談の仕方などを実際にRPをしながら練習し備えておきます。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	B、H、N	第27回	【テーマ】指定課題の報告4 【計画内容】指定課題(主にいわゆるケース研究)の結果を毎時1～2人ずつ報告していきます。その中でケース研究の方法を確認し、分野を超えた実際のケースのリアリティから学び合います。併せて教員による指導も行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、H						
	第13回	【テーマ】指定課題の指導 【計画内容】指定課題の実践の取り組み方や流れについて詳しく説明、確認し、実習中に円滑に課題に取り組めるように学習する機会となります。 【授業時間外の学修内容】テキストおよび配付資料の該当箇所を読み、実習に必要な知識を入れておくこと。	A、H、L	第28回	【テーマ】実習報告会に関わるオリエンテーション 【計画内容】実習報告会の意義および報告会の流れや必要な準備について説明します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第5章「実習の振り返り 報告会でのプレゼンテーション」を読んでおくこと。	A、H、K						
	第14回	【テーマ】スーパービジョンの活用方法と個別課題の修正 【計画内容】口頭または実習日誌などさまざまな形で行われるスーパービジョンについて、その意義やスーパーバイザーに報告・相談すべき事やスーパーバイザー(実習生)として期待される言動について学びます。また事前打ち合わせ会で個別課題の修正が必要な場合は、教員が指導し適切な個別課題を仕上げます。 【授業時間外の学修内容】テキスト第3章「スーパービジョンを受ける」および第2章「実習テーマ・達成課題の修正」を読んでおくこと。	A、B、F	第29回	【テーマ】報告会の練習 【計画内容】実習報告会を持つことにより、実習生、指導者、教員で実習体験を共有し、学生にとって他者の経験を通して理解の幅を広げる学習の機会とします。報告内容を分かりやすく伝えるための確認や練習を行います。 【授業時間外の学修内容】報告内容をよく吟味してください。	B、F、H						
	第15回	【テーマ】実習直前オリエンテーション 【計画内容】実習中のディレクシマ、帰校日指導と記録活用法、緊急時や欠席時の連絡方法等、実習中の諸注意と確認事項について説明します。また実習に必要な日誌などを配付します。 【授業時間外の学修内容】テキスト第2章「近づく実習にさらに備える」、第3章「巡回指導・帰校日のスーパービジョンを活用する」ほか、すべてを読んでおくこと。	A	第30回	【テーマ】報告会およびまとめ 【計画内容】実習報告会を持つことにより、実習生、指導者、教員で実習体験を共有し、学生にとって他者の経験を通して理解の幅を広げる学習の機会とします。そして1年間の学びの振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】配付するプリントに示す復習課題に取り組むこと。	B、F、L						
テキスト			川村隆彦、2014年、『事例で深めるソーシャルワーク実習』、中央法規									
参考書			初回講義時に具体的に説明します									
成績評価の方法	筆記試験		実技試験		課題評価		作品評価		受講態度		その他	
	配補	分足			20% 個別課題のまとめ				60%		20% 事前学習・個別課題	
課題に関するフィードバックの方法												
実務経験と授業の関連			経験内容									
			科目との関連									
質問への対応			初回講義時に具体的に説明します。									
資格			〔健〕社会福祉士_必修									
その他			原則として「ソーシャルワーク概説Ⅰ」「ソーシャルワーク論Ⅰ・Ⅱ」「障害者福祉論」「高齢者福祉論Ⅰ」「児童・家庭福祉論」「相談援助演習Ⅰ」および2年次後学期開講の「相談援助実習指導Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」の社会福祉士受験資格取得にかかる指定科目の単位を取得していない者は履修できません。 ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助実習」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。本科目において前学期中に4回以上の遅刻(15分以内)および欠席した学生は配属後であっても相談援助実習を中止し、単位を認定しませんので注意して下さい。									

科 目 名	相談援助実習				授業形態	実習	単 位 数	6
教 員 名	黒澤 直子、神部 雅子、久野 真知子							
授 業 の 目 的	ねらい	授業で習得した相談援助に関する知識・技術・倫理等についての理解が深まり、社会福祉士としての基礎的な素養が高まることを目指します。						
	到達目標	(1)相談援助実習を通して、相談援助に関わる知識と技術について、具体的かつ实际的に理解し実践的な技術等を体得します。 (2)社会福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を習得します。 (3)関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解します。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 ＜実習の内容＞ ①概ね1週目(職場理解) 実習機関の理解を深めます～理念や援助方針、運営管理、地域や地域資源との連携などの講義、企画同行など。 ②概ね2週目(職種理解) 社会福祉士の担う役割について理解を深めます～業務同行、日報作成、カンファランス同席など。 ③概ね3、4、5週目(ソーシャルワーク理解) ソーシャルワークの専門性について理解を深めます～相談面接同席、ニーズ把握のための手立・調査、アセスメント、個別援助計画作成、事例研究など。 ＜実習指導の内容＞ 設定した実習課題が達成されるよう、訪問・帰校日指導をととして学びます。 毎週の訪問・帰校日指導を通して、次のことを指導していきます。 ①基本的なコミュニケーションや対人関係の構築など人間関係の形成について ②利用者理解とそのニーズ把握及び支援計画の作成について ③利用者やその関係者との援助関係の形成について ④利用者やその関係者への権利擁護及び支援とその評価について ⑤多職種連携をはじめとする支援におけるチームアプローチの実践について ⑥社会福祉士としての職業倫理、施設・事業者・機関・団体等の職員の就業などに関する規定への理解と組織の一員としての役割と責任への理解について ⑦施設・事業者・機関・団体等の経営やサービスの管理運営の実践について ⑧当該実習先が地域社会の中の施設・事業者・機関・団体であることへの理解と具体的な地域社会への働きかけとしてのアウトリーチ、ネットワーキング、社会資源の活用・調整・開発に関する理解について 【授業時間外の学修内容】 実習期間および実習内容について十分な事前学習を行ってください。							D
テキスト	講義内で提示します							
参 考 書	初回講義時に具体的に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			30%		30%	40%	
	補 足			実習報告書・実習報告会資料			実習施設・機関の評価	
課題に関するフィードバックの方法								
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	不明な点は相談援助実習責任者：黒澤まで問い合わせして下さい。							
資 格	[健]社会福祉士_必修							
そ の 他	原則として2年次後学期の「相談援助実習指導Ⅰ」「相談援助演習Ⅱ」及び2年次前学期までに開講されている社会福祉士受験資格取得にかかる前提科目(学科指定)の単位を取得していない者は履修できません。 ＜成績評価の内容について＞ 実習施設・機関の評価(その他40%)および意欲・態度・課題による評価60% ＜単位修得における注意＞ 「相談援助実習」「相談援助実習指導Ⅱ」「相談援助演習Ⅲ」「相談援助演習Ⅳ」「相談援助演習Ⅴ」の5科目は同一年次に履修して下さい。							

科 目 名				健康福祉専門職演習Ⅰ		授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名				岩本 希					
授 業 の 目 的	ねらい	本講義は社会福祉士国家資格取得のために基礎学習の確認を通して必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。							
	到達目標	(1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、人体の構造と機能及び疾病 【計画内容】授業のねらいと到達目標、15回の授業展開及び受講の心得を説明します。 人体の構造と機能についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】シラバスをよく読んでおくこと。今回の講義内容を次回までに復習しておくこと。	A、B	第9回	【テーマ】低所得者に対する支援と生活保護制度 【計画内容】生活保護制度についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B			
	第2回	【テーマ】心理学理論と心理的支援 【計画内容】心理学理論についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第10回	【テーマ】保健医療サービス 【計画内容】保健医療サービスについての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B			
	第3回	【テーマ】社会理論と社会システム 【計画内容】社会理論についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第11回	【テーマ】権利擁護と成年後見制度 【計画内容】権利擁護についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B			
	第4回	【テーマ】現代社会と福祉 【計画内容】現代社会と福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第12回	【テーマ】社会調査の基礎 【計画内容】社会調査についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B			
	第5回	【テーマ】地域福祉の理論と方法 【計画内容】地域福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第13回	【テーマ】相談援助の基盤と専門職 【計画内容】相談援助の基盤と専門職についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B			
	第6回	【テーマ】福祉行財政と福祉計画 【計画内容】福祉行財政、福祉計画についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第14回	【テーマ】相談援助の理論と方法 【計画内容】相談援助の理論と方法についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B			
	第7回	【テーマ】社会保障 【計画内容】社会保障についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B	第15回	【テーマ】まとめと振り返り 【計画内容】これまでの講義のまとめと振り返りを行います。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B、H			
	第8回	【テーマ】障害者に対する支援と障害者自立支援制度 【計画内容】障害者福祉についての理解を深め、国家試験に必要な知識を習得します。 【授業時間外の学修内容】テキストや参考書の関連するページを精読してくる。	A、B						
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分補足			30%		70%			
課題に関するフィードバックの方法	学習方法や取り組み内容へのフィードバックは適宜講義内及び個別指導にて行います。								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応	初回の講義で具体的に説明します								
資 格									
そ の 他	社会福祉士国家試験を受験する学生は、必ず履修すること。								

科 目 名		健康福祉専門職演習Ⅰ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		八巻 貴穂						
授 業 の 目 的	ねらい	介護福祉士養成課程で学んだ介護福祉の知識の確認と復習を行います。繰り返し学ぶことで、各科目に対する理解を深め、介護福祉士国家試験合格を目指します。						
	到達目標	(1)介護福祉士国家試験科目の復習を行うことで理解を深める。 (2)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格できるよう準備を行う。						
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション 模擬試験 A 【計画内容】授業の進め方、国家試験についての説明を行います。模擬試験を通して、現段階までの理解度を確認します。 【授業時間外の学修内容】3年次までの学びの復習をしていくこと。	A、B	第9回	【テーマ】受験対策講座1 ガイダンス 【計画内容】外部講師による受験対策講座のガイダンスを行います。 【授業時間外の学修内容】受講対策講座に向け、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第2回	【テーマ】模擬試験 B 【計画内容】模擬試験を通して、現段階までの理解度を確認します。 【授業時間外の学修内容】3年次までの学びの復習をしていくこと。	A、B	第10回	【テーマ】受験対策講座2 社会の理解① 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第3回	【テーマ】人間関係とコミュニケーション・認知症の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしていくこと。	A、B	第11回	【テーマ】受験対策講座3 社会の理解② 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第4回	【テーマ】人間の尊厳と自立・コミュニケーション技術 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしていくこと。	A、B	第12回	【テーマ】受験対策講座4 こころとからだのしくみ① 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第5回	【テーマ】介護の基本① 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしていくこと。	A、B	第13回	【テーマ】受験対策講座5 こころとからだのしくみ② 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第6回	【テーマ】介護の基本② 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしていくこと。	A、B	第14回	【テーマ】受験対策講座6 障害の理解 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第7回	【テーマ】生活支援技術 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしていくこと。	A、B	第15回	【テーマ】受験対策講座7 発達と老化の理解 【計画内容】外部講師による受験対策講座、テーマ科目について学ぶ。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目について自己学習し、学習ノートの整理を行うこと。	A		
	第8回	【テーマ】介護過程・医療的ケア 【計画内容】テーマの科目の模擬問題を解き、自己学習を行います。解答のポイントを学びます。 【授業時間外の学修内容】テーマ科目の予習をしていくこと。	A、B					
テキスト		講義時に説明します						
参 考 書		講義時に説明します						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配分					50%	50%	
補 足								
課題に関するフィードバックの方法		模擬問題について、単元ごとに振り返り確認を行います。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に説明します						
資 格								
そ の 他		介護福祉士国家試験受験準備のための科目です。予習・復習など積極的に取り組む姿勢を求めます。						

科 目 名			健康福祉専門職演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	2	
教 員 名			神部 雅子							
授 業 の 目 的			ねらい 本講義は社会福祉士国家資格取得のために必要な知識を修得し、国家試験に向けた学習スキルや学習習慣を身に付けることを目的とする。							
			到達目標 (1)社会福祉士国家資格取得に必要な知識を確実なものとする。 (2)社会福祉士国家試験の学習に必要な学習スキルや学習習慣を身に付ける。							
授 業 の 計 画			第1回	【テーマ】模擬問題を学習する① 保健医療サービス 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第9回	【テーマ】模擬問題を学習する⑨ 就労支援サービス、更生保護制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A
			第2回	【テーマ】模擬問題を学習する② 権利擁護と成年後見制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第10回	【テーマ】社会福祉士国家試験対策 【計画内容】受験の心構えや問題を解くテクニックなどについてを学習する。 【授業時間外の学修内容】配付したレジュメを事前に学習しておくこと。		A
			第3回	【テーマ】模擬問題を学習する③ 社会調査の基礎 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第11回	【テーマ】苦手科目の学習① 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A
			第4回	【テーマ】模擬問題を学習する④ 相談援助の基盤と専門職 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第12回	【テーマ】苦手科目の学習② 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A
			第5回	【テーマ】模擬問題を学習する⑤ 相談援助の理論と方法 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第13回	【テーマ】苦手科目の学習③ 【計画内容】自分が苦手と感じている科目について学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A
			第6回	【テーマ】模擬問題を学習する⑥ 福祉サービスの組織と経営 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第14回	【テーマ】国家試験直前の学習方法① 【計画内容】国家試験直前の学習方法等について説明する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A
			第7回	【テーマ】模擬問題を学習する⑦ 高齢者に対する支援と介護保険制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A	第15回	【テーマ】国家試験直前の学習方法② 【計画内容】国家試験直前の学習方法等について説明する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A
			第8回	【テーマ】模擬問題を学習する⑧ 児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度 【計画内容】模擬問題集の問題を学習する。 【授業時間外の学修内容】模擬問題集を事前に学習しておくこと。		A				
テキスト			講義時に説明します							
参 考 書			講義時に説明します							
成績評価の方法			筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
			配分			30%		70%		
補 足										
課題に関するフィードバックの方法			課題等に対するフィードバックは、随時、授業内において行う。							
実務経験と授業の関連			経 験 内 容							
			科目との関連							
質問への対応			初回講義時に説明する							
資 格										
そ の 他			社会福祉士国家試験を受験する者は、必ず履修すること。							

科 目 名			健康福祉専門職演習Ⅱ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名			梶 晴美						
授 業 の 目 的	ねらい	3年次からの「就業力特別演習Ⅰ・Ⅱ」「健康福祉専門職演習Ⅰ」での学習をさらに深め、「就業力特別演習Ⅲ」と連動し、繰り返し復習することで介護福祉士に必要な介護福祉の知識を定着させます。繰り返し学ぶことで、各科目に対する理解を深め、介護福祉士国家試験合格を目指します。							
	到達目標	(1)介護福祉士国家試験科目の復習を行うことで理解を深める。 (2)模擬試験を通して、介護福祉士国家試験に合格できる力をつける。 (3)介護福祉士国家試験に合格する。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】オリエンテーション、模擬試験 【計画内容】授業の進め方、国家試験受験のための準備について説明し、現在の学習状況を確認します。模擬試験を行います。 【授業時間外の学修内容】自己の学習ノート、参考書類を持参すること。模擬試験に臨む準備をしておくこと。	A	第9回	【テーマ】模擬試験 【計画内容】全国共通模擬試験(外部)を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬試験の見直しを次回までに行うこと。	B			
	第2回	【テーマ】模擬試験の解説 【計画内容】模擬試験の自己採点と問題解説を行います。 【授業時間外の学修内容】模擬試験問題を見直して、自分の学習ノート、参考書類、模擬試験問題を持参すること。	A	第10回	【テーマ】模擬試験の解説1～社会の理解、障害の理解を中心に 【計画内容】模擬試験の解答・解説を苦手科目を中心に行います。各自が不正解した問題について重点的に学習し、確実に身につけます。 【授業時間外の学修内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。	A、B			
	第3回	【テーマ】社会の理解1 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。	A、B	第11回	【テーマ】模擬試験の解説2～ここからだのしくみを中心に 【計画内容】模擬試験の解答・解説を苦手科目を中心に行います。各自が不正解した問題について重点的に学習し、確実に身につけます。 【授業時間外の学修内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。	A、B			
	第4回	【テーマ】社会の理解2 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。	A、B	第12回	【テーマ】模擬試験の解説3～老化と発達を理解を中心に 【計画内容】模擬試験の解答・解説を苦手科目を中心に行います。各自が不正解した問題について重点的に学習し、確実に身につけます。 【授業時間外の学修内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。	A、B			
	第5回	【テーマ】発達と老化の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。	A、B	第13回	【テーマ】苦手科目の重点学習 【計画内容】各自の苦手科目を模擬問題や参考書で学習します。 【授業時間外の学修内容】間違った問題、わからない内容は参考書等で確認し、ノートに整理する。	A、B			
	第6回	【テーマ】ここからだのしくみ1 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。	A、B	第14回	【テーマ】国家試験受験直前準備 【計画内容】国家試験受験直前の最終調整を行います。受験の心得、注意事項等を確認し、受験当日に備えます。 【授業時間外の学修内容】これまでの学習を整理しておく。	A、B			
	第7回	【テーマ】ここからだのしくみ2 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。	A、B	第15回	【テーマ】国家試験の振り返り 【計画内容】受験後、試験問題の解答を確認し、自己採点します。 【授業時間外の学修内容】試験問題の見直しをしておくこと。わからなかった問題は参考書等で確認しておくこと。	B			
	第8回	【テーマ】障害の理解 【計画内容】テーマの科目の模擬問題の解答と解説を行い、解答のポイント学びます。不足の事柄について各自ノートにまとめます。 【授業時間外の学修内容】「就業力特別演習Ⅲ」で解いた模擬問題についてテキスト・参考書等で調べてノートに整理すること。	A、B						
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		『介護福祉士国家試験各テキスト2021』、中央法規 『介護福祉国家試験過去問解説集2021』、中央法規							
成績評価の方法	筆記試験		実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配分	足				30%	70%		
		模擬試験等							
課題に関するフィードバックの方法		全国模試は個人成績のフィードバックがあります。 全模擬試験の成績は科目毎にフィードバックし学修成果や課題を視覚化します。							
実務経験と授業の関連	経 験 内 容								
	科目との関連								
質問への対応		初回講義時に説明します							
資 格									
そ の 他		介護福祉士国家試験を受験する学生は必ず受講してください。国家試験合格にむけて日々努力することが求められます。初回到学内模擬試験、11月に全国模擬試験、12月に学力評価試験、1月に学内模試を予定しています。全国模試は受験料の自己負担があります。							

科 目 名		健康産業施設実習			授業形態	実習	単 位 数	2
教 員 名		上田 知行、高田 真吾						
授 業 の 目 的	ねらい	健康づくりのための運動や身体活動の増強を提供・支援する現場でのさまざまなケース(性、年齢、身体状況、嗜好など)に対応できる実践応力を身につけることを目的とする。健康産業施設での実習により、健康産業に携わる専門職の役割について実践を通して理解し、さまざまなケースを体験するなかで、前向きに対応する力、応用する力、考える力を養う。						
	到達目標	(1)運動指導者としてふさわしい接遇能力を身につける。 (2)施設の安全管理、利用者の管理、各種トレーニング機器の使用方法を身につける。 (3)体力測定、集団プログラム、個別プログラムの実践力を身につける。						
授 業 の 計 画		【計画内容】 (1)ガイダンス、運動指導者のために必要な行動目標の確認 授業の紹介をし、15回の授業展開を説明する。(上田知行・高田真吾) (2)実習計画の作成 具体的な実習計画を作成する。(上田知行・高田真吾) (3)～(5)接遇実習 顧客満足度を得られる接遇についての実習と、接遇に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。 (上田知行・高田真吾) (6)～(9)施設管理業務に関わる実習 施設の安全管理・リスクマネジメント、顧客管理に関する実習と、施設管理業務に関わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・高田真吾) (10)～(14)健康運動実習 実際の運動指導、体力測定、個別プログラムの作成と指導に関する実習と、健康運動の指導に関 わる総合演習・ロールプレイ実習を行う。(上田知行・高田真吾) (15)実習見極め・フィードバック 実習日誌と実習報告書を作成し、これまでの実習を総括した実習報告会を行う。(上田知行・高田真吾) 【授業時間外の学修内容】 テキストの該当部分に関わる項目を熟読しておくこと。 実習日誌を作成すること。						A
								B <

科 目 名		福祉実践実習				授業形態	実習・演習	単 位 数	2
教 員 名		黒澤 直子、尾形 良子							
授 業 の 目 的	ねらい	本実習はこれまでの社会福祉および相談援助に関する学びを深化させ、より高度な実践力を涵養することを目指すとする。また、本実習ではソーシャルワーカーに求められる力量を高め、社会福祉専門職として活躍できる人材を養成することを目的とする。							
	到達目標	(1)ソーシャルワークの実践過程を踏まえ、クライアントへの場面に応じて適切な関わりができるようになる。 (2)ソーシャルワーカーに求められる実践能力を向上させる。 (3)クライアントの置かれている背景を理解し、アセスメント能力を向上させる。							
授 業 の 計 画	【計画内容】								
	第 1 回：オリエンテーション								B
	第 2 ～ 3 回：相談援助実習の振り返り								B
	第 4 回：事前学習内容の確認								B
	第 5 ～ 7 回：実習課題の作成								B、G
	第 8 ～ 9 回：事例研究および記録の方法の確認								B、G
	第 10 回：実習前オリエンテーション								B
	第11～15回：施設・機関実習(原則15日間) ※実習期間中、中間時点で訪問指導を行う。								D
	第 16 回：オリエンテーション								B
	第17～18回：実習の振り返り								B、L
	第19～20回：事例研究報告と事例検討								B、J
	第21～22回：スーパービジョンの事例検討								B、J
	第23～24回：実習中のディレンマ事例研究								B、J
	第25～29回：実習報告書の作成								B、G
	第 30 回：まとめ								B、L
【授業時間外の学修内容】		学生の実習施設・機関、実習課題に応じて、個別に指示します。							
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明します							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足			30%		30%	40%		
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応		初回講義時に説明します。							
資 格									
そ の 他		本実習は健康福祉学科4年生で3年次に「相談援助実習」を履修し、かつ単位を修得した学生を対象とする。課題については講義のなかで内容の検討を行います。							

科 目 名		専門演習Ⅲ			授業形態	演習	単 位 数	2
教 員 名		担当教員						
授 業 の 目 的	ねらい	3年次の「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」で学習した内容や修得した実践力をもとに、選択した学問領域における課題解決に取り組む。また、「卒業研究」に取り組む場合は関心のある課題を整理し、卒業研究テーマを検討し、「卒業研究」の準備に備える。 個々の興味関心や問題意識に基づき、少人数のセミナー形式で、各指導教員のもとで演習を展開する。						
	到達目標	(1)指導教員及びゼミナールの仲間と専門分野の研究を極める。 (2)個々の学生ごとに、関心ある専門分野研究テーマにそって先行研究を調査し整理する。 (3)ゼミナール内での発表やディスカッションの経験を通してコミュニケーション能力を高める。 (4)「卒業研究」に取り組む場合は関心のある課題を整理し、卒業研究のテーマを検討する。						
授 業 の 計 画	【計画内容】 第1回：オリエンテーション 基本的には「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」と同じ指導教員のもとで展開します。指導教員ごとに少人数のセミナー形式で行い、スケジュールや扱う研究テーマなどについて説明します。展開の詳細は指導教員によって異なる場合があります。 第2回～第6回：自分の(研究)課題を明確にする 「専門演習Ⅱ」に引き続き、各専門領域における自身の持つ問題意識から課題を明確にし、さらに深く文献を通して探求します。「卒業研究」に取り組む場合は、研究の意義と目的を学び、先行研究の収集して読みます。 第7回～第14回：課題について研究する 文献研究や調査・実験等を行い、そこから得られたことをレポートにまとめ、発表・ディスカッション等を通して、文章作成能力、プレゼンテーション力を高めます。さらには各専門分野に必要な知識を深く学習し、理解を深めます。「卒業研究」に取り組む場合は、先行研究を踏まえて自己の研究課題を明確にし、研究計画を立案します。 第15回：まとめと振り返り 「専門演習Ⅲ」をふり振り返り、まとめを行います。 「卒業研究」に取り組む場合は、テーマ設定を行い卒業研究の方向性を明らかにします。 【授業時間外の学修内容】 「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」の学びを確認しておくこと。							A
								C、G、J、F
								L
テキスト	講義時に説明します							
参 考 書	講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分			50%		50%		
	補 足			レポート・レジュメ		発言や活動の積極性		
課題に関するフィードバックの方法	取り組み課題へのフィードバック方法は担当教員により異なるため、適宜担当教員より説明します。							
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応	担当教員が随時対応する。							
資 格								
そ の 他	「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」を単位修得している、もしくは「専門演習Ⅰ」を並行履修していること。							

科 目 名		卒業研究			授業形態	演習	単 位 数	2	
教 員 名		担当教員							
授 業 の 目 的	ねらい	「卒業研究」では、福祉・介護・健康に関する学問分野の専門性を高めることを目的とした研究活動に取り組む。設定したテーマに関する先行研究の調査を行い、課題を再確認し課題解決のための方策を探る。課題解決策を探索し実践的な課題解決能力を養う。また、各自で取り組んだ研究を論文形式または同レベルの形にまとめ、発表会を通じてその成果を発表する。							
	到達目標	(1)「専門演習Ⅲ」で設定した研究課題を解決するために専門的な研究を行う。 (2)研究的思考の重要性について理解し、自己啓発につなげる。 (3)研究成果をまとめ、プレゼンテーションを行う。							
授 業 の 計 画	【計画内容】								
	第 1 回	オリエンテーション 授業の展開と卒業研究作成要領などの説明を行う。(担当教員)					A		
	第 2 回～第 3 回	研究計画及び研究テーマの検討 指導教員と共に研究計画および研究テーマを決定する。(担当教員)					B		
	第 4 回～第 5 回	研究計画及び研究テーマのゼミナール内討議 研究計画及び研究テーマをゼミナール内で討議する。(担当教員)					H		
	第 6 回～第13回	卒業研究の実践 指導教員の指導のもと、研究計画に沿った卒業研究に取り組む。(担当教員)					C、G、J		
	第14回～第15回	卒業研究のまとめとプレゼンテーション 卒業研究をまとめ、プレゼンテーションを実践する。(担当教員)					F		
		【授業時間外の学修内容】 「専門演習Ⅲ」の研究課題に係る先行研究の文献などの調査を行うこと。 毎回、体系的で専門的な研究ができるよう準備すること。							
テキスト		講義時に説明します							
参 考 書		講義時に説明する							
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分			70%		10%	20%		
	補 足			卒業研究の内容		研究意欲他	発表会の内容		
課題に関するフィードバックの方法	取り組み内容へのフィードバック方法は指導教員により異なりますので適宜指導教員から説明します。								
実務経験と授業の関連		経 験 内 容							
		科目との関連							
質問への対応	随時指導教員が対応する。								
資 格									
そ の 他	「専門演習Ⅲ」を単位修得済みであること。								

科 目 名			介護実習指導Ⅲ		授業形態	演習・実習	単 位 数	1
教 員 名		本間 美幸、梶 晴美、八巻 貴穂						
授 業 の 目 的	ねらい	本科目は、介護実習の総まとめとして展開され、利用者の生活を包括的にとらえる視点を育成する。介護福祉士に必要な社会性や人間性を育成する場とし、個々の学生の自己覚知を促し、「訪問介護実習」へ意欲的に取り組む姿勢を育成する。在宅で生活する利用者の生活状況を理解し、介護サービスの在り方を考える。在宅生活支援の特質を理解すると同時に、施設で生活する利用者支援との共通性も確認し、介護福祉サービスの生活支援の意義を理解する。						
	到達目標	(1)訪問介護サービスの発達の沿革と在宅生活を支える制度を理解する。 (2)高齢者の在宅生活を支える訪問介護の現状と課題を学ぶ。 (3)障がい者の在宅生活を支える訪問介護の現状と課題を学ぶ。 (4)訪問介護実習報告会に参加し、多様な在宅支援のあり様を学ぶ。 (5)介護実習全体をとおしての介護福祉の理解を確認する。						
授 業 の 画 計	第1回	【テーマ】「介護実習指導Ⅲ」ガイダンス 【計画内容】介護実習＜第7段階＞の意義を理解します。訪問介護実習に必要な記録用紙などを配付し、個々の実習課題を検討するなど、実習の準備学習をスタートします。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】シラバスの内容と「介護実習要項」の該当箇所を読んで講義に臨むこと。	A、H	第9回	【テーマ】訪問介護実習① 【計画内容】配属された実習機関において、オリエンテーションを受けます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを復習して、訪問介護実習に臨むこと。	D		
	第2回	【テーマ】ホームヘルプサービスの制度の概要 【計画内容】高齢者福祉、障害者福祉の変遷の中でのホームヘルプサービス確立の沿革を理解します。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】配付資料とともに、「介護の基本Ⅰ」76-79を読んでおくこと。	A、H	第10回	【テーマ】訪問介護実習② 【計画内容】配属された実習機関において訪問介護員に同行して利用者宅を訪問(3件)し、訪問介護の実際を学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】これまでの学びを復習して、訪問介護実習に臨むこと。	D		
	第3回	【テーマ】訪問介護の視点と役割(高齢者編) 【計画内容】介護保険制度における訪問介護サービスについて学び、映像資料などから在宅で暮らす高齢者のニーズや訪問介護の視点と役割を考えます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す制度や専門用語について調べておくこと。	A、H	第11回	【テーマ】訪問介護実習③ 【計画内容】配属された実習機関において訪問介護の反省会を行い、各自の訪問介護実習を振り返ります。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】訪問した事例についてまとめ、疑問・質問を整理しておくこと。	D		
	第4回	【テーマ】訪問介護の視点と役割(障がい者編) 【計画内容】障害者総合支援制度における訪問介護サービスについて学び、映像資料などから在宅で暮らす障がい者のニーズや訪問介護の視点と役割を考えます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】配付資料に示す制度や専門用語について調べておくこと。	H	第12回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ① 記録の整理 【計画内容】訪問介護実習後の学びを報告用記録用紙に整理して学びを深めます。訪問介護実習の全記録を見直し、各自が報告会資料を作成します。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】テキスト「介護総合演習」の第8章を読んで授業に臨むこと。	A、H、J		
	第5回	【テーマ】事前学習について 【計画内容】各自のテーマに沿って調べを進め、発表資料の作成をします。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】各自の事前学習テーマについて調べること。	H	第13回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ② 事例検討カンファレンス(前) 【計画内容】各自が実習で出会った在宅介護の事例について、報告用シートに基づき事例検討を行い、意見交換を行いながら在宅介護および在宅生活支援について理解を深めます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】各自の訪問事例を整理し、報告する準備をしておくこと。	H、J		
	第6回	【テーマ】外部講師講話 障がい者の在宅生活支援におけるホームヘルパーの活動と役割 【計画内容】障がい者の在宅生活支援におけるアセスメントと訪問介護計画の視点、利用者や家族との関わり方などについて学びます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】講話から学んだ内容と考察についてレポートを作成すること。	A	第14回	【テーマ】訪問介護実習のまとめ③ 事例検討カンファレンス(後) 【計画内容】各自が実習で出会った在宅介護の事例について、報告用シートに基づき事例検討を行い、意見交換を行いながら在宅介護および在宅生活支援について理解を深めます。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】各自の訪問事例を整理し、報告する準備をしておくこと。	H、J		
	第7回	【テーマ】事前学習の発表 【計画内容】各自の事前学習テーマに沿った発表と質疑応答を行い、訪問介護実習の準備とします。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】各自の事前学習テーマについて、資料および発表原稿を作成すること。	F	第15回	【テーマ】訪問介護実習報告会 【計画内容】実習学生の報告から、それぞれの個別的な学びを共有し、意見交換することで学びを深めます。(全教員) 【授業時間外の学修内容】事前に配付した「報告資料集」を熟読してしておくこと。	F		
	第8回	【テーマ】訪問介護実習事前指導 【計画内容】訪問介護実習の諸注意について、最終的な確認をします。また、配属先の実習機関の概要と実習内容を確認します。(本間美幸) 【授業時間外の学修内容】テキスト「介護総合演習」の第6章を読んで授業に臨むこと。	A、H					
テキスト		白井孝子編、2014年、「介護福祉士養成テキストブック9 介護総合演習」、ミネルヴァ書房、9784623070251 適宜プリントを配付します						
参 考 書		「介護概論」、「介護過程」、「介護技術演習」のテキスト						
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他	
	配 分 補 足			40% 事前学習・レポート・報告会資料		30%	30% 実習・実習記録・発表	
課題に関するフィードバックの方法		実習に必要な課題についてはその都度確認し指導します。						
実務経験と授業の関連		経 験 内 容						
		科目との関連						
質問への対応		初回講義時に具体的に説明します。						
資 格		[健]介護福祉士_必修						
そ の 他		「介護実習指導Ⅱ」「介護実習Ⅱ」を修得済みであること。 本科目の受講状況その他により介護実習への準備が不足と判断した場合は、訪問介護実習を延期する場合があります。 6月16日～26日の期間中に訪問介護実習を実施します。						

科 目 名			医療的ケア演習			授業形態	演習	単 位 数	1
教 員 名			竹内 美幸						
授 業 の 目 的	ねらい	「医療的ケアⅠ・Ⅱ」で学んだ基礎知識をもとに、たんの吸引、経管栄養法の関する基本的な仕組み、留意点、方法などの実践を目指す。							
	到達目標	(1)基本的な知識を理解した上で、安全な喀痰吸引(口腔内・鼻腔内・気管カニューレ内)が評価項目の手順通りに実施できる。 (2)基本的な知識を理解したうえで、安全な経管栄養(胃ろう、経鼻経管栄養)が評価項目の手順通りに実施できる。							
授 業 の 計 画	第1回	【テーマ】授業ガイダンス 【計画内容】15回の授業展開について説明します。 【授業時間外の学修内容】医療的ケアⅠ・Ⅱで学んだ基礎知識を復習しておく。	A	第9回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習2 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L			
	第2回	【テーマ】救命救急・蘇生法 【計画内容】救急蘇生法の手順と留意点を踏まえ、演習します。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所に目を通しておくこと。	B、E、L	第10回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習1 【計画内容】胃ろう経管栄養をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L			
	第3回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習1 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L	第11回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習2 【計画内容】胃ろう経管栄養をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L			
	第4回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習2 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L	第12回	【テーマ】胃ろう経管栄養演習3 【計画内容】胃ろう経管栄養をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L			
	第5回	【テーマ】口腔内喀痰吸引演習3 【計画内容】口腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L	第13回	【テーマ】経鼻経管栄養演習1 【計画内容】経鼻経管栄養をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L			
	第6回	【テーマ】鼻腔内喀痰吸引演習1 【計画内容】鼻腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L	第14回	【テーマ】経鼻経管栄養演習2 【計画内容】経鼻経管栄養をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L			
	第7回	【テーマ】鼻腔内喀痰吸引演習2 【計画内容】鼻腔内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する。 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L	第15回	【テーマ】全体の振り返りとまとめ 【計画内容】演習のまとめと陥りやすい危険因子について確認する 【授業時間外の学修内容】全体を振り返り、理解不足な部分を整理しておく。	B、E、L			
	第8回	【テーマ】気管カニューレ内喀痰吸引演習1 【計画内容】気管カニューレ内喀痰吸引をシュミレーターを用いて、評価項目に沿って手順通りに実施する 【授業時間外の学修内容】テキストの該当箇所と配付プリントに目を通しておくこと。	B、E、L						
テキスト	介護福祉士養成講座編集委員会編、2019年、『最新介護福祉士養成講座15』、中央法規出版、9784805857755								
参 考 書	プリントを使用します								
成績評価の方法		筆記試験	実技試験	課題評価	作品評価	受講態度	その他		
	配 分 補 足		80%			20%			
課題に関するフィードバックの方法									
実務経験と授業の関連	該当	経 験 内 容	看護師						
		科目との関連	看護師の経験を活かし、介護福祉士が実施できる医療的ケアについて教授する。						
質問への対応	授業終了時随時、直接担当者まで								
資 格	[健]介護福祉士_必修								
そ の 他	休んだ場合、補講対象となります。 規定回数をクリアできなければ、単位認定ができない為資格取得できなくなります。								

講義要綱
SYLLABUS
生涯スポーツ学部 4 年次

2020年 4 月 発行
北翔大学・北翔大学短期大学部
〒069-8511 江別市文京台23番地
TEL (011) 386-8011
FAX (011) 387-1542

